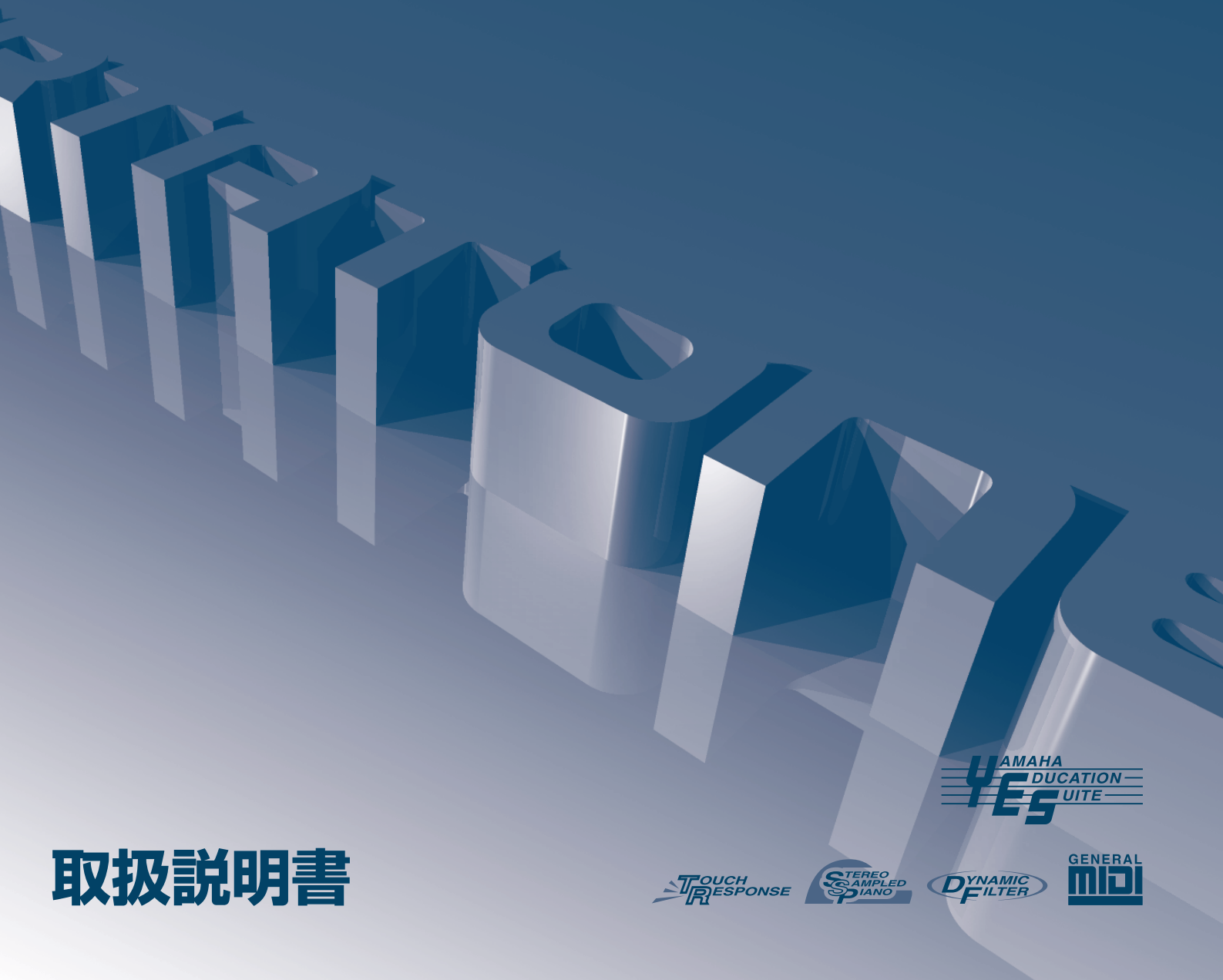




# PORTATONE PSR-270



取扱説明書



## ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーン PSR-270 をお買いもとめいただき、まことにありがとうございます。PSR-270 のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。  
なお、読み終わった後も、保証書とともに大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。

## 安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

△ 記号は、危険、警告または注意を示します。

⊘ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

\* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。  
感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。  
感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおい煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。)  
感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。  
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-3B)以外は使用しない。  
(異なる電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。  
また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。  
感電のおそれがあります。



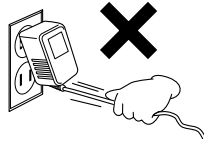
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。  
感電やショートのおそれがあります。

# ⚠️ 注意

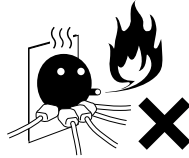
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

⊘ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。  
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。  
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



⊘ タコ足配線をしない。  
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



❗ 使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。  
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 乾電池はすべて + / - の極性表示通りに正しく入れる。  
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのするおそれがあります。

❗ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)を一緒に使用しない。  
発熱、発火、液漏れの原因になります。

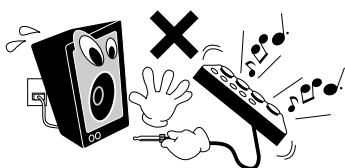
⊘ 乾電池を分解したり、火の中に入れてたりしない。  
乾電池の中のものが入ると危険です。また、火の中に入れると破裂するおそれがあります。

⊘ 使い切りタイプの乾電池は、充電しない。  
充電すると液漏れや破裂の原因になります。

❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。  
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

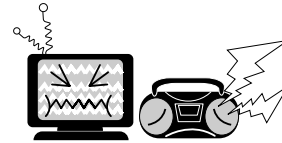
⊘ 乾電池は子供の手の届くところに置かない。  
お子様が誤って飲み込むおそれがあります。また、電池の液漏れなどにより炎症を起こすおそれがあります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。さらに、演奏を始める場合も必ず両機器のボリュームを最小(0)にし、演奏しながら徐々にボリュームを上げていき適切な音量にする。  
感電または機器の損傷のおそれがあります。



⊘ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、またほこりや振動の多い場所で使用しない。  
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

⊘ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。  
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



⊘ 不安定な場所に置かない。  
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。  
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

⊘ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック/ゴム製品などを置かない。  
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

⊘ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。  
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

⊘ 指定のスタンド/ラック以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。  
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。  
聴覚障害の原因になります。



## 作成したデータの保存について

❗ 作成したデータは、故障や誤操作などのために失われることがあります。大切なデータはヤマハMIDIデータファイラーMDF3などの外部機器に保存されることをおすすめします。

不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。  
また、使用済みの乾電池は、各自治体で決められたルールに従って廃棄しましょう。

## PSR-270の特長



### 楽しいレッスン機能(Yamaha Education Suite)

→ 16, 53ページ

自動伴奏を楽しみながら練習できるコードガイドには、「ディクショナリー」「スマート」「イージー」があります。

ディクショナリー ..... 和音の押さえ方を教えてくれます。

スマート ..... 左手の伴奏が指1本で演奏できます。

イージー ..... コードが変わるタイミングで鍵盤を押すだけで、自動伴奏を使った演奏が楽しめます。

### ピアノモード

→ 10, 28ページ

ピアノモードは、ボタン一つでピアノ練習に適した設定に切り替える機能です。ボイス、自動伴奏スタイルなどがワンタッチでピアノモードに切り替わります。

微妙なニュアンスを表現できるタッチレスボンス付61鍵キーボード。

高音質、バラエティ豊かなパネルボイス100音色+10ドラムキット+GMボイス128音色。最大同時発音数32。

パネルボイスを選んだ時に、各ボイスに最適なデュアルボイスやスプリットボイスなどが自動的にセットされるボイスセット機能。

いろいろな音楽ジャンルの演奏が楽しめる100スタイルの自動伴奏機能。

各スタイルに最適なパネル設定(ボイス/エフェクト設定など)をボタン一つで呼び出し、すぐに演奏できるワンタッチセッティング(プリセットA/B)機能。

最大16種類のパネル設定(ボイス・スタイルなどの設定)を記憶させ、演奏中もワンタッチで呼び出せるワンタッチセッティング(ユーザー)機能。

演奏に効果的なデジタルエフェクト(リバーブ/コーラス/DSP/ハーモニー)機能。

6トラックに録音(再生)できるソングメモリー機能。録音方法は、リアルタイム録音とステップ録音の2種類。

さまざまな機能が設定でき、便利に活用できるフットスイッチ機能(フットスイッチはオプション商品)。

パネルの設定状況や、コード表示などを一目で確認できる大型液晶画面。

音楽の可能性を広げるMIDI機能(GMシステムレベル1対応)。

### 音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヘッドフォンをご使用になる場合には、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。




<b>演奏の準備</b>	6
電源の準備	6
ヘッドフォン/外部出力端子について	7
フットスイッチ端子について	7
MIDI端子について	7
譜面立ての取り付け方	7
和文シート	7
<b>各部の名称</b>	8

<b>操作早見表</b>	
<b>ステップ1 ボイス</b>	10
ピアノの練習をしましょう (ピアノモード)	10
鍵盤で弾く音色を選びましょう	10
<b>ステップ2 ソング</b>	12
ソングを鳴らしましょう	12
自分の演奏を録音しましょう	13
自分の気に入った設定を記録しましょう	13
<b>ステップ3 自動伴奏</b>	14
自動伴奏を使って演奏しましょう	14
伴奏に合った音色を ワンタッチで選びましょう	15
<b>ステップ4 コードガイド</b>	16
コードガイド機能を使ってみましょう	16
<b>ステップ5 ファンクション</b>	18
ファンクションを設定しましょう	18
<b>ステップ6 MIDI</b>	20
MIDIを使ってみましょう	20

<b>基本操作を覚えましょう</b> (ディスプレイの見かた)	22
------------------------------------	----

<b>ソングを鳴らしましょう</b>	25
デモソングを続けて聴くには	25
好きなソングを1曲ずつ聴くには	25
テンポの調整	26
ソング音量	27


<b>ピアノモードを選んで演奏しましょう</b>	28
 メトロノームを使用して練習する	28
メトロノームの拍子の設定	29
メトロノーム音量の調整	29

<b>ボイス(音色)を選んで演奏しましょう</b>	30
メインボイスを選ぶ	30
メインボイスの各種設定	31
ファンクションの選び方	31
ボイスセットのオン/オフ	33
デュアルのオン/オフ	33
デュアルボイスの各種設定	34

スプリットのオン/オフ	35
2つのスプリットポイントについて	35
スプリットボイスの各種設定	36
トランスポーズ	37
チューニング	37

<b>効果を付けて演奏しましょう</b>	38
リバーブのオン/オフ	38
リバーブの各種設定	38
コーラスのオン/オフ	39
コーラスの各種設定	39
DSPのオン/オフ	40
DSPの各種設定	40
ハーモニーのオン/オフ	41
ハーモニーの各種設定	41
タッチレスポンスのオン/オフ	42
タッチセンスを調整する	42

<b>いろいろなスタイル(伴奏)で演奏しましょう</b>	43
自動伴奏って何?	43
コード(和音)について	43
スタイルを選ぶ	45
自動伴奏のスタート	45
シンクロススタート	46
スタート	46
イントロシンクロススタート	46
自動伴奏のコードの押さえ方	47
シングルフィンガー	47
フィンガード	47
自動伴奏に合わせてメロディ演奏	49
伴奏音量の調整	49
セクション(伴奏のパターン)の切り替え	50
イントロセクション (INTRO/ENDINGボタン)	50
メインセクション (MAIN A/Bボタン)	50
フィルインセクション (MAIN A/Bボタン)	51
エンディングセクション (INTRO/ENDINGボタン)	51
自動伴奏のストップ	52
自動伴奏のスプリットポイントを 変更する	52

<b>コードガイドを活用しましょう</b>	53
 ディクショナリーでコードを調べる	53
スマートを使って、 指一本でコード演奏	54
イージーを活用する	56
イージーの再生	56
イージーの録音	59
バンク内に記録されている データを消去するには (バンククリア)	61

<b>スタイルに合ったボイスを選ぶには (ワンタッチセッティング)</b>	62
プリセットA/Bを呼び出す	62
パネル設定を記録する(ユーザー1~4)	63
記録したパネル設定 (ユーザー1~4)を呼び出す	64

<b>ソングのトラック構成について 覚えましょう</b>	65
----------------------------------	----

<b>録音しましょう</b>	66
録音モードについて	66
演奏をそのまま録音する (リアルタイム録音)	67
リハーサルモードについて	69
楽譜形式で1音ずつ録音する (ステップ録音)	71
ステップ入力について	74
音符の置き換え	76
ペロシティカーブの設定	76
ソングを削除する(ソングクリア)	78

<b>ユーティリティを設定しましょう</b>	79
フットスイッチの機能を設定する	79

<b>MIDI機器を接続して演奏しましょう</b>	80
MIDIって何?	80
パーソナルコンピューターと接続する	82
外部機器からMIDIデータを受信 する(リモートチャンネルの設定)	83
外部機器へMIDIデータを送信する (キーボードアウト/アカンパニ メントアウトの設定)	84
ローカルオン/オフを設定する	85
クロックを設定する	85
バルクダンプを送信する	86
PSR-270のパネル設定を送信する (イニシャルセンド)	87

ボイスリスト	88
スタイルリスト	91
ドラムキットリスト	92
エフェクトタイプリスト	94
MIDIインプリメンテーションチャート	96
故障かな?と思ったら	99
初期化(イニシャライズの方法)	100
オプション(別売商品のご紹介)	100
PSR-270仕様	101
インデックス	102
保証とアフターサービス	巻末

この取扱説明書に掲載されているイラストや画面は、すべて操作説明のためのものです。従って実際の仕様と異なる場合があります。



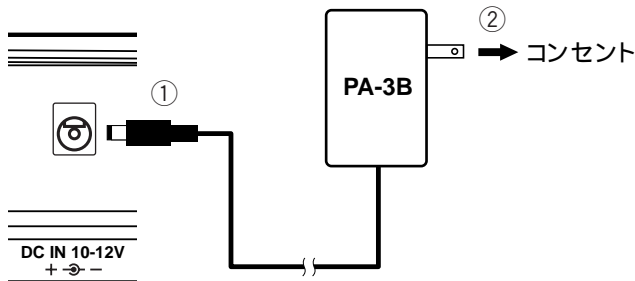
# 演奏の準備

## 電源の準備

PSR-270は、電源として、電源アダプターか乾電池をご使用になれますが、基本的には付属の電源アダプターをご使用になることをおすすめします。

家庭用コンセントから電源をとるときは

- ① リアパネルのDC IN 10-12V [電源アダプター] 端子へさし込みます。
- ② 家庭用(AC100V)コンセントにさし込みます。

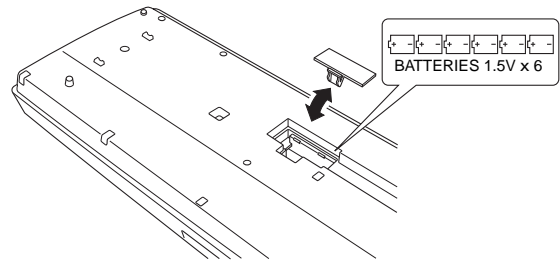


**!** 電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-3Bをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

**!** 使用しないときや落雷の恐れがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。

乾電池を使うときは

- ① 柔らかい布などの上で裏返します。電池プタをはずします。
- ② 市販の乾電池(単1乾電池)を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- ③ 電池プタを閉めます。



乾電池はお早めにお取りかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音量が小さくなったり、音質が劣化したり、ディスプレイの表示が消えたり、記憶させている内容が消えたりします。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

**!** 乾電池はすべて +/- の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

**!** 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

**!** 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

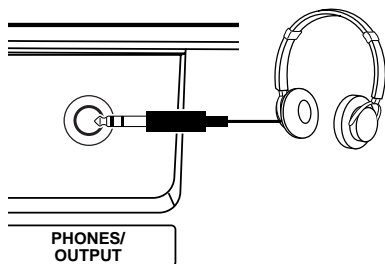
**メモ** 乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

### 同梱品について

PSR-270の同梱品を確認してください。

本体	譜面立て	取扱説明書
電源アダプターPA-3B	和文シート	保証書

## ヘッドフォン/外部出力端子について



接続すると自動的にPSR-270のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/OUTPUT端子は外部出力端子にもなります。PHONES/OUTPUT端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-270の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

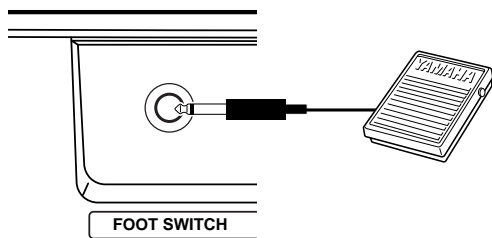


大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。



PSR-270を外部機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で接続してください。感電、または機器損傷のおそれがあります。また、再生するスピーカーなどの損傷を防ぐため、外部機器の音量を最小にしてから接続してください。

## フットスイッチ端子について

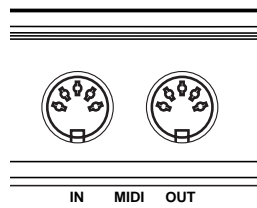


別売のフットスイッチ(FC4またはFC5)をこの端子に接続すると、スイッチ操作でサステインのオン/オフ、リズムのスタート/ストップなど、さまざまなコントロールが可能になります。(79ページ参照)



FOOT SWITCH端子にフットスイッチを接続してから電源を入れてください。フットスイッチを踏みながら電源を入れないでください。

## MIDI端子について



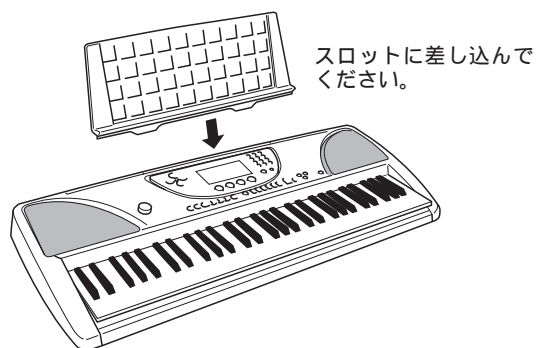
MIDI IN端子は外部のMIDI機器からMIDI信号を受信します。MIDI OUT端子はPSR-270からMIDI信号(PSR-270で演奏した音符やキーを叩いた強さなど)を他の機器に送ります。



MIDIケーブルは楽器店などで買い求めください。

MIDIケーブルは15mが限度とされています。これ以上長いケーブルをご使用になりますと、誤動作などトラブルの原因になりますのでご注意ください。

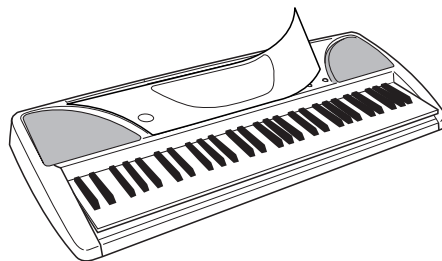
## 譜面立ての取り付け方



スロットに差し込んでください。

## 和文シート

付属の和文シートをパネルにのせてご利用になることもできます。和文シートは粘着式になっていますので、パネル面に貼り付けることもできます。



『「MIDI」』は社団法人音楽電子事業協会(AMEI)の登録商標です。』



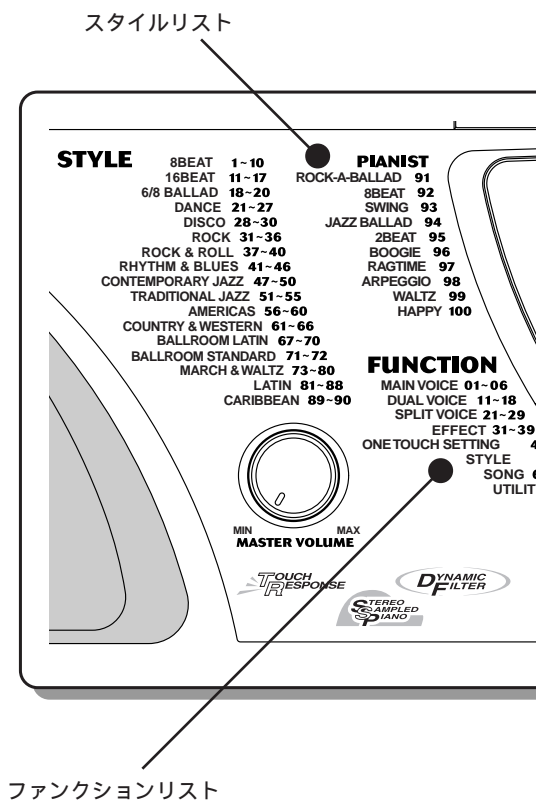
# 各部の名称

## フロントパネル

- ① STANDBY/ON(電源入/切)スイッチ ..... 23ページ
- ② MASTER VOLUME(全体音量)コントロール ..... 22ページ
- ③ OVERALL(設定変更), [ + ][ - ]ボタン ..... 22ページ
- ④ FUNCTION(ファンクション)ボタン ..... 31ページ
- ⑤ SONG(ソング)ボタン ..... 25ページ
- ⑥ STYLE(スタイル)ボタン ..... 45ページ
- ⑦ VOICE(ボイス)ボタン ..... 30ページ
- ⑧ ナンバーボタン[ 1 ]-[ 0 ][ + ][ - ]ボタン  
(ステップ録音キー)..... 23, 73ページ
- ⑨ PORTABLE GRAND(ピアノモード)ボタン ..... 28ページ
- ⑩ METRONOME(メトロノーム)ボタン ..... 28ページ
- ⑪ ACMP ON/OFF(自動伴奏オン/オフ)ボタン ..... 45ページ
- ⑫ SYNC-START(シンクロスタート)ボタン ..... 46ページ
- ⑬ START/STOP(スタート/ストップ)ボタン ..... 46, 52ページ
- ⑭ INTRO/ENDING  
(イントロ/エンディング)ボタン ..... 46, 52ページ
- ⑮ MAIN A/B : AUTO FILL  
(メインA/B : 自動フィルイン)ボタン ..... 50, 51ページ
- ⑯ CHORD GUIDE(コードガイド)ボタン ..... 53ページ
- ⑰ RECORD(録音)ボタン ..... 66ページ
- ⑱ ONE TOUCH SETTING(ワンタッチセッティング)ボタン  
[ SONG MEMORY(ソングメモリー)ボタン ]... 62, 68, 72ページ
- ⑲ HARMONY(ハーモニー)ボタン ..... 41ページ
- ⑳ REVERB(リバーブ)ボタン ..... 38ページ
- ㉑ DUAL(デュアル)ボタン ..... 33ページ
- ㉒ TOUCH(タッチ)ボタン ..... 42ページ
- ㉓ DEMO(デモ)ボタン ..... 25ページ

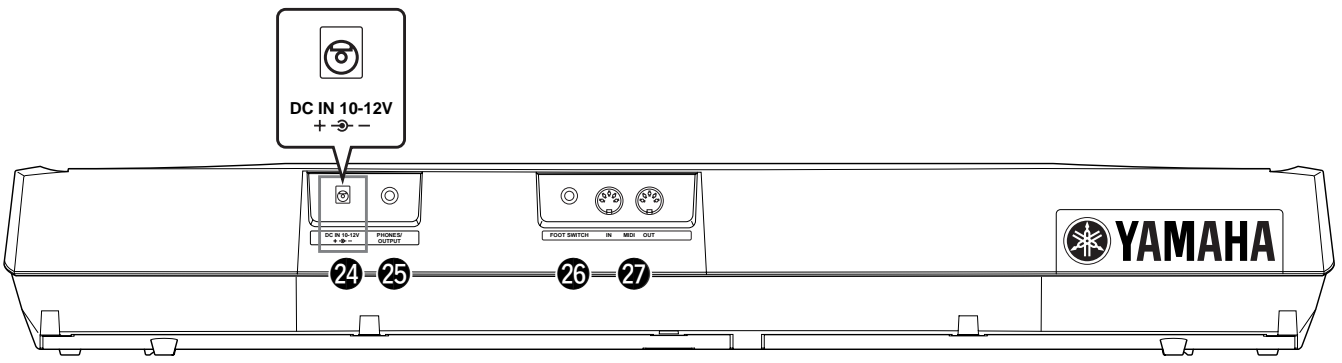
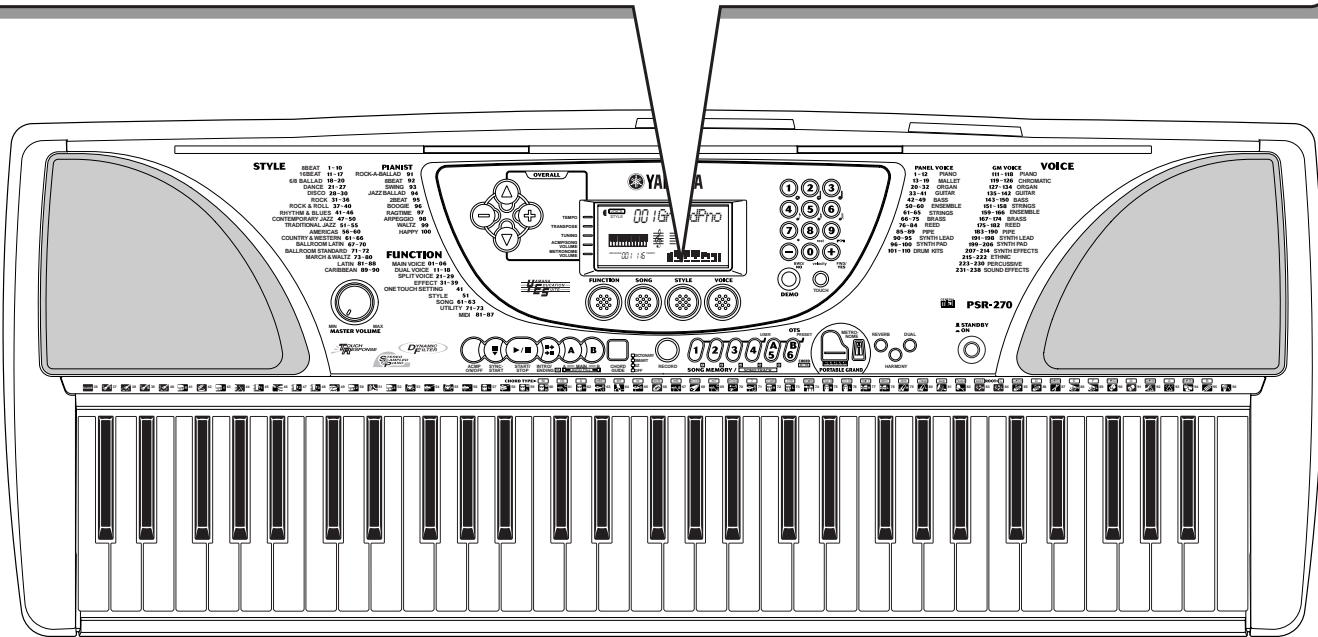
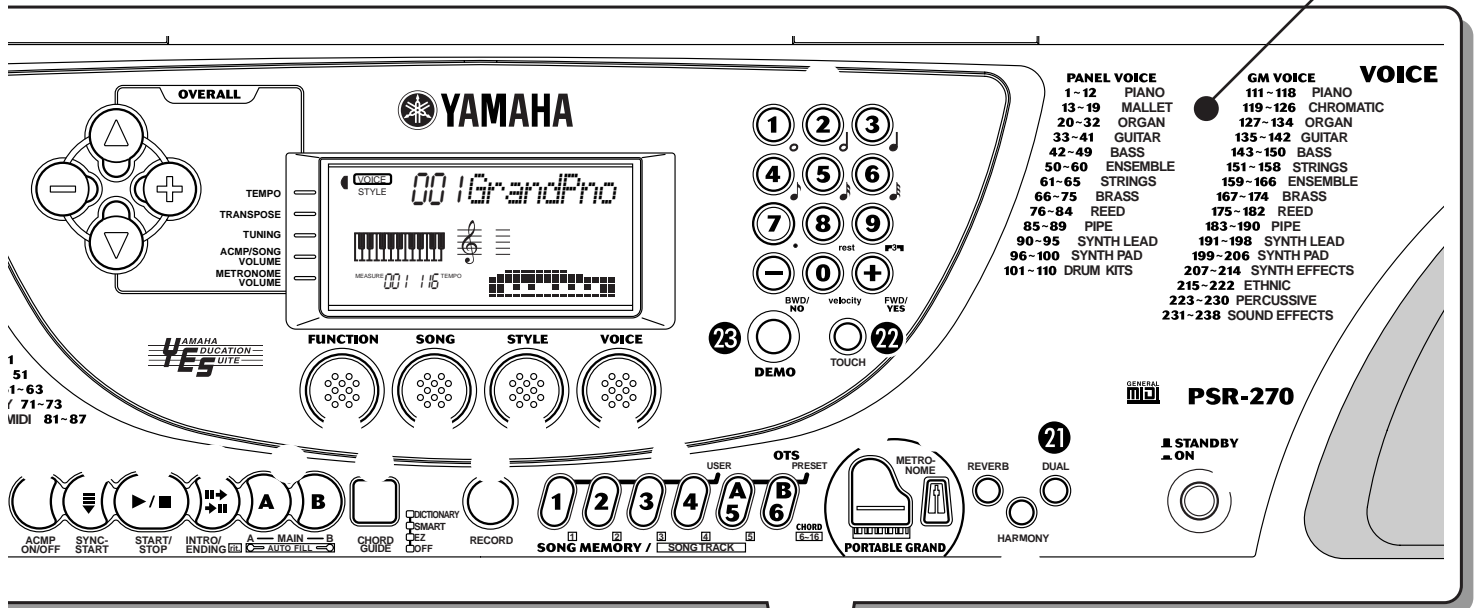
## リアパネル

- ⑳ DC IN 10-12V(電源アダプター)端子 ..... 6ページ
- ㉑ PHONES/OUTPUT(ヘッドフォン/外部出力)端子 ..... 7ページ
- ㉒ FOOT SWITCH(フットスイッチ)端子 ..... 7ページ
- ㉓ MIDI IN/OUT端子 ..... 7, 81ページ





ボイスリスト





メトロノームを鳴らしながら練習しましょう

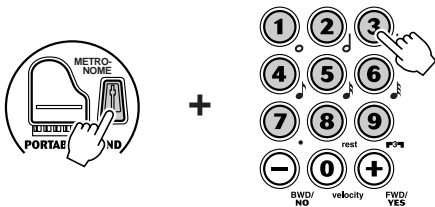
- ① METRONOMEボタンを押す。



\* 詳細は28ページを参照してください。

メトロノームの拍子を変えてみましょう

- ① METRONOMEボタンを押しながらナンバーボタン [ 1 ]-[ 9 ] を押す。

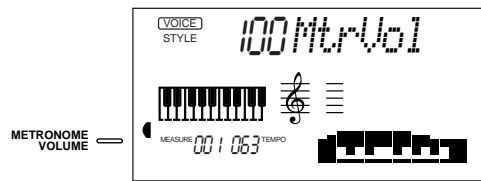
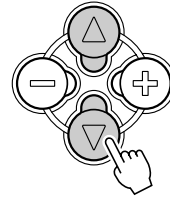


2拍子にしたいときはナンバーボタン[ 2 ]を、3拍子にしたいときはナンバーボタン[ 3 ]を押します。

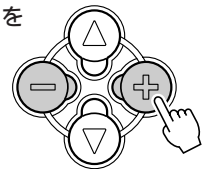
\* 詳細は29ページを参照してください。

メトロノームの音量を変えてみましょう

- 1 OVERALL または ボタンを繰り返し押して、オーバーオール設定項目から「MtrVol」を選ぶ。



- 2 OVERALL[ + ] [ - ] ボタンを押して音量を変える。



\* 詳細は29ページを参照してください。

パネルボイスリスト

No.	ボイス名	No.	ボイス名	No.	ボイス名	No.	ボイス名	No.	ボイス名
ピアノ		23	フルオルガン	46	スラップベース	68	トロンボーン	シンセリード	
1	グランドピアノ	24	ロックオルガン 1	47	シンセベース	69	トロンボーンセクション	90	矩形波リード
2	ブライトピアノ	25	ロックオルガン 2	48	テクノベース	70	フレンチホルン	91	ノコギリ波リード
3	ホンキートンクピアノ	26	16'+2' オルガン	49	ダンスベース	71	チューバ	92	ボイスリード
4	ファンキーエレクトリックピアノ	27	16'+4' オルガン	アンサンブル		72	ブラッセクション	93	クリスタル
5	DXエレクトリックピアノ	28	チャーチオルガン	50	ストリングス	73	シンセブラス	94	ブライトネス
6	MIDIグランドピアノ	29	リードオルガン	51	チェンバーストリングス	74	ジャンプブラス	95	アナログリード
7	CP 80	30	ミュゼットアコーディオン	52	シンセストリングス	サククス etc.		シンセパッド	
8	ハイパーエレクトリックピアノ	31	トラディショナルアコーディオン	53	スローストリングス	76	ソプラノサククス	96	ファンタジア
9	ベルエレクトリックピアノ	32	バンドネオン	54	トレモロストリングス	77	アルトサククス	97	ベルパッド
10	ハーブシコード	ギター		55	ピチカートストリングス	78	テナーサククス	98	ゼノンパッド
11	クラビ	33	クラシックギター	56	クワイア	79	バリトンサククス	99	エンジェルス
12	チェレスタ	34	フォークギター	57	クワイア アー	80	オーボエ	100	ダークムーン
ピブラフォン etc.		35	12弦ギター	58	クワイア ウー	81	イングリッシュホルン	ドラムキット	
13	ピブラフォン	36	ジャズギター	59	シンセクワイア	82	バスーン	101	スタンダードキット1
14	マリンバ	37	オクターブギター	60	オーケストラヒット	83	クラリネット	102	スタンダードキット2
15	シロフォン	38	クリーンギター	バイオリン etc.		84	ハーモニカ	103	ルームキット
16	チューブラーベル	39	ミュートギター	61	バイオリン	フルート etc.		104	ロックキット
17	ティンパニ	40	オーバードライブギター	62	チェロ	85	ピッコロ	105	エレクトロニックキット
18	スチールドラム	41	ディストーションギター	63	コントラバス	86	フルート	106	アナログキット
19	ミュージックボックス	ベース		64	バンジョー	87	パンフルート	107	ダンスキット
オルガン		42	アコースティックベース	65	ハーブ	88	リコーダー	108	ジャズキット
20	ジャズオルガン1	43	フィンガーベース	トランペット etc.		89	オカリナ	109	ブラッシュキット
21	ジャズオルガン2	44	ピックベース	66	トランペット			110	シンフォニー - キット
22	ジャズオルガン3	45	フレットレスベース	67	ミュートトランペット				

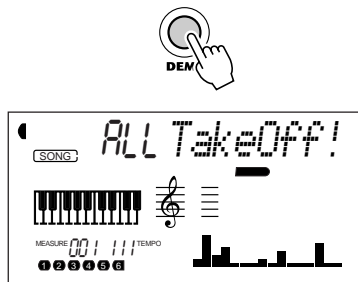
## ソングを鳴らしましょう

この楽器の性能をフルに活用したデモソングが3曲入っています。ソングナンバー1~3を聴いてみましょう。

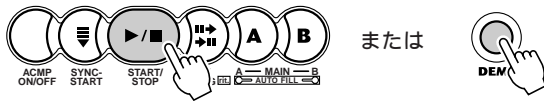
### 3曲続けて鳴らしましょう

PSR-270に入っている曲を続けて聴くことができます。

- 1 DEMOボタンを押す。



- 2 ソングをストップ。

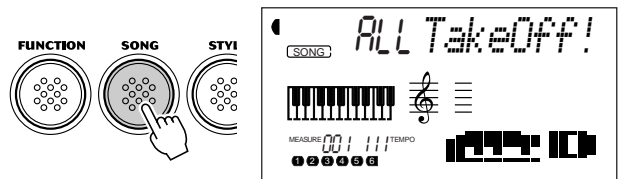


\* 詳細は25ページを参照してください。

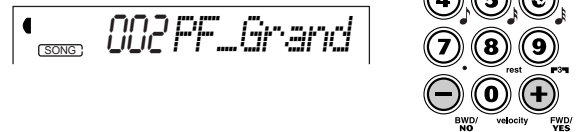
### 1曲ずつ鳴らしましょう

PSR-270に入っている曲から、好きな曲だけを聴くことができます。

- 1 SONGモードにする。



- 2 ソングを選ぶ。



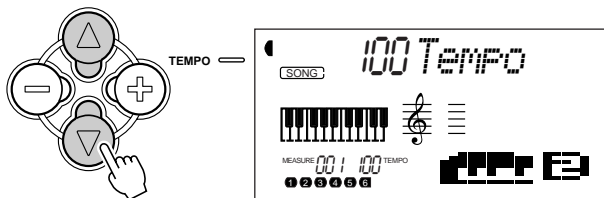
- 3 ソングをスタート/ストップ。



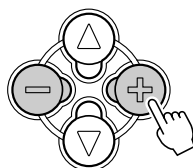
\* 詳細は25ページを参照してください。

### テンポ(速さ)を変えてみましょう

- 1 OVERALL または ボタンを繰り返し押して、オーバーオール設定項目から「Tempo」を選ぶ。



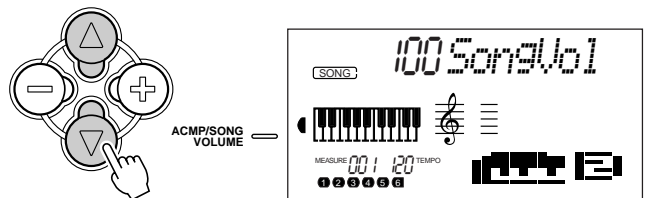
- 2 OVERALL[+] [-] ボタンを押してテンポを変える。



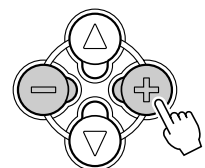
\* 詳細は26ページを参照してください。

### ソングと鍵盤演奏の音量バランスを変えてみましょう

- 1 OVERALL または ボタンを繰り返し押して、オーバーオール設定項目から「SongVol」を選ぶ。



- 2 OVERALL[+] [-] ボタンを押して音量を変える。



\* 詳細は27ページを参照してください。

## 自分の演奏を録音しましょう

PSR-270では、2種類の録音方法が用意されています。それぞれの録音に挑戦してみましょう。

1 RECORDボタンを押して録音方法を選ぶ。



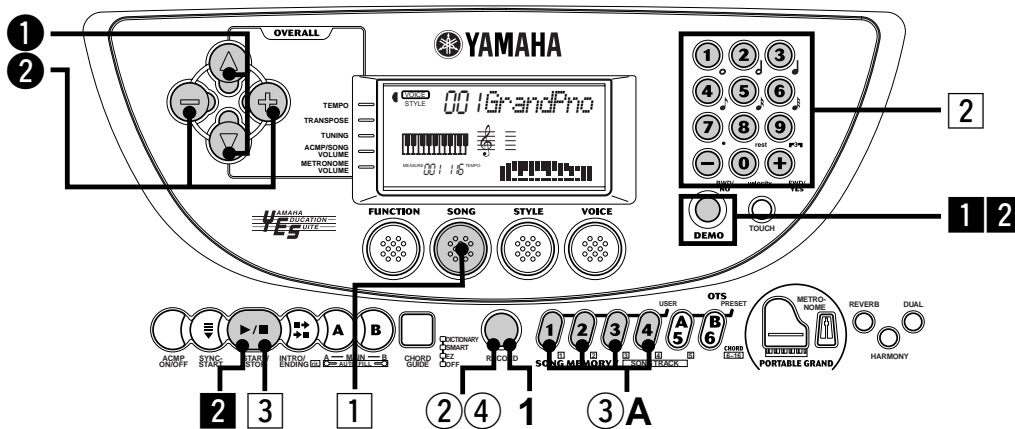
リアルタイム録音

鍵盤演奏をテープレコーダーに録音するように、演奏しながら録音します。

ステップ録音

楽譜に音符を書くように1音1音録音します。

\* 詳細は67, 71ページを参照してください。



## 自分の気に入った設定を記録しましょう

自分の好みのスタイルとボイスの組み合わせなど、自由なパネル設定をユーザー設定として16種類記録できます(ユーザーバンク1~4×ユーザー1~4)。記録したユーザー設定は、いつでも呼び出すことができます。

### ワンタッチセッティング ユーザー設定

- ① この楽器を記録したい状態に設定する。(たとえば、好きな音色を選ぶ。)
- ② RECORDボタンを数回押して「OTS User」を表示させる。
- ③ 記録したいユーザーボタン( USER 1 ~ 4 )を押す。



これで現在のパネル設定が記録されました。

- ④ RECORDボタンを押して録音モードを抜ける。



### 記録したユーザー設定を呼び出しましょう

- A USER 1 ~ 4ボタンを押して、パネルに記録した内容を呼び出す。



USER 1 ~ 4を1セットとして、4セット(バンク1~4)が使えます。

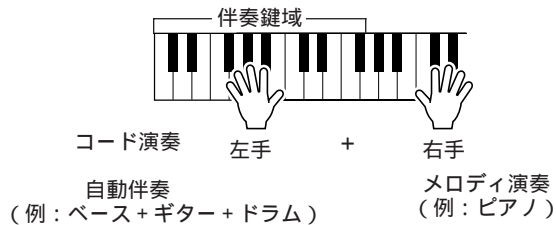
\* 詳細は63~64ページを参照してください。



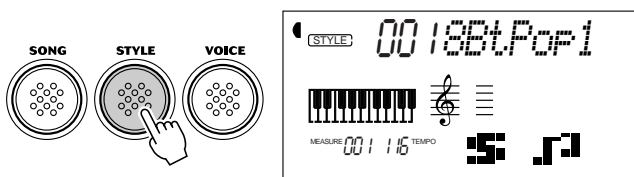
## 自動伴奏を使って演奏しましょう

自動伴奏機能は、左手でコード(和音)を押さえるだけで、そのコード(和音)に合った伴奏が鳴る機能です。伴奏をバックに右手のメロディ演奏を楽しめます。

コードの押さえ方は、「自動伴奏のコードの押さえ方」(47ページ)や、「コードガイドを活用しましょう」(53ページ)を参照してください。



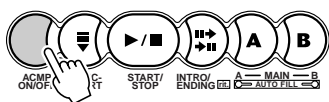
### 1 STYLEモードにする。



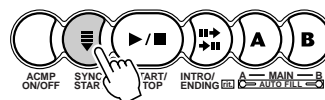
### 2 (右ページのスタイルリストを見て)スタイルを選ぶ。



### 3 自動伴奏をオンにする。



### 4 シンクロスタートをオンにする。



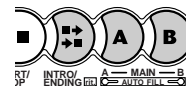
### 5 コード(左手)を演奏する。

ステップ4(16ページ)のコードガイドを活用しましょう。

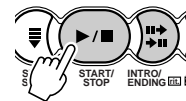


### 6 必要に応じてセクション(伴奏のパターン)を切り替える。

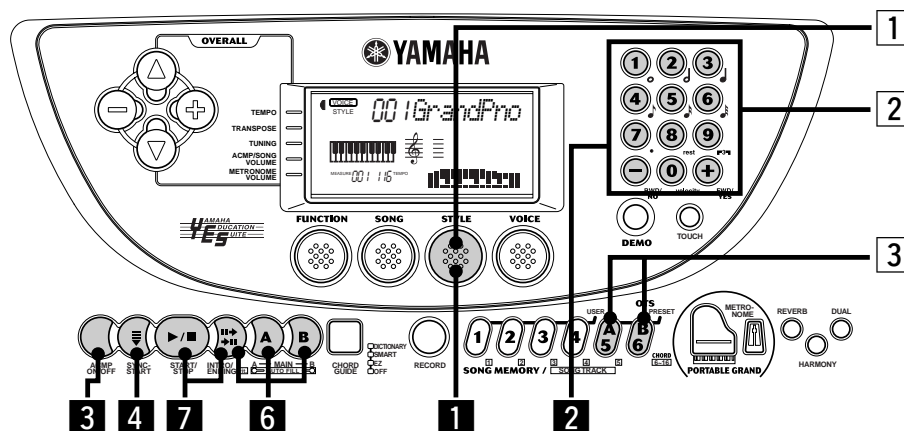
イントロ、メインA/B、エンディングセクションを聴いてみましょう。



### 7 自動伴奏をストップする。



\* 詳細は43ページを参照してください。

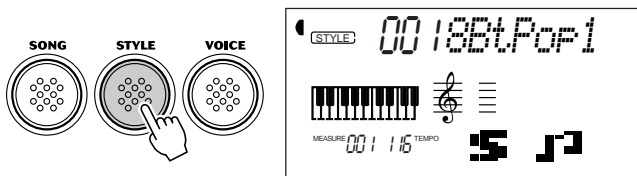


## 伴奏に合った音色をワンタッチで選びましょう

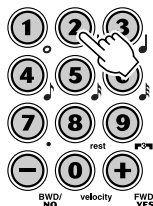
100種類のスタイルそれぞれに、2種類ずつ(プリセットA/B)あらかじめ設定されています。

### ワンタッチセッティング プリセットA/B

1 STYLEモードにする。



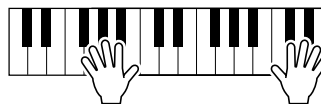
2 (下のスタイルリストを見て) スタイルを選ぶ。



3 ONE TOUCH SETTING( PRESET A、またはB)ボタンを押す。



4 演奏する。



\* 詳細は62ページを参照してください。

### スタイルリスト

No. スタイル名	No. スタイル名	No. スタイル名	No. スタイル名	No. スタイル名
8ビート	ダンス	リズム&ブルース	カントリー&ウエスタン	ラテン
1 8ビートポップ1	21 ダンスポップ1	41 リズム&ブルース	61 ブルーグラス	81 ボサノバ1
2 8ビートポップ2	22 ダンスポップ2	42 ファンク2	62 カントリー-2/4	82 ボサノバ2
3 8ビートアップテンポ	23 テクノ	43 ソウル	63 カントリーロック	83 サルサ
4 8ビートスタンダード	24 ユーロビート	44 ゴスペルシャッフル	64 カントリーバラード	84 サンバ
5 フォークロック	25 ユーロハウス	45 6/8ゴスペル	65 カントリーシャッフル	85 マンボ
6 ポップロック	26 ヒップホップ	46 4/4ブルース	66 カントリーワルツ	86 ビギン
7 8ビートミディアム	27 シンセブギ	コンテンポラリージャズ	ボールルームラテン	87 メレンゲ
8 8ビートバラード	ディスコ	47 クールジャズ	67 チャチャチャ	88 ボレロレント
9 エピックバラード	28 70Sディスコ	48 ジャズバラード	68 ルンバ	カリビアン
10 ピアノバラード	29 ディスコトロピカル	49 ジャズワルツ	69 パソドブレ	89 レゲエ
16ビート	30 ボルカポップ	50 フュージョン	70 タンゴ	90 ポップレゲエ
11 16ビートシャッフル1	ロック	トラディショナルジャズ	ボールルームスタンダード	ピアニスト
12 16ビートシャッフル2	31 8ビートロックバラード	51 スイング	71 フォックストロット	91 ロッカバラード
13 16ビートポップ	32 16ビートロックバラード	52 ビッグバンドスイング	72 ジャイブ	92 8ビート
14 ファンク1	33 ハードロック	53 ビッグバンドバラード	マーチ&ワルツ	93 スイング
15 16ビートバラード1	34 ロックシャッフル	54 ジャズカルテット	73 マーチ1	94 ジャズバラード
16 16ビートバラード2	35 6/8ヘビーロック	55 デキシールランド	74 マーチ2	95 2ビート
17 ソウルバラード	36 USロック	アメリカズ	75 6/8マーチ	96 ブギ
6/8バラード	ロックンロール	56 ケイジャン	76 ボルカ	97 ラグタイム
18 スローロック1	37 ロックンロール1	57 バンダ	77 スタンダードワルツ	98 アルベジオ
19 スローロック2	38 ロックンロール2	58 マリアッチ	78 ジャーマンワルツ	99 ワルツ
20 6/8バラード	39 ブギ	59 テジャノ	79 ウィンナワルツ	100 ハッピー
	40 ツイスト	60 クンビア	80 ミュゼットワルツ	

## コードガイド機能を使ってみましょう

コード(和音)の勉強に役立つコードガイド機能には、「ディクショナリー」「スマート」「イージー」の3種類があります。

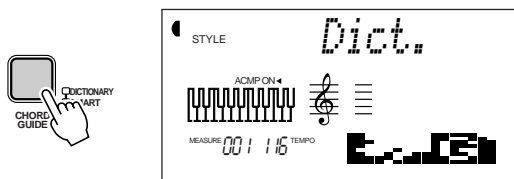
これ以外の通常のコードの押さえ方は、「自動伴奏のコードの押さえ方」(47ページ)を参照してください。

### コードの押さえ方を勉強しましょう

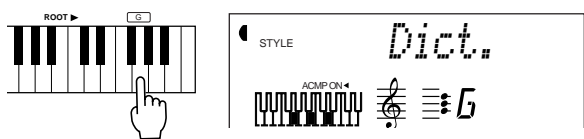
「ディクショナリー」を使えば、コードの押さえ方を勉強することができます。

例) **G M7**  
ルート音 コードタイプ

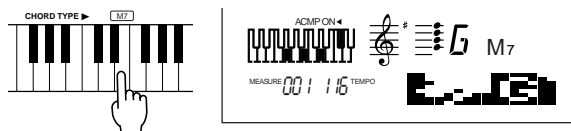
- STYLEモードを選び、CHORD GUIDEボタンを押して画面に「Dict.」を表示させる。



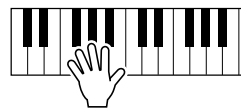
- 知りたいコードのルート音を押す。  
17ページ鍵盤イラスト参照



- 知りたいコードのコードタイプを押す。  
17ページ鍵盤イラスト参照



- 画面の鍵盤ガイドにしたがって、左側の鍵盤(伴奏鍵域)を左手で押さえる。



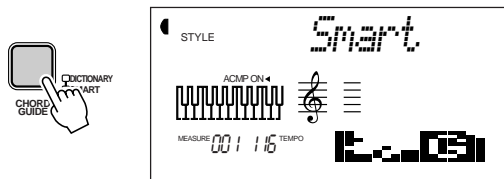
正しく押さえると、画面のコード名が点滅します。

\* 詳細は53ページを参照してください。

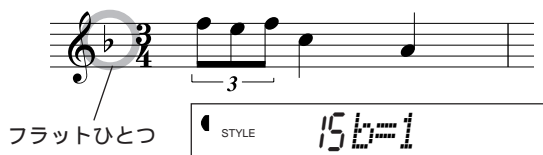
### 曲調に合ったコードを指1本で押さえましょう

「スマート」を使えば、曲調に合ったコードを指1本で押さえることができます。

- STYLEモードを選び、CHORD GUIDEボタンを押して画面に「Smart」を表示させる。



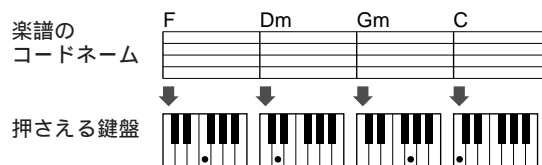
- 弾きたい曲の調を設定する。  
[ + ] [ - ] ボタンで、楽譜の「#」または「b」の数を合わせます。



- 自動伴奏をスタートする。



- コードのルート(根音)を押さえる。



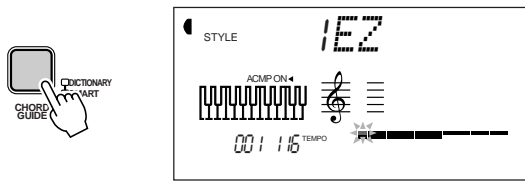
\* 詳細は54ページを参照してください。

コード進行を鳴らしましょう

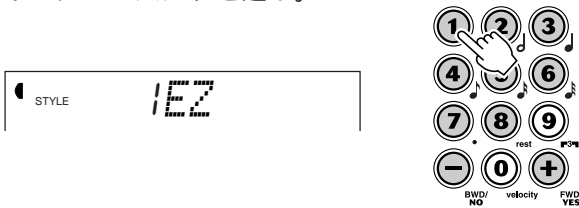
「イージー」を使えば、あらかじめ録音したコード進行を、鍵盤を押すタイミングで、録音したコード順に演奏することができます。

サンプルパターンを使って説明します。  
(バンク1『メヌエット』 58ページ参照)

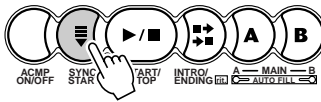
- STYLEモードを選び、CHORD GUIDEボタンを押して画面に「EZ」を表示させる。



- イージーのバンクを選ぶ。



- シンクロスタートをオンにする。



- 左手で伴奏鍵域の鍵盤（どこでも構いません）を押さえるとはじめのコードが鳴る。



はじめのコード

コードチェンジ

左手で伴奏鍵域の鍵盤（どこでも構いません）を押さえるたびに、次のコードに変わります。



メロディを演奏しながら、好きなタイミングでコードチェンジしましょう。

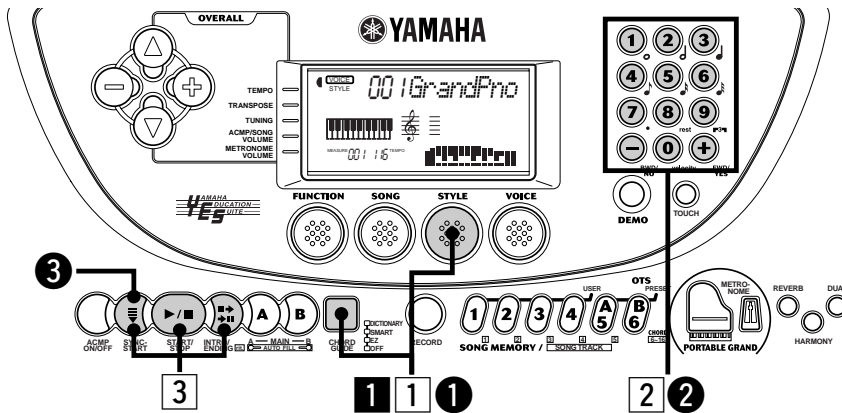
フットスイッチでコードを進めることもできます。

\* 詳細は56, 57, 79ページを参照してください。

イージー録音

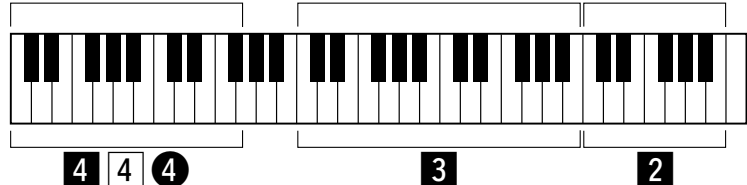
コード進行の録音はとても簡単です。好きな曲の楽譜（コードネームの書いてあるもの）を使ってお試しください。

\* 詳細は59ページを参照してください。



ディクショナリー（Dict.）に使用する鍵盤です。

伴奏鍵域（C1～F#2）      コードタイプ用鍵盤（C3～B4）      ルート用鍵盤（C5～B5）

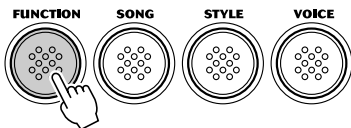


# 操作早見表 ステップ5 ファンクション

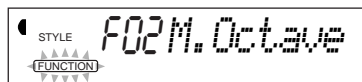
## ファンクションを設定しましょう

PSR-270には、各機能の詳細を設定するファンクション設定があります。  
ここではファンクション共通の基本的な操作方法を説明します。

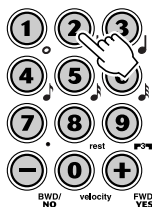
**1** FUNCTIONボタンを押す。



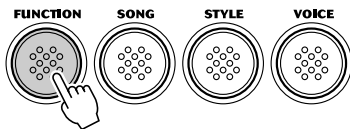
**2** (右ページのファンクションリストを見て) ファンクションナンバーを選ぶ。



[ FUNCTION 表示の点滅中は選択可能

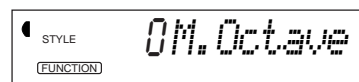


ファンクション  
ナンバーの入力



FUNCTIONボタンを押すと、ファンクションナンバーが1つ大きくなります。押し続けると連続して大きくなります。

**3** しばらくすると画面の FUNCTION 表示が点灯に変わってファンクションが選ばれ(確定し) ファンクションナンバーの表示(F01など)が、ファンクションの設定値表示(数値など)に変わります。

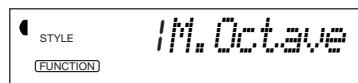


ファンクションの設定値表示

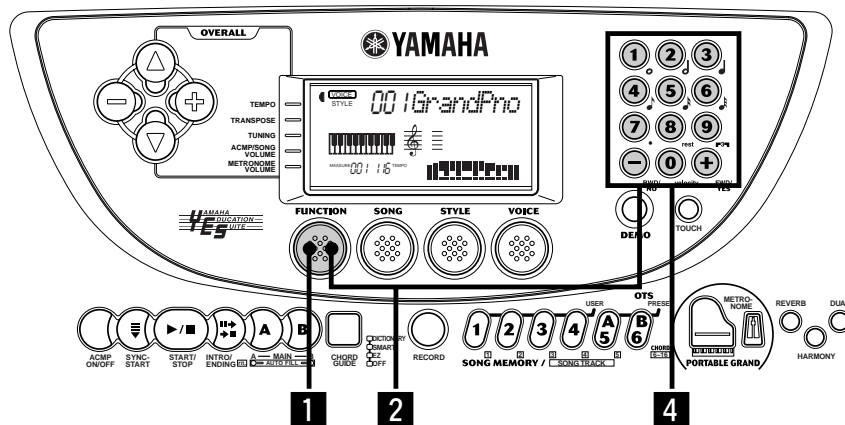
**4** ナンバーボタン[1]~[0][+][-]ボタンを押してファンクションの設定値を入力する。



ファンクション設定値の変更



\* 詳細は31ページを参照してください。





ファンクションリスト

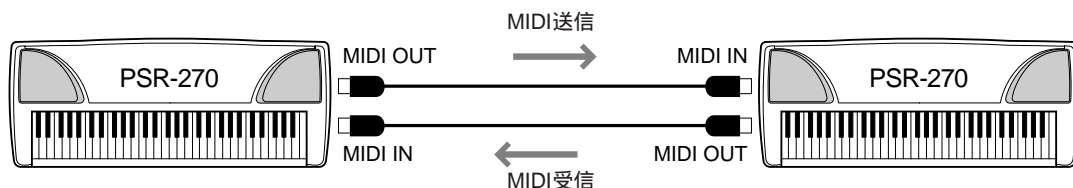
ファンクション			ページ
F01	M. Volume	メインボイス ボリューム	32
F02	M. Octave	メインボイス オクターブ	32
F03	M. Pan	メインボイス パン	32
F04	M. RevLv1	メインボイス リバーブセンドレベル	32
F05	M. ChoLv1	メインボイス コーラスセンドレベル	32
F06	M. DspLv1	メインボイス DSPセンドレベル	32
F11	D. Volume	デュアルボイス ボリューム	34
F12	D. Octave	デュアルボイス オクターブ	34
F13	D. Pan	デュアルボイス パン	34
F14	D. RevLv1	デュアルボイス リバーブセンドレベル	34
F15	D. ChoLv1	デュアルボイス コーラスセンドレベル	34
F16	D. DspLv1	デュアルボイス DSPセンドレベル	34
F17	D. Voice	デュアルボイス ボイス選択	34
F18	Dual	デュアルボイス オン/オフ	34
F21	S. Volume	スプリットボイス ボリューム	36
F22	S. Octave	スプリットボイス オクターブ	36
F23	S. Pan	スプリットボイス パン	36
F24	S. RevLv1	スプリットボイス リバーブセンドレベル	36
F25	S. ChoLv1	スプリットボイス コーラスセンドレベル	36
F26	S. DspLv1	スプリットボイス DSPセンドレベル	36
F27	S. Voice	スプリットボイス ボイス選択	36
F28	Split	スプリットボイス オン/オフ	36
F29	SplitPnt	スプリットボイス スプリットポイント	36

ファンクション			ページ
F31	Reverb	リバーブ オン/オフ	38
F32	RevType	リバーブ タイプ	38
F33	Chorus	コーラス オン/オフ	39
F34	ChoType	コーラス タイプ	39
F35	Dsp	DSP オン/オフ	40
F36	DspType	DSP タイプ	40
F37	Harmony	ハーモニー オン/オフ	41
F38	HarmType	ハーモニー タイプ	41
F39	HarmVol	ハーモニー ボリューム	41
F41	UserBank	ワンタッチセッティングユーザーバンク	64
F51	AcmpSPnt	自動伴奏スプリットポイント	52
F61	USng1Clr	ユーザーソング1クリア	78
F62	USng2Clr	ユーザーソング2クリア	78
F63	USng3Clr	ユーザーソング3クリア	78
F71	FootSw	フットスイッチ	79
F72	VoiceSet	ボイスセット	33
F73	TouchSns	タッチセンス	42
F81	RemoteCh	リモートチャンネル	83
F82	KbdOut	キーボードアウト	84
F83	AcmpOut	アカンパニメントアウト	84
F84	Local	ローカルオン/オフ	85
F85	ExtClock	クロック	85
F86	BulkSend	バルクセンド	86
F87	InitSend	イニシャルセットアップセンド	87

## MIDIを使ってみましょう

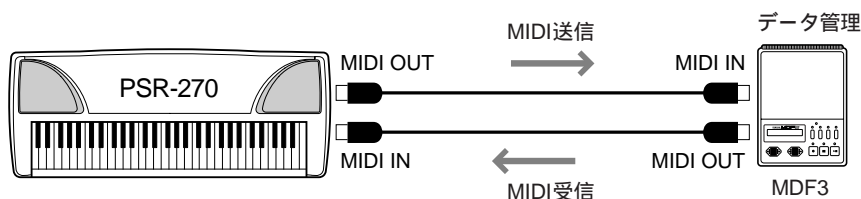
PSR-270にはリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)がついています。  
MIDI機能を活用すれば、音楽の可能性を広げることができます。

ソングやワンタッチセッティングなどのメモリーデータを送受信する。



バルクダンプ送信/受信( 86ページ参照)

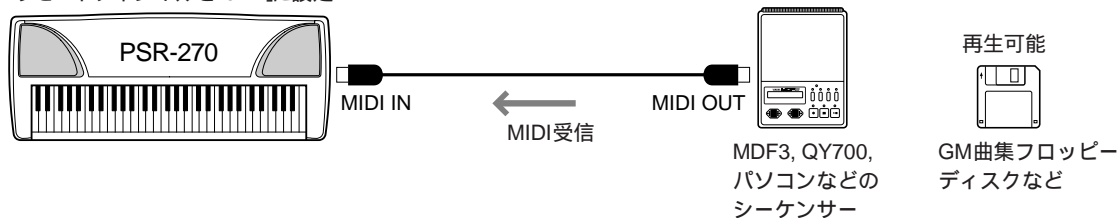
MDF3に、ソングやワンタッチセッティングなどのメモリーデータを記録(セーブ/ロード)する。



バルクダンプ送信/受信( 86ページ参照)

PSR-270をGM音源として(16チャンネルの演奏を同時に)鳴らす。

リモートチャンネルを「oFF」に設定



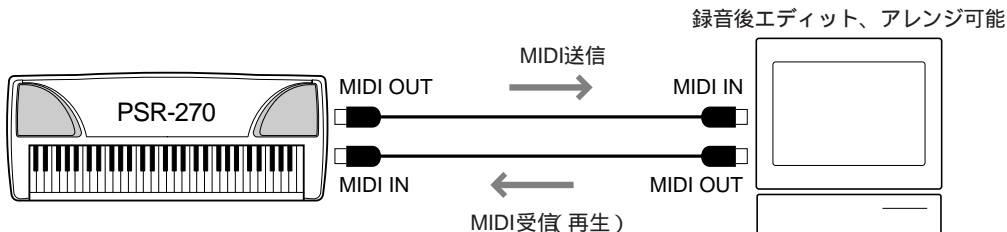
MIDI受信設定( 83ページ参照)

MIDIキーボード(音源なし)の演奏をPSR-270で鳴らす。(自動伴奏も使用可能)



MIDI受信設定( 83ページ参照 )  
 クロックの設定( 85ページ参照 )

PSR-270の演奏データ(鍵盤や自動伴奏を使った演奏: 1~16チャンネル)をまとめて外部シーケンサー(パソコンなど)に録音する。録音後、外部シーケンサーでエディットしPSR-270を鳴らす(再生)。



MIDI送信設定( 84ページ参照 )  
 イニシャルセンド( 87ページ参照 )

パソコン, MDF3,  
 QY700などの  
 シーケンサー



パソコンを使用する場合は、専用のソフトウェア(シーケンスソフト)が必要になります。

**GENERAL MIDI** GMシステムレベル1

「GMシステムレベル1」は、メーカーや機種が異なった音源でも、ほぼ同じ系統の音色で演奏が再現されることを目的に設けられた、音源の音色配列やMIDI機能に関する一定の基準のことです。「GMシステムレベル1」に対応した音源やソングデータには、このGMマークがついています。PSR-270はGMシステムレベル1に対応しています。

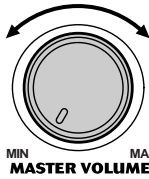


# 基本操作を覚えましょう(ディスプレイの見かた)

## 音量の調節

MASTER VOLUMEコントロールを回します。

左に回すと、音量が小さくなります。



右に回すと、音量が大きくなります。

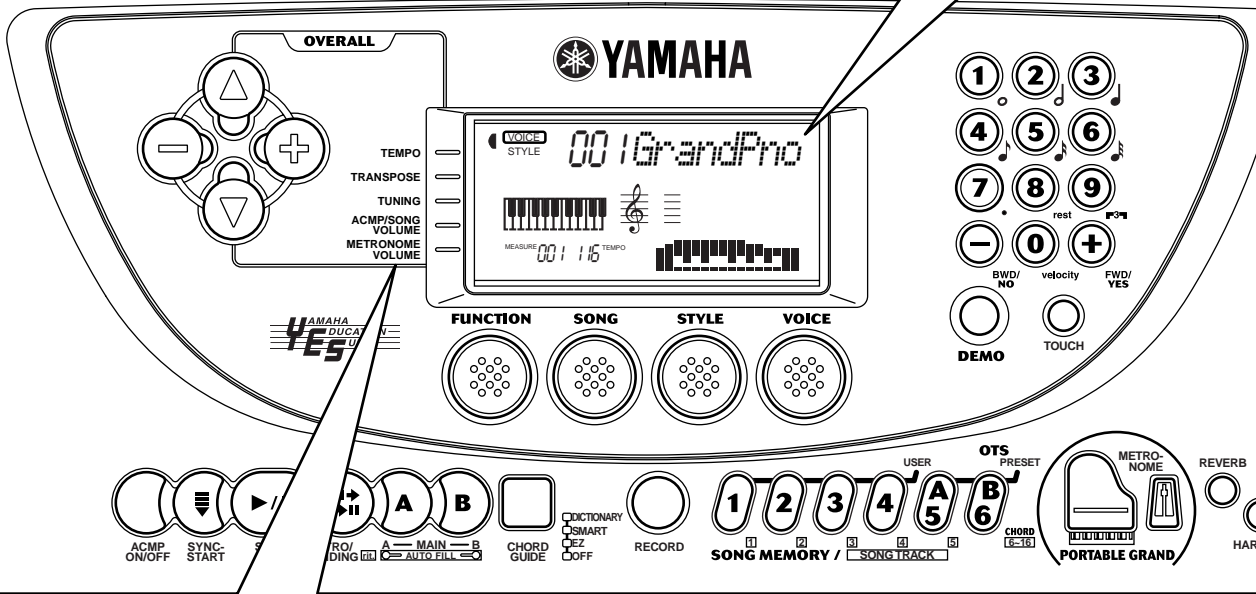
MIN MASTER VOLUME MAX

## ネーム&ナンバー表示 (SONG/STYLE/VOICE)

ディスプレイ上段には、現在選ばれているモードの「ネームとナンバー」が表示されます。

例) SONGモードの場合

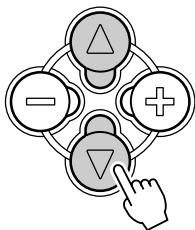
ソングナンバー表示      ソングネーム表示



## オーバーオール表示

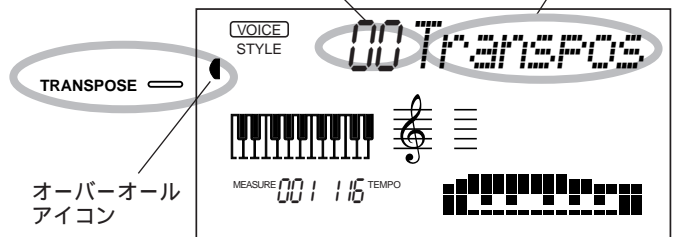
オーバーオールでは、PSR-270全体に関するさまざまな設定が行えます。

- ・テンポ ..... 26ページ
- ・トランスポーズ ..... 37ページ
- ・チューニング ..... 37ページ
- ・伴奏/ソング音量 ..... 27, 49ページ
- ・メトロノーム音量 ..... 29ページ



OVERALL または ボタンを押すと、OVERALLアイコンが移動し、ディスプレイ上段には現在選ばれている「設定項目」と「設定値」が表示されます。さらにOVERALL または ボタンを押すと、設定項目が変わります。

例)トランスポーズの場合      設定値 (トランスポーズ表示)      設定項目 (トランスポーズ表示)



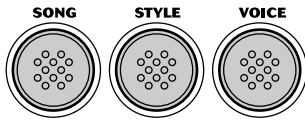
オーバーオールアイコン



OVERALL表示はしばらくそのままにすると、モードの「ネームとナンバー」表示に戻ります(たとえば「001 GrandPno」)。

モードの選びかた

SONG/STYLE/VOICEボタンを押すと、PSR-270の基本的なモードを選ぶことができます。(選ばれているモードのアイコンが表示されます。)



- ・ SONGモード  
聴きたいソングや練習したいソングを選ぶとき
- ・ VOICEモード  
鍵盤で演奏するボイス(音色)を選ぶとき
- ・ STYLEモード  
スタイルを選ぶとき



**メモ** ファンクションモードについては18ページを参照してください。

電源オン

STANDBY/ONスイッチを押すと、電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。

STANDBY ON



**!** スイッチが「STANDBY」の状態でも微電流が流れています。PSR-270を長時間使用しないときは必ず電源アダプターを抜いてください。また、乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜いてください。



SONGモードやSTYLEモードを選んだ後にVOICEモードを選ぶと、次のような表示になります。

SONGモード VOICEモード STYLEモード VOICEモード



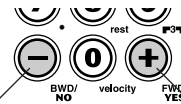
START/STOPボタンでソングがスタート



START/STOPボタンで自動伴奏がスタート

ナンバーの選びかた

ナンバーをひとつずつ変えるには、[ + ] [ - ] ボタンを使用します。



一度押すと、ひとつ小さなナンバーに

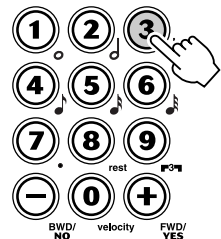
一度押すと、ひとつ大きなナンバーに

押し続けると、ナンバーが連続で増減します。

SONG/STYLE/VOICEボタンを押すと、それぞれのナンバーが増加し、押し続けると連続で増加します。

直接ナンバーを選ぶには、ナンバーボタン[ 1 ]~[ 0 ]を使用します。

例) 3 : HnkyTonk」を選ぶ場合

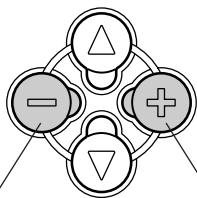


ナンバーボタンの[ 3 ] または [ 0 ] [ 3 を押すと、ナンバーが点滅します。しばらくそのままにすると、ナンバーが通常表示に変わり確定します。

**メモ** 「100の位」「10の位」「1の位」の順番で、ナンバーボタンを続けて3つ押せば、すぐにナンバーが確定します。1桁の数字の場合は先頭に「00」を、2桁の数字の場合は「0」を付けます。

設定値の変えかた

設定値の変更はOVERALL[ + ] [ - ] ボタンを使用します。



一度押すと、ひとつ小さなナンバーに

一度押すと、ひとつ大きなナンバーに

押し続けると、ナンバーが連続で増減します。



**楽譜表示**

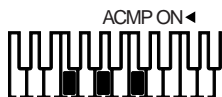
自動伴奏演奏時や、コードガイド機能使用時にコードの構成音を表示します。

BM7のように1つの音符に「♯」と「#」、または「♭」と「b」が存在する場合、ディスプレイの制約で楽譜表示できない場合があります。



**鍵盤表示**

自動伴奏演奏時やコードガイド機能使用時はコードの構成音を、鍵盤イラストで分かりやすく表示します。



**コード表示**

現在鳴っているコード名や、鍵盤で押さえたコード名などを表示します。



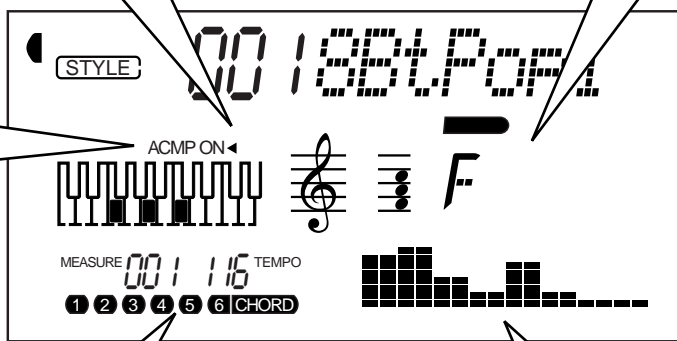
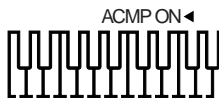
**ビート表示**

伴奏やソングのビート(拍)を、4つのバーで点滅表示します。



**自動伴奏オン (ACMP ON) 表示**

自動伴奏機能のオン/オフを表示します。



**小節 (MEASURE) 表示**

ソングの小節番号や、スタイル演奏の現在の小節番号を表示します。



**テンポ (TEMPO) 表示**

伴奏やソングなどのテンポ(曲の速さ)を表示します。



**録音トラック表示**

ソングメモリーの、録音トラックに関する情報を表示します。



**アイコン表示**

通常は、選ばれているモードの設定内容などをアイコン(絵記号)で表示します。イメージ録音時には、録音に関する情報を表示します。また、ソング再生時や自動伴奏演奏時は音量レベルメーターを表示します。



液晶表示のバックライトは、長時間使用すると暗くなることがあります。表示が暗くなり見にくくなった時は、お買い上げの販売店、または巻末のヤマハ電気音響サービス拠点迄、交換をご依頼ください。有償にて交換させていただきます。

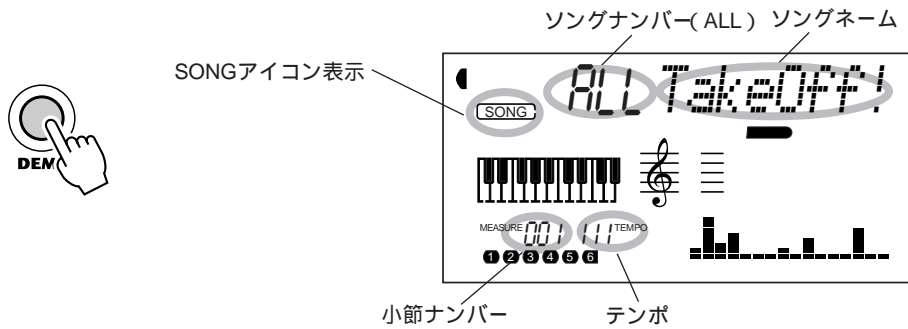


# ソングを鳴らしましょう

PSR-270にはデモソングが3曲入っています。まずデモソングを鳴らしてみましょ。自分の演奏を録音する場合はソングメモリー機能を活用しましょう。( 66ページ参照)

## デモソングを続けて聴くには...

DEMOボタンを押します。  
デモソングをソングナンバー順に、連続して再生します。

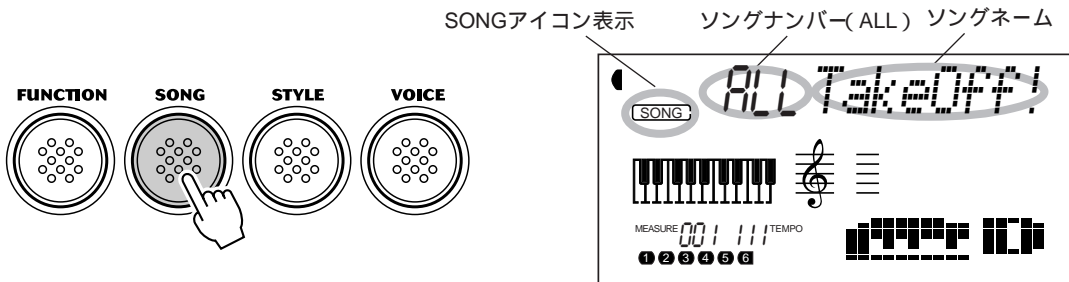


START/STOPボタンまたはDEMOボタンを押すと、デモソングがストップします。

## 好きなソングを1曲ずつ聴くには...

### 1 SONGモードを選びます。

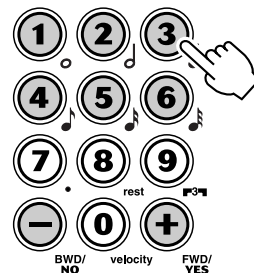
SONGボタンを押して、SONGモードを選びます。



### 2 ナンバーボタンでナンバーを選びます。

ナンバーの選びかた 23ページ

1~3	デモソング
4~6	ユーザーソング(録音方法は66ページを参照してください。)
ALL(オール)	デモソング1~3

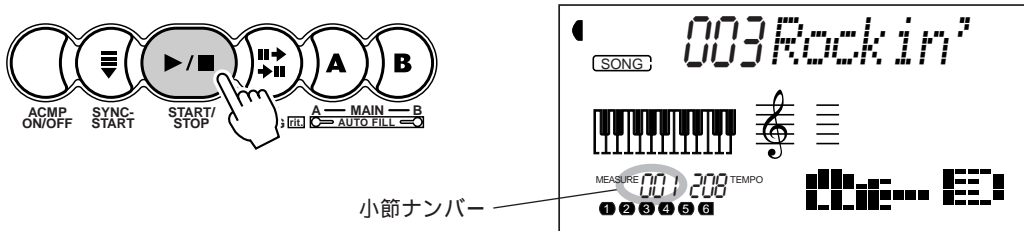


**メモ** 自分で録音したユーザーソング1~3 ソングナンバー4~6 也同样に再生できます。( 66ページ参照)  
ソングナンバー「0」を選ぶと「ALL(オール)」になります。

### 3 ソングをスタート/ストップします。

START/STOPボタンを押すと、ソングがスタートします。ソングに合わせて鍵盤演奏もできます。

もう一度START/STOPボタンを押すと、ソングがストップします。

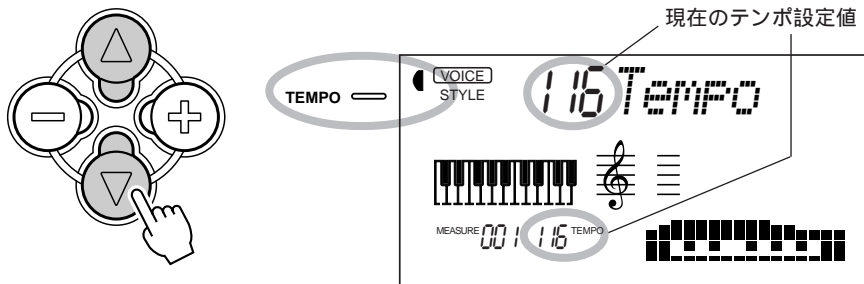


フットスイッチの操作で、ソングをスタートさせることもできます。( 79ページ参照 )

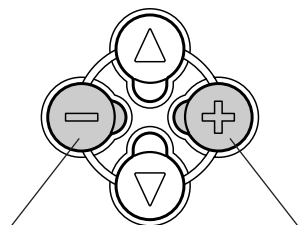
## テンポの調整

ソング/スタイルのテンポを「♩=32~280(1分間の4分音符の数)」の範囲で調整します。

1 ディスプレイに「Tempo」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押しします。



2 OVERALL[ + ][ - ]ボタンを押して、テンポ設定値を変更します。



テンポ設定値が減少し、テンポが遅くなります。

テンポ設定値が増加し、テンポが速くなります。

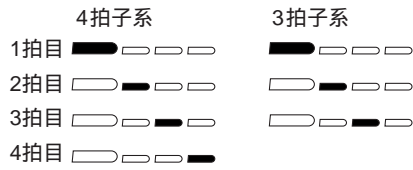
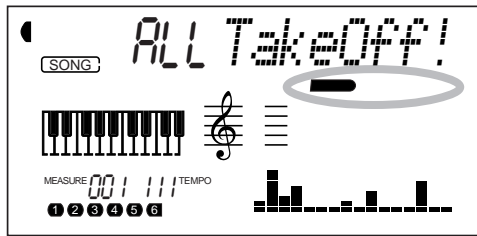


リズムがストップしている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なテンポが自動的に設定されます。リズム演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。(STYLEボタンでスタイルナンバーを変更した場合を除く。)

ソングを選ぶと、そのソングのテンポが自動的に設定されます。

OVERALL[ + ][ - ]ボタンを同時に押すと、現在選ばれているソング・スタイルに最適なテンポ値が設定されます。

ビートディスプレイについて  
演奏中は、テンポに合わせて4つのバー(4拍子の場合)が点滅します。

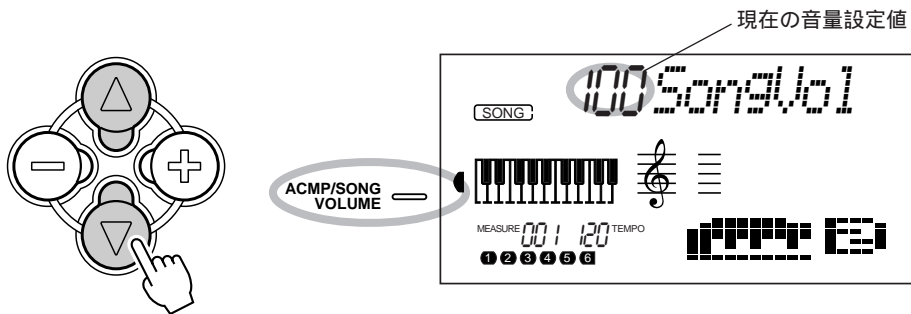


## ソング音量

ソングの音量を変更して、鍵盤演奏とのバランスをとります。

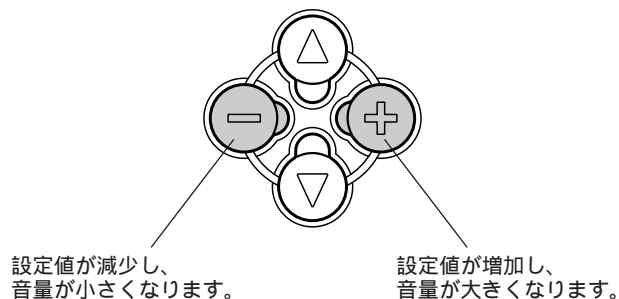
1

ディスプレイに「SongVol」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押しします。



2

OVERALL[ + ] [ - ] ボタンを押して、ソングの音量を000~127の範囲で変更します。



OVERALL[ + ] [ - ] ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。



# ピアノモードを選んで演奏しましょう

PSR-270はさまざまな機能を持っていますが、「とにかくピアノの練習をしたい」という時には、PORTABLE GRANDボタンを押します。



PORTABLE GRANDボタンを押すと、PSR-270のすべての設定がピアノ演奏用にワンタッチで切り替わります。



## ピアノモードで設定される内容

- ・ボイス ..... 1 グランドピアノ
- ・自動伴奏 ..... オフ
- ・スタイル ..... 91 ロッカバラード
- ・テンポ ..... 63(ロッカバラードの初期設定値)
- ・小節ナンバー ..... 001
- ・伴奏音量 ..... 100
- ・メトロノーム音量 .... 100
- ・モード ..... ボイス
- ・オーバーオール ..... テンポ
- ・フットスイッチ ..... サステイン

ピアノモードで自動的に選択されるスタイルカテゴリー「ピアニスト(スタイルナンバー91～100)」には、ピアノ伴奏に適したスタイルが入っています。



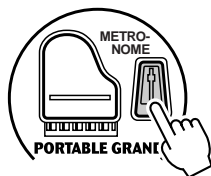
メモ カテゴリー「ピアニスト」のスタイルは、スタートしてもリズム音は鳴りません。

## メトロノームを使用して練習する

METRONOMEボタンを押すと、ソングやスタイルのテンポに合わせてメトロノームの音が鳴ります。ピアノの練習に活用しましょう。

メトロノームの速さは、オーバーオールの「テンポの調整」( 26ページ参照 )で調整します。

メトロノームは、1拍目に「チーン」という音が鳴ります。

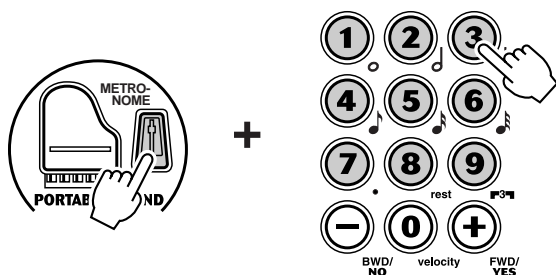


もう一度押すとメトロノームの音がストップします。

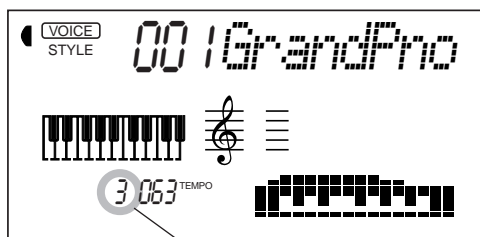
## メトロノームの拍子の設定

リズム停止時に、拍子を設定することができます。

METRONOMEボタンを押しながらナンバーボタン[ 1 ]~[ 9 ]を押すと、メトロノームの拍子が変わります。2拍子にしたいときはナンバーボタン[ 2 ]を、3拍子にしたいときはナンバーボタン[ 3 ]を押します。



ナンバーボタン	拍子
1	1/4 (すべてチーンという音)
2	2/4
3	3/4
4	4/4
5	5/4
6	6/4
7	7/4
8	8/4
9	9/4
0	- (チーンという音が鳴らない状態)

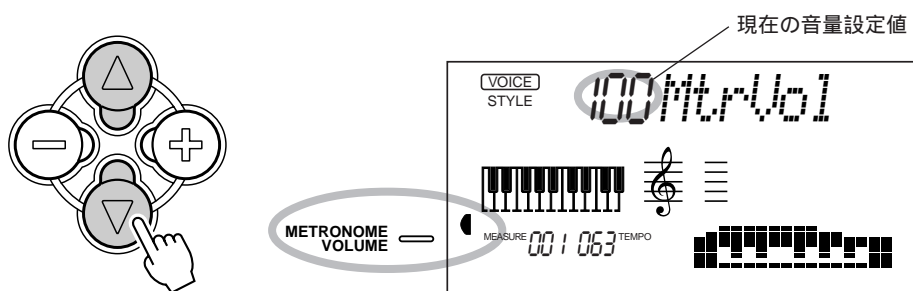


現在の拍子(例: 3/4の場合)を表示

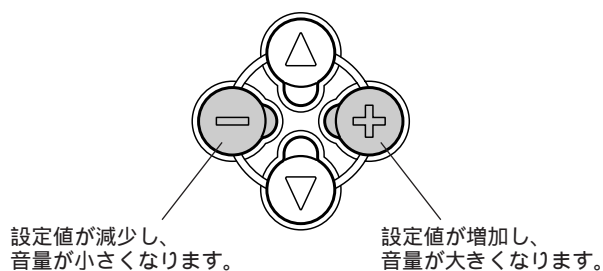
**メモ** スタイルやソングを変更すると、拍子は自動的に切り替わります。  
ここで拍子を変えても、スタイルやソングをスタートするとスタイルやソングに合った拍子になります。

## メトロノーム音量の調整

1 ディスプレイに「MtrVol」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押します。



2 OVERALL[ + ] [ - ] ボタンを押して、メトロノームの音量を000~127の範囲で変更します。



**メモ** OVERALL[ + ] [ - ] ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。






# ボイス(音色)を選んで演奏しましょう

## メインボイスを選ぶ

PSR-270には、先進のAWM[アドバンスド・ウェーブ・メモリー]音源を利用した高品質な110種類の音色(パネルボイス)と128種類の音色(GMボイス)が入っています。(88ページ参照)

パネルボイス ..... 1~100[100音色]+101~110[ドラムキット10キット]

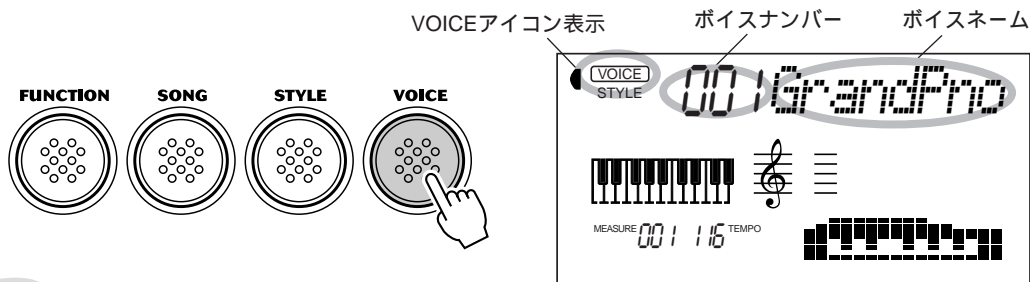
GMボイス  ..... 111~238[128音色]

GMシステムレベル1(21ページ参照)に準拠した音色配列です。

いろいろなボイスを選んで鳴らしてみましょ。

### 1 VOICEモードを選びます。

VOICEボタンを押して、VOICEモードを選びます。

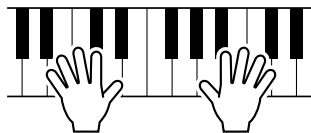


### 2 ナンバーボタンでボイスナンバーを選びます。

ナンバーの選びかた 23ページ

### 3 演奏してみましょ。

いろいろなボイスを選んで演奏してみましょ。



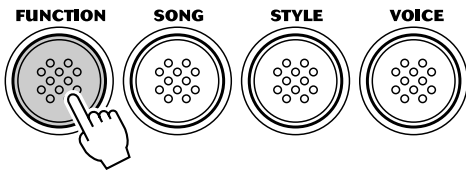
メインボイスにパネルボイス(ボイスナンバー1~100)を選択すると、ボイスセット(初期設定:オン)機能により、そのボイスに最適な設定(ボイス関連メニューの設定)が自動的に行われるため、すぐに演奏を始めることができます。(33ページ「ボイスセットのオン/オフ」参照)

## メインボイスの各種設定

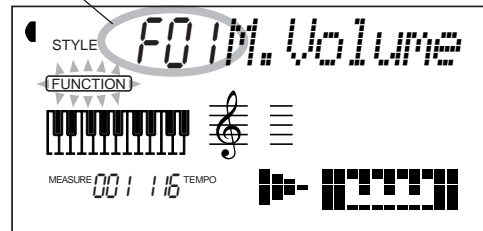
ファンクション1~6の設定で、メインボイスに関するさまざまな設定を行うことができます。

### ファンクションの選び方

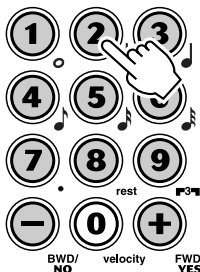
- 1** FUNCTIONボタンを押すと、ディスプレイの [FUNCTION] 表示が点滅します。



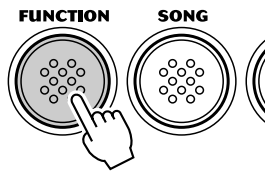
現在のファンクションナンバー(前回選ばれていたもの)



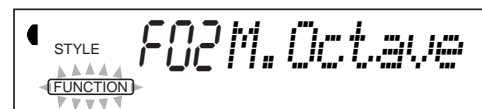
- 2** [FUNCTION] 表示が点滅中は、ファンクションナンバーを選択することができます。ナンバーボタン [1]~[9] [+][-] ボタン、FUNCTIONボタンを押してファンクションナンバーを入力します。



ファンクションナンバーの入力



FUNCTIONボタンを押すと、ファンクションナンバーが1つ大きくなります。押し続けると連続して大きくなります。

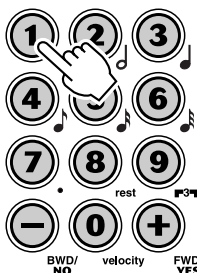


しばらくするとディスプレイの [FUNCTION] 表示が点灯に変わってファンクションが選ばれ(確定し)、表示が「ファンクションナンバー(F02など)」から「ファンクションの設定値表示(0など)」に変わります。

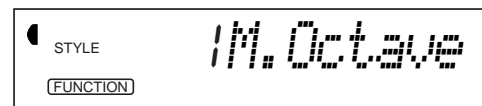
ファンクションナンバーを変更するときは、必ず最初にFUNCTIONボタンを押します。変更できるのは [FUNCTION] 表示が点滅中の時だけです。



- 3** ナンバーボタン、[+][-] ボタンを押してファンクションの設定値を入力します。マイナスの設定値を持つファンクションは、[-] ボタンを押しながらナンバーボタンを押すと、マイナスの値を設定できます。[+][-] ボタンを同時に押すと、工場出荷時の状態に戻ります。



ファンクション設定値の変更



SONG/STYLE/VOICEボタンを押すと、ファンクションモードを抜けて、通常の演奏状態に戻ります。

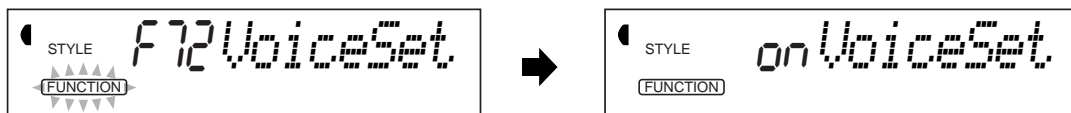


## ボイスセットのオン/オフ

PSR-270には、メインボイス(パネルボイス)それぞれに、最適な他のボイス設定や、エフェクトなどの設定がプリセットされています。  
ボイスセット機能をオンにしてパネルボイスを選ぶと、そのボイスに最適な以下の設定が自動的にセットされるため、たいへん便利です。

ボイスセットのオン/オフは、ファンクション72で設定します。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



「F72」表示後、現在のオン/オフ設定を表示します。[ + ] [ - ]ボタンでオン/オフを設定します。  
ボイスセットの初期設定はオンです。

### ボイスセット「オン」でセットされるデータ

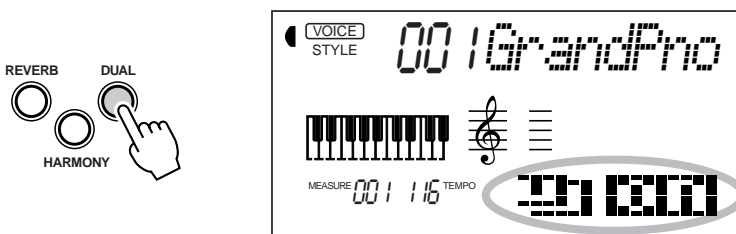
- ・メインボイス( ボリューム、オクターブ、パン )
- ・デュアルボイス( ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル )
- ・ハーモニー( オン/オフ、タイプ、ボリューム )

以下のデータはボイスセットオン/オフに関わらず、メインボイスの変更に伴って変更されます。

- ・メインボイス( リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル )
- ・リバーブオン/オフ
- ・コーラスオン/オフ
- ・DSPオン/オフ
- ・DSPタイプ

## デュアルのオン/オフ

DUALボタンを押して、ディスプレイに次のアイコンを表示させると、デュアルがオンになり、1つの鍵盤を押すだけで2つのボイス( メインボイス + デュアルボイス )が同時に鳴ります。



もう一度DUALボタンを押して、ディスプレイに次のアイコンを表示させると、デュアルがオフになり、メインボイスだけの演奏に戻ります。



フットスイッチの操作で、デュアルボイスをオン/オフすることもできます。( 79ページ参照 )

## デュアルボイスの各種設定

ファンクション11～18の設定で、デュアルボイスに関するさまざまな設定を行うことができます。これらのファンクションでは、メインボイスと同時に鳴る「デュアルボイス(2つめのボイス)側の設定」を変更します。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )

### デュアルボイスファンクションリスト

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F 11	<i>D. Volume</i> デュアルボイス ボリューム	000 ~ 127	音量を変更して、メインボイス、スプリットボイス、伴奏やソング演奏との音量バランスをとります。
F 12	<i>D. Octave</i> デュアルボイス オクターブ	- 2 ~ 2 ( ±2オクターブ )	オクターブを変更して、メインボイス、スプリットボイス、伴奏やソング演奏とのバランスをとります。
F 13	<i>D. Pan</i> デュアルボイス パン	- 7 ~ 7 ( - 7で最も左、 7で最も右 )	パン(音の定位)を変更します。左右に振って演奏することにより臨場感あふれるステレオ演奏が可能になります。
F 14	<i>D. RevLvl</i> デュアルボイス リバーブセンドレベル	000 ~ 127	リバーブのかかり具合を調整することができます。
F 15	<i>D. ChoLvl</i> デュアルボイス コーラスセンドレベル	000 ~ 127	コーラスのかかり具合を調整することができます。
F 16	<i>D. DspLvl</i> デュアルボイス DSPセンドレベル	000 ~ 127	DSPのかかり具合を調整することができます。
F 17	<i>D. Voice</i> デュアルボイス ボイス選択	001 ~ 238	デュアルボイスのナンバーとネームを表示します。パネルボイス(110音色)、GMボイス128音色から、デュアルボイスを選択します。
F 18	<i>Dual</i> デュアルボイス オン/オフ	on, oFF	デュアルボイスのオン/オフを設定します。本体パネルのDUALボタン同様にデュアルをオン/オフできます。[ + ]ボタンを押すとオン、[ - ]ボタンを押すとオフになります。



[ + ] [ - ] ボタンを同時に押すと、それぞれの初期設定に戻ります。

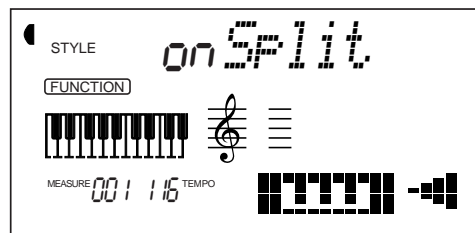
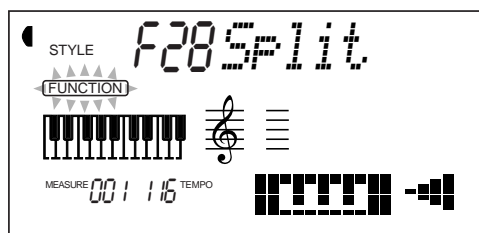
マイナスの値を設定する場合は、[ - ] ボタンを押しながらナンバーボタンを押します。

ボイスセット( 33ページ参照 )がオンの場合、メインボイスのパネルボイスを変更すると、デュアルボイスの設定も自動的に変更されます。

## スプリットのオン/オフ

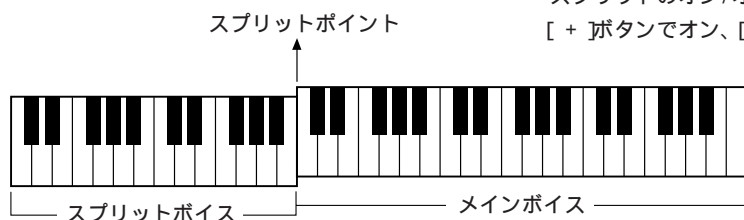
ファンクション28の設定で[+]ボタンを押すと、スプリットがオンになります。このとき、スプリットポイントを境に、キーボードの右側と左側で異なる2つのボイスを同時に演奏できます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



スプリットのオン/オフ設定

[+]ボタンでオン、[-]ボタンでオフになります。



メモ フットスイッチの操作で、スプリットボイスをオン/オフすることもできます。( 79ページ参照 )

[-]ボタンを押してスプリットをオフにすると、通常の演奏に戻ります。

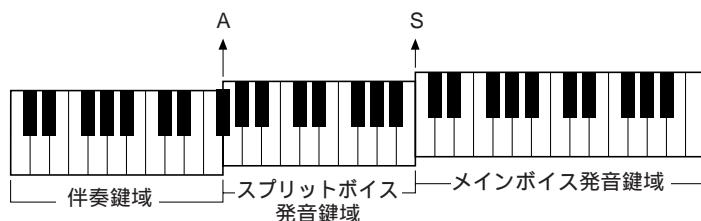
### 2つのスプリットポイントについて

PSR-270には、「スプリットボイス」と「自動伴奏」の2種類のスプリットポイントがあります。自動伴奏「オン」、スプリットボイス「オン」の場合、それぞれのスプリットポイントの設定により、鍵盤演奏で発音するボイスは下記ようになります。

スプリットボイスのスプリットポイントの設定 36ページ参照

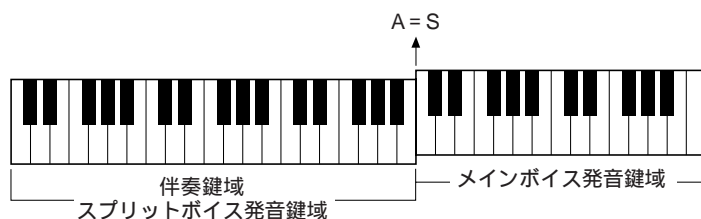
自動伴奏のスプリットポイントの設定 52ページ参照

自動伴奏スプリットポイント(A) < スプリットボイスモードスプリットポイント(S)



メモ スプリットボイスのスプリットポイントを自動伴奏のスプリットポイントより左側に(小さく)設定することはできません。設定しようとする、自動伴奏のスプリットポイントはスプリットボイスモードのスプリットポイントと同じ値になります。また、自動伴奏のスプリットポイントをスプリットボイスのスプリットポイントより右側に(大きく)設定することはできません。設定すると、スプリットボイスモードのスプリットポイントが自動伴奏のスプリットポイントと同じ値になります。

自動伴奏スプリットポイント(A) = スプリットボイススプリットポイント(S)





## スプリットボイスの各種設定

ファンクション21～29の設定で、スプリットボイスに関するさまざまな設定を行うことができます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照)

### スプリットボイスファンクションリスト

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F21	S. Volume スプリットボイス ボリューム	000 ~ 127	音量を変更して、メインボイス、デュアルボイス、伴奏やソング演奏との音量バランスをとります。
F22	S. Octave スプリットボイス オクターブ	- 2 ~ 2 ( ± 2オクターブ)	オクターブを変更して、メインボイス、デュアルボイス、伴奏やソング演奏とのバランスをとります。
F23	S. Pan スプリットボイス パン	- 7 ~ 7 ( - 7で最も左、 7で最も右)	パン(音の定位)を変更します。左右に振って演奏することにより臨場感あふれるステレオ演奏が可能になります。
F24	S. RevLvl スプリットボイス リバーブセンドレベル	000 ~ 127	リバーブのかかり具合を調整することができます。
F25	S. ChoLvl スプリットボイス コーラスセンドレベル	000 ~ 127	コーラスのかかり具合を調整することができます。
F26	S. DspLvl スプリットボイス DSPセンドレベル	000 ~ 127	DSPのかかり具合を調整することができます。
F27	S. Voice スプリットボイス ボイス選択	001 ~ 238	スプリットボイスのナンバーとネームを表示します。パネルボイス(110音色)、GMボイス128音色から、スプリットボイスを選択します。
F28	Split スプリットボイス オン/オフ	on, oFF	スプリットボイスのオン/オフを設定します。[ + ] ボタンを押すとオン、[ - ] ボタンを押すとオフになります。
F29	SplitPnt スプリットボイス スプリットポイント	000 ~ 127	スプリットボイスのスプリットポイントを設定します。設定した鍵盤が左手鍵域の最高音になります。ディスプレイには現在のスプリットポイントがノートナンバーで表示されます。ナンバーボタン、[ + ] [ - ] ボタンの他に、直接鍵盤を押してスプリットポイントを設定することができます。この設定中は鍵盤を押しても音は鳴りません。



[ + ] [ - ] ボタンを同時に押すと、それぞれの初期設定に戻ります。

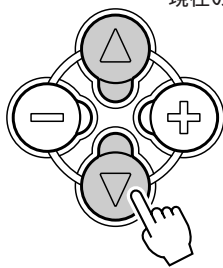
マイナスの値を設定する場合は、[ - ] ボタンを押しながらナンバーボタンを押します。

## トランスポーズ

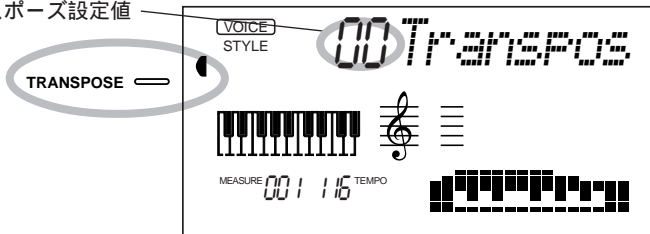
楽器全体の音程(トランスポーズ)を変更します。

1

ディスプレイに「Transpos」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押しします。



現在のトランスポーズ設定値

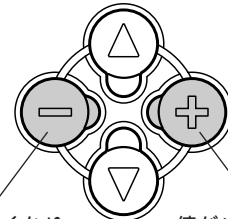


2

OVERALL[ + ][ - ]ボタンを押して、トランスポーズの値を - 12 ~ 12(単位:半音、±1オクターブ)の範囲で変更します。



OVERALL[ + ][ - ]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「00」に戻ります。



値が小さくなり、音程が半音下がります。

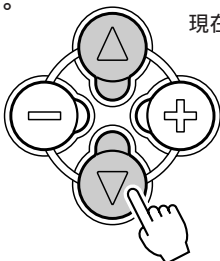
値が大きくなり、音程が半音上がります。

## チューニング

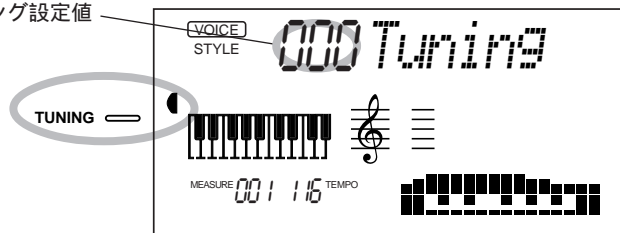
楽器全体をチューニング(ピッチ[音程]の微調整)します。

1

ディスプレイに「Tuning」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押しします。



現在のチューニング設定値



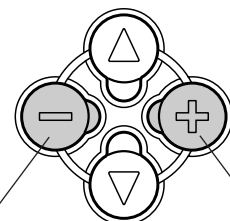
2

OVERALL[ + ][ - ]ボタンを押して、チューニングの値を - 100 ~ 100(単位:セント)の範囲で変更します。



チューニングの単位: 100セント = 半音

OVERALL[ + ][ - ]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「000」に戻ります。



値が小さくなり、音程が1セント下がります。

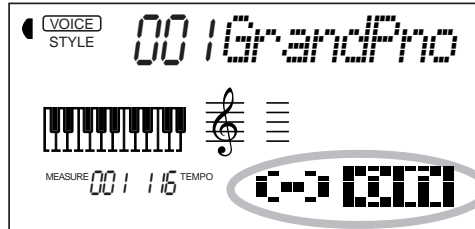
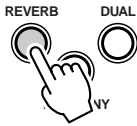
値が大きくなり、音程が1セント上がります。



# 効果を付けて演奏しましょう

## リバーブのオン/オフ

REVERBボタンを押すと、リバーブがオンになり、鍵盤を弾く音に残響効果がつきます。



もう一度REVERBボタンを押すと、リバーブがオフになります。



電源を入れるとリバーブはオンに設定されます。

メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス、それぞれのリバーブセンドレベル(効果の深さ)を調整することができます。( 32, 34, 36ページ参照 )

リバーブのオン/オフに関わらず、鍵盤の演奏音以外(スタイルやソング)にはリバーブがかかっています。楽器全体にリバーブをかけたくない場合は、リバーブタイプ9: Off)を選択します。

フットスイッチの操作で、リバーブをオン/オフすることもできます。( 79ページ参照 )

## リバーブの各種設定

ファンクション31~32の設定で、リバーブに関する設定を行うことができます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F31	Reverb リバーブ オン/オフ	on, oFF	リバーブのオン/オフを設定します。本体パネルのREVERBボタン同様にリバーブをオン/オフできます。
F32	RevType リバーブ タイプ	1 ~ 9	リバーブタイプのナンバーとネームを表示します。94ページの「エフェクトタイプリスト」を参考にタイプを選びます。

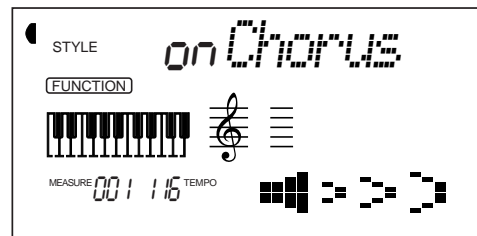
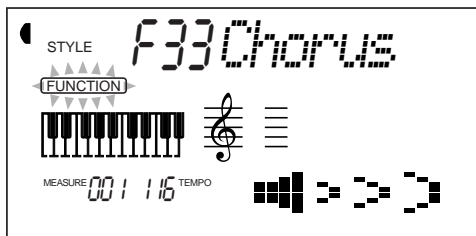


[ + ] [ - ] ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

## コーラスのオン/オフ

ファンクション33の設定で[ + ]ボタンを押すと、コーラスがオンになり、鍵盤を弾く音に広がり効果を持たせます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



コーラスのオン/オフ設定

[ + ]ボタンでオン、[ - ]ボタンでオフになります。

[ - ]ボタンを押すと、コーラスがオフになります。



メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス、それぞれのコーラスセンドレベル(効果の深さ)を調整することができます。( 32, 34, 36ページ参照 )

コーラスのオン/オフに関わらず、鍵盤の演奏音以外(スタイルやソング)にはコーラスがかかっています。楽器全体にコーラスをかけたくない場合は、コーラストイプ5: Off)を選択します。

フットスイッチの操作で、コーラスをオン/オフすることもできます。( 79ページ参照 )

## コーラスの各種設定

ファンクション33~34の設定で、コーラスに関する設定を行うことができます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F33	Chorus コーラス オン/オフ	on, oFF	コーラスのオン/オフを設定します。
F34	ChoType コーラス タイプ	1 ~ 5	コーラストイプのナンバーとネームを表示します。94ページの「エフェクトタイプリスト」を参考にタイプを選びます。



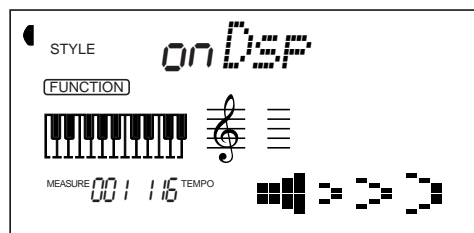
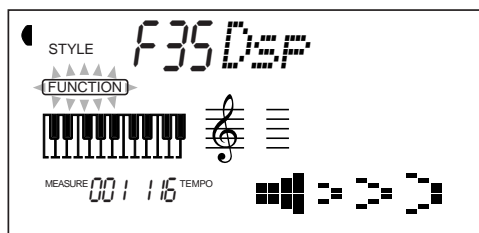
[ + ] [ - ]ボタンを同時に押すと初期設定に戻ります。

## DSPのオン/オフ

ファンクション35の設定で [ + ] ボタンを押すと、DSP( デジタルシグナルプロセッサ ) がオンになり、鍵盤を弾く音にDSPタイプで選ばれた効果がつきます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )

DSPタイプの選び方( 94ページ参照 )



DSPのオン/オフ設定

[ + ] ボタンでオン、[ - ] ボタンでオフになります。

[ - ] ボタンを押すと、DSPがオフになります。



メモ メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス、それぞれのDSPセンドレベル(効果の深さ)を調整することができます。( 32, 34, 36ページ参照 )

DSPのオン/オフに関わらず、鍵盤の演奏音以外(スタイルやソング)にはDSPがかかっています。楽器全体にDSPをかけたくない場合は、DSPタイプ「34 : Off」を選択します。

フットスイッチの操作で、DSPをオン/オフすることもできます。( 79ページ参照 )

## DSPの各種設定

ファンクション35～36の設定で、DSPに関する設定を行うことができます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F35	Dsp DSP オン/オフ	on, oFF	DSPのオン/オフを設定します。
F36	DspType DSP タイプ	01 ~ 34	DSPタイプのナンバーとネームを表示します。 94ページの「エフェクトタイプリスト」を参考にタイプを選びます。

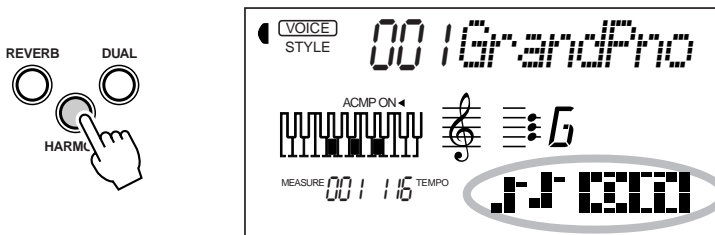


メモ [ + ] [ - ] ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

## ハーモニーのオン/オフ

右手鍵域での押鍵に対していろいろなハーモニーが自動的に付きます。ハーモニーは、自動伴奏を使用しているときに有効な機能もあります。ハーモニーのタイプによっては左手鍵域(伴奏鍵域)で検出されたコードに合わせてハーモニーの音が付けられます。

HARMONYボタンを押してオンにします。PSR-270の演奏全体にハーモニー(現在選ばれているハーモニータイプ: 95ページ「エフェクトタイプリスト」参照)がかかります。



もう一度HARMONYボタンを押すと、ハーモニーがオフになります。



フットスイッチの操作で、ハーモニーをオン/オフすることもできます。( 79ページ参照 )

## ハーモニーの各種設定

ファンクション37～39の設定で、ハーモニーに関する設定を行うことができます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )

ナンバー	ファンクションネーム	設定範囲	内容
F37	Harmony ハーモニー オン/オフ	on, oFF	ハーモニーのオン/オフ状態を表示します。本体パネルのHARMONYボタン同様にハーモニーをオン/オフできます。
F38	HarmType ハーモニー タイプ	1 ~ 26	ハーモニータイプのナンバーとネームを表示します。95ページの「エフェクトタイプリスト」を参考にタイプを選びます。を参考にタイプを選びます。
F39	HarmVol ハーモニー ボリューム	000 ~ 127	ハーモニーボリュームを表示します。ハーモニー音(付加音)の音量を調節します。(ハーモニータイプ1～5が選択されている場合だけ設定可能です。)



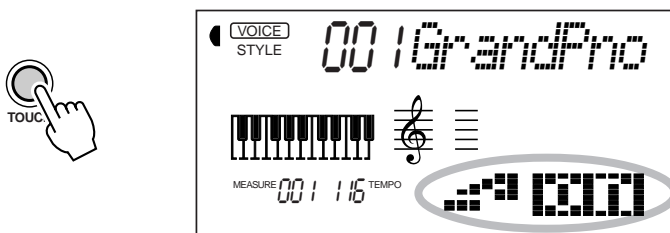
[ + ] [ - ] ボタンを同時に押すと、初期設定に戻ります。

ボイスセットがオンの場合、メインボイスを変更するとハーモニーオン/オフ、タイプ、ボリュームは自動的に変更されます。( 33ページ参照 )



## タッチレスポンスのオン/オフ

TOUCHボタンを押すと、タッチレスポンスがオンになり、微妙なタッチニュアンスを表現することができます。



もう一度TOUCHボタンを押すと、タッチレスポンスがオフになり、鍵盤を押さえる強弱に関わらず一定音量で演奏できます。



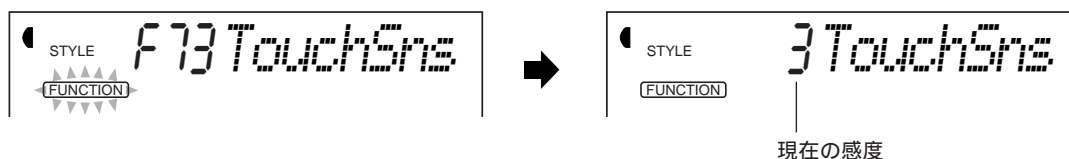
タッチレスポンスがオンの場合のタッチセンス(鍵盤を押さえる強さによって音量が変化する割合)を設定することができます。必要に応じてタッチセンスを変更してください。(下記参照)

## タッチセンスを調整する

鍵盤を押さえる強さによって音量が変化するタッチレスポンスの感度を、3段階(1~3)から選択することができます。設定値が大きくなるほど、弾く強さに比例して音量変化が大きくなります。

ファンクション73の設定で、タッチセンスを設定します。

ファンクションの選び方(31ページ参照)



「F73」表示後、現在の感度を表示します。ナンバーボタン、[+] [-] ボタンで感度を設定します。



# いろいろなスタイル(伴奏)で演奏しましょう

## 自動伴奏って何？

PSR-270は、100種類のスタイルで自動伴奏できます。  
自動伴奏機能を使用すると、選択したスタイルと伴奏鍵域で演奏されたコードに合わせて、伴奏(ベース音とコード音)が自動的に演奏されます。



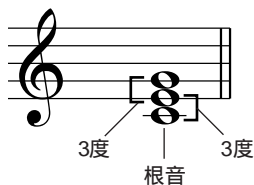
好みのスタイルを選び、自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。

スタイルを選びます。	スタイルを選ぶ .....	45ページ
↓		
自動伴奏をスタートします。	自動伴奏のスタート .....	45ページ
↓		
コード(左手)を演奏します。	自動伴奏のコードの押さえ方 .....	47ページ
↓		
メロディ(右手)を演奏します。	自動伴奏に合わせてメロディ演奏 .....	49ページ
↓		
セクションを切り替えます。	セクション(伴奏のパターン)の切り替え .....	50ページ
↓		
自動伴奏をストップします。	自動伴奏のストップ .....	52ページ

## コード(和音)について

音を2つ以上組み合わせて同時に鳴らしたものを「和音(コード)」と呼びます。

「ド・ミ・ソ」のように、ある音の3度上の音と、さらにもう3度上の音を同時に鳴らすと、良い響きがします。このような形の和音を特に「三和音」と呼び、確実によく響き、音楽の中で非常に重要な役割を果たします。

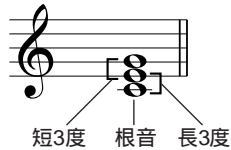


上の例で三和音の一番下の音を「根音」と呼びます。これは和音を支える中心的な存在です。この根音の上に2つの「3度の音」が重なりますが、3度の音には「長3度と短3度」の2種類があります。

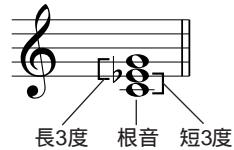


その組み合わせは次の4種類になります。

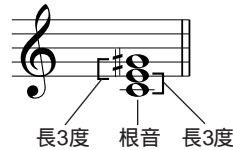
メジャーコード



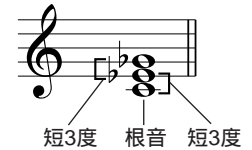
マイナーコード



オーギュメントコード



ディミニッシュコード

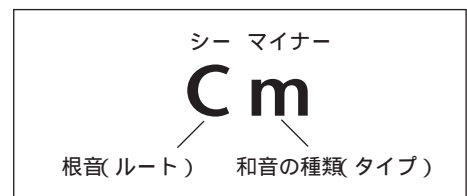


和音は、3つの構成音の順番を入れ替えたり、構成音をオクターブ違いで重ねても、響きの基本的な性格は変わりません。

種類の違う和音をさまざまな姿に変えながら一定の法則に基づいて連結していくと、美しいハーモニーが生まれます。音楽はハーモニーに基づいて成り立っています。

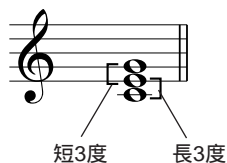
和音の表記について

和音の構成音や、その種類を一目で分かるように工夫したものがコードネームです。コードネームのしくみが分かると、楽譜を見ながら簡単に和音を弾けるので大変便利です。

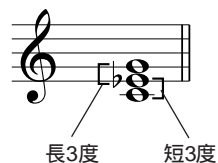


和音の種類(フィンガードで認識されるものの一部)

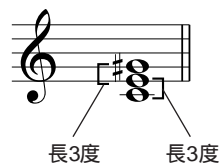
C



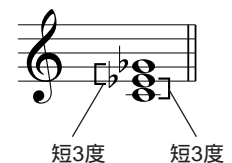
Cm



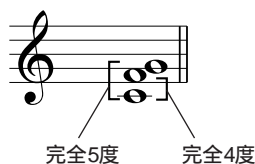
Caug



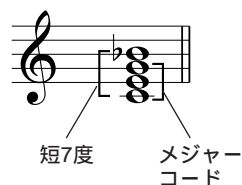
Cdim



Csus4



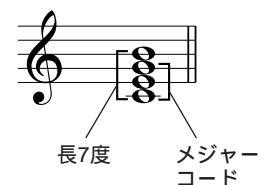
C7



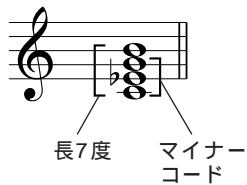
Cm7



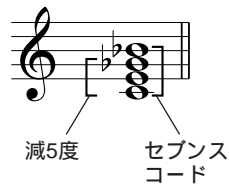
CM7



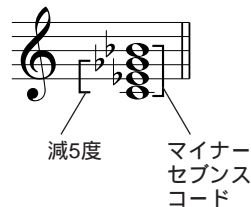
CmM7



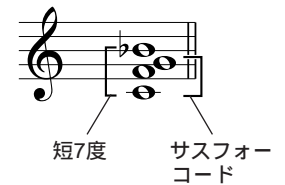
C7b5



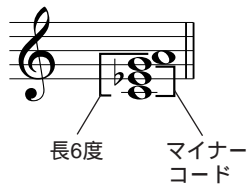
Cm7b5



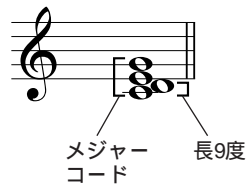
C7sus4



Cm6



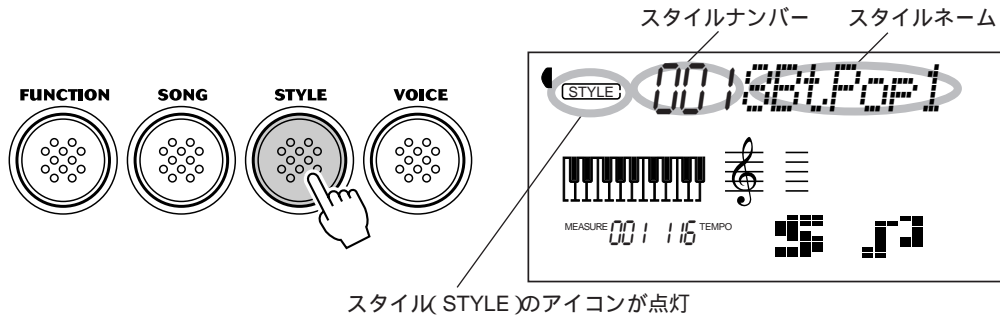
C(9)



## スタイルを選ぶ

### 1 STYLEモードを選びます。

STYLEボタンを押して、STYLEモードを選びます。



### 2 ナンバーボタンでスタイルナンバーを選びます。

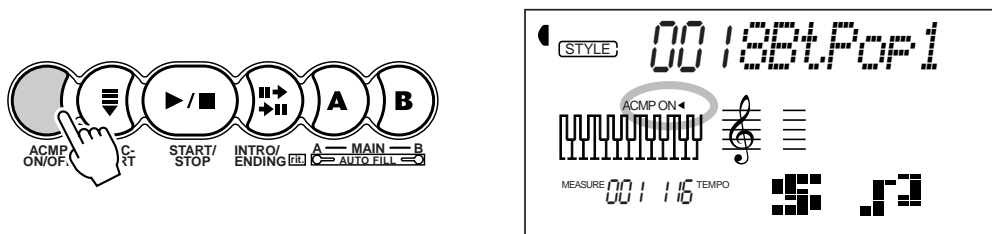
ナンバーの選びかた 23ページ



リズムがストップしている時にスタイルを選ぶと、そのスタイルに最適なテンポが自動的に選ばれます。リズム演奏中にスタイルを変更してもテンポは変わりません。(STYLEボタンでナンバー変更した場合を除く)

## 自動伴奏のスタート

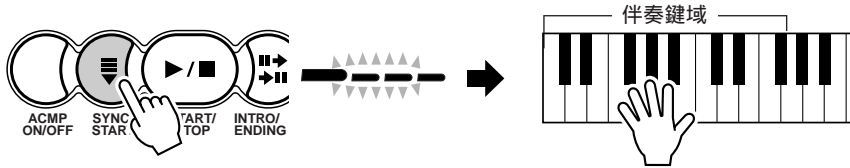
ACMP ON/OFFボタンを押して、自動伴奏をオンにします。



自動伴奏のスタート方法には、次の3種類があります。

## シンクロスタート

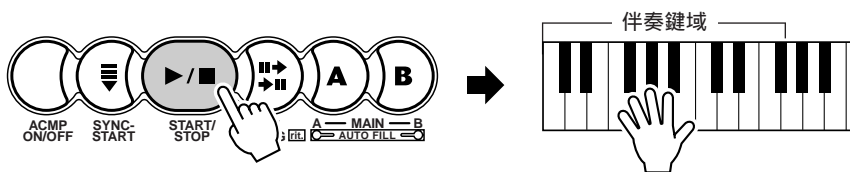
SYNC-STARTボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、ビートディスプレイが点滅します。  
伴奏鍵域でコードを弾くと、自動伴奏がスタートします。



シンクロスタート待機状態で、もう一度シンクロスタートボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。この状態で、伴奏鍵域の鍵盤でコードを押さえると、リズムなしのベース音とコード音が鳴ります。

## スタート

START/STOPボタンを押すとリズムがすぐにスタートします。  
伴奏鍵域でコードを弾くと、ベースやコードパートなどの演奏が付きます。

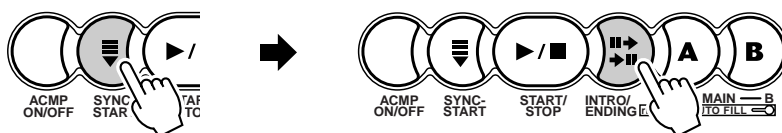


START/STOPボタンを押すと、選ばれているスタイルのリズムだけがスタートします。また、スタイルにスタイルナンバー91~100(スタイルカテゴリー：ピアニスト)が選ばれている場合は何も鳴りません。

フットスイッチの操作で、自動伴奏をスタートさせることもできます。(79ページ参照)

## イントロシンクロスタート

SYNC-STARTボタンを押すとシンクロスタート待機状態になり、ビートディスプレイが点滅します。  
この状態でINTRO/ENDINGボタンを押すとイントロセクションで始まるシンクロスタート待機状態になります。  
伴奏鍵域でコードを弾くと、イントロセクションで始まる自動伴奏がスタートし、メインA(またはB)セクションへ移行します。(50ページ参照)



## 自動伴奏のコードの押さえ方

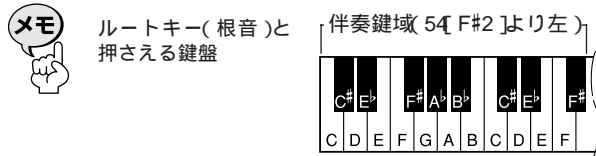
基本的な押さえ方として、シングルフィンガーとフィンガードの2種類があります。PSR-270は、どちらを使用してもコードを自動的に判断するマルチフィンガリングという機能を搭載しています。

シングルフィンガー ..... コードの簡単な押さえ方  
 フィンガード ..... 通常のコードの押さえ方

鍵盤の54[F#2]より左の伴奏鍵域でコードを弾いてください。

### シングルフィンガー

伴奏鍵域で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。



### シングルフィンガーのコードの押さえ方

<b>C</b>		・メジャー(M)コード ルートキー(根音)を押さえてください。
<b>Cm</b>		・マイナー(m)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵を同時に押さえてください。
<b>C7</b>		・セブンス(7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の白鍵を同時に押さえてください。
<b>Cm7</b>		・マイナーセブンス(m7)コード ルートキーと、ルートキーに一番近い左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

### フィンガード

伴奏鍵域でコードを押さえると、自動的にコード名を検出しスタイルに合った伴奏が演奏されます。

### フィンガードで認識されるコードの押さえ方(基本形)

[ Cの押鍵例 ]

<b>C</b>	<b>C(9)</b>	<b>C6</b>	<b>C6(9)</b>	<b>CM7</b>	<b>CM7(9)</b>	<b>CM7(#11)</b>	<b>C(♭5)</b>	<b>CM7♭5</b>
<b>Csus4</b>	<b>Caug</b>	<b>CM7aug</b>	<b>Cm</b>	<b>Cm(9)</b>	<b>Cm6</b>	<b>Cm7</b>	<b>Cm7(9)</b>	<b>Cm7(11)</b>
<b>CmM7</b>	<b>CmM7(9)</b>	<b>Cm7♭5</b>	<b>CmM7♭5</b>	<b>Cdim</b>	<b>Cdim7</b>	<b>C7</b>	<b>C7(♭9)</b>	<b>C7(♭13)</b>
<b>C7(9)</b>	<b>C7(#11)</b>	<b>C7(13)</b>	<b>C7(#9)</b>	<b>C7♭5</b>	<b>C7aug</b>	<b>C7sus4</b>	<b>C1+2+5</b>	



フィンガードで認識されるコード

コード	押 鍵	コード(C)	ディスプレイ表示
メジャー[M]	1-3-5	C	C
アドナインズ[9]	1-2-3-5	C(9)	C(9)
シックス[6]	1-(3)-5-6	C6	C6
シックスナインズ[6(9)]	1-2-3-(5)-6	C6(9)	C6(9)
メジャーセブンス[M7]	1-3-(5)-7または 1-(3)-5-7	CM7	CM7
メジャーセブンスナインズ[M7(9)]	1-2-3-(5)-7	CM7(9)	CM7(9)
メジャーセブンスアドシャープイレブンス [M7(#11)]	1-(2)-3-#4-5-7または 1-2-3-#4-(5)-7	CM7(#11)	CM7(#11)
フラットファイブ[ $\flat 5$ ]	1-3- $\flat 5$	C( $\flat 5$ )	C $\flat 5$
メジャーセブンスフラットファイブ[M7 $\flat 5$ ]	1-3- $\flat 5$ -7	CM7 $\flat 5$	CM7 $\flat 5$
サスフォー[sus4]	1-4-5	Csus4	Csus4
オーギュメント[ $\sharp$ aug]	1-3-#5	Caug	Caug
メジャーセブンスオーギュメント[M7aug]	1-(3)-#5-7	CM7aug	CM7aug
マイナー[m]	1- $\flat 3$ -5	Cm	Cm
マイナーアドナインズ[m(9)]	1-2- $\flat 3$ -5	Cm(9)	Cm(9)
マイナーシックス[m6]	1- $\flat 3$ -5-6	Cm6	Cm6
マイナーセブンス[m7]	1- $\flat 3$ -(5)- $\flat 7$	Cm7	Cm7
マイナーセブンスナインズ[m7(9)]	1-2- $\flat 3$ -(5)- $\flat 7$	Cm7(9)	Cm7(9)
マイナーセブンスアドイレブンス[m7(11)]	1-(2)- $\flat 3$ -4-5-( $\flat 7$ )	Cm7(11)	Cm7(11)
マイナーメジャーセブンス[mM7]	1- $\flat 3$ -(5)-7	CmM7	CmM7
マイナーメジャーセブンスナインズ[mM7(9)]	1-2- $\flat 3$ -(5)-7	CmM7(9)	CmM7(9)
マイナーセブンスフラットファイブ[m7 $\flat 5$ ]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ - $\flat 7$	Cm7 $\flat 5$	Cm7 $\flat 5$
マイナーメジャーセブンスフラットファイブ[mM7 $\flat 5$ ]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ -7	CmM7 $\flat 5$	CmM7 $\flat 5$
ディミニッシュ[dim]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$	Cdim	Cdim
ディミニッシュセブンス[dim7]	1- $\flat 3$ - $\flat 5$ -6	Cdim7	Cdim7
セブンス[7]	1-3-(5)- $\flat 7$ または 1-(3)-5- $\flat 7$	C7	C7
セブンスフラットナインズ[7( $\flat 9$ )]	1- $\flat 2$ -3-(5)- $\flat 7$	C7( $\flat 9$ )	C7( $\flat 9$ )
セブンスアドフラットサーティーンズ[7( $\flat 13$ )]	1-3-5- $\flat 6$ - $\flat 7$	C7( $\flat 13$ )	C7( $\flat 13$ )
セブンスナインズ[7(9)]	1-2-3-(5)- $\flat 7$	C7(9)	C7(9)
セブンスアドシャープイレブンス[7(#11)]	1-(2)-3-#4-5- $\flat 7$ または 1-2-3-#4-(5)- $\flat 7$	C7(#11)	C7(#11)
セブンスアドサーティーンズ[7(13)]	1-3-(5)-6- $\flat 7$	C7(13)	C7(13)
セブンスシャープナインズ[7(#9)]	1-#2-3-(5)- $\flat 7$	C7(#9)	C7(#9)
セブンスフラットファイブ[7 $\flat 5$ ]	1-3- $\flat 5$ - $\flat 7$	C7 $\flat 5$	C7 $\flat 5$
セブンスオーギュメント[7aug]	1-3-#5- $\flat 7$	C7aug	C7aug
セブンスサスフォー[7sus4]	1-4-(5)- $\flat 7$	C7sus4	C7sus4
ワンプラスツープラスファイブ[1+2+5]	1-2-5	C1+2+5	C



カッコ( )内の音符は省略しても構いません。

完全5度の押鍵ではルート音と5度の音によるアカンパニメントが演奏され、メジャー、マイナーの多くのコードに利用できます。

オクターブ(完全8度)の押鍵では、ルート音のみによるアカンパニメントが演奏されます。

コード押鍵は全て基本形で書かれていますが、その転回形も受け付けます。ただし、以下のコードを例外とします。

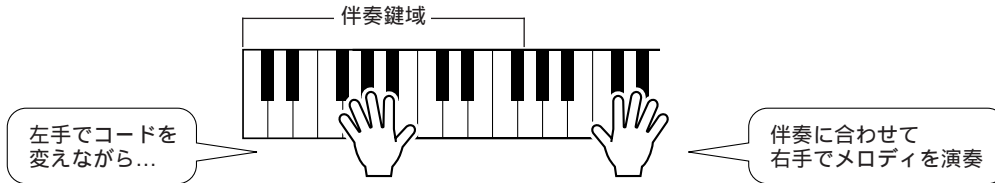
m7, m7 $\flat 5$ , 6, m6, sus4, aug, dim7, 7 $\flat 5$ , ( $\sharp 9$ ), 1+2+5

7sus4とm7(11)は、省略した場合のみ転回形は受け付けません。

同じようなコードが連続した場合(マイナーセブンスコードに、同じルートマイナーコードが続いた場合など)、オートアカンパニメントの演奏が変化しないことがあります。

鍵盤を2つだけ押さえた場合、その前のコードをもとに最適なコードが検出されます。

## 自動伴奏に合わせてメロディ演奏

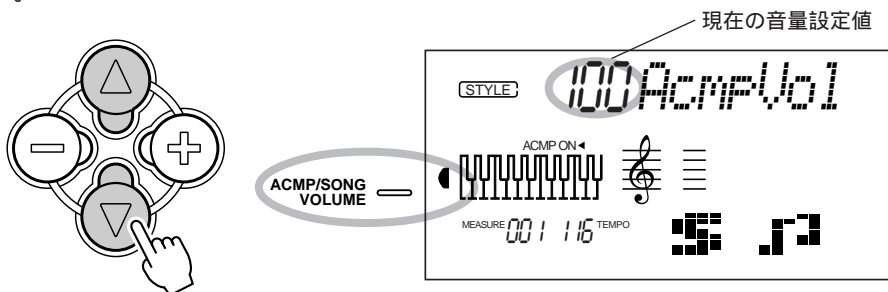


自分の演奏しやすいテンポに調整しましょう。( 26ページ「テンポの調整」)

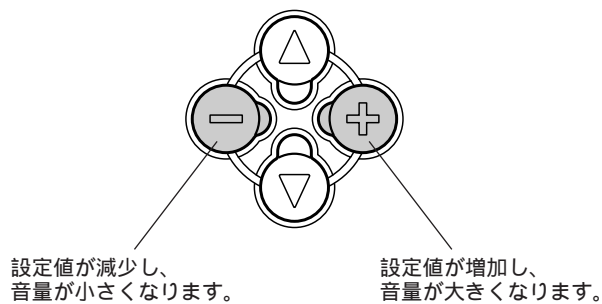
## 伴奏音量の調整

自動伴奏全体の音量を調節して、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。

- 1 ディスプレイに「AcmpVol」が表示されるまでOVERALL または ボタンを繰り返し押します。



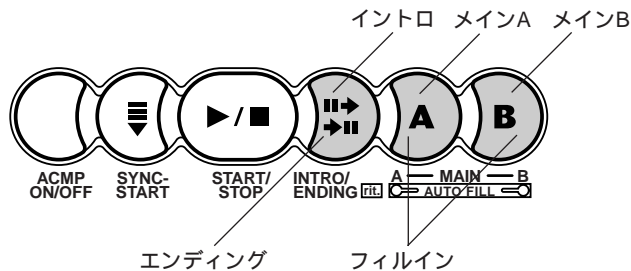
- 2 OVERALL[ + ][ - ]ボタンを押して、自動伴奏の音量を000～127の範囲で変更します。



OVERALL[ + ][ - ]ボタンを同時に押すと、初期設定値の「100」に戻ります。

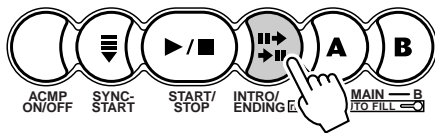
## セクション(伴奏のパターン)の切り替え

自動伴奏には、イントロ、メインA/B、フィルイン、エンディングのセクションがあります。曲の構成に合わせてセクションを変えることにより、表情豊かな演奏をすることができます。

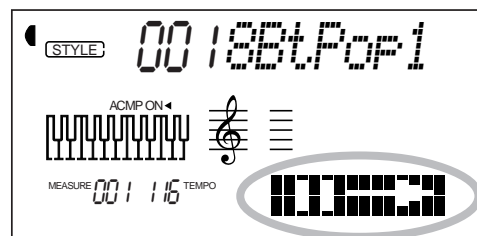


### イントロセクション(INTRO/ENDINGボタン)

曲のスタート前にこのボタンを押すと、イントロ(曲の始まり)にふさわしいフレーズでスタートします。イントロセクションの演奏が終了すると、メインセクションに移行します。



リズムスタート前にINTRO/ENDINGボタンを押します。



MAIN A/Bボタンを押してからINTRO/ENDINGボタンを押すと、イントロ演奏後のメインセクションを指定できます。

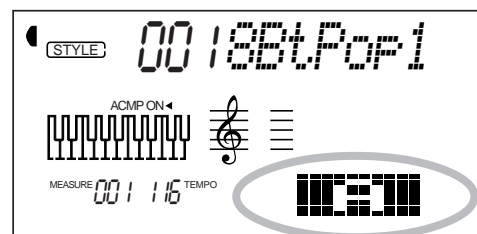
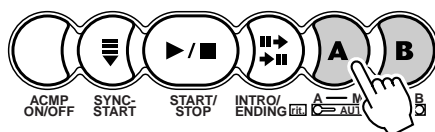
表示中にINTRO/ENDINGボタンを押すと、イントロがキャンセルされ、ディスプレイにはスタート後に演奏されるメインセクション「A(B)」が表示されます。



フットスイッチの操作で、イントロセクションを選択したりエンディング演奏させることもできます。(79ページ参照)

### メインセクション(MAIN A/Bボタン)

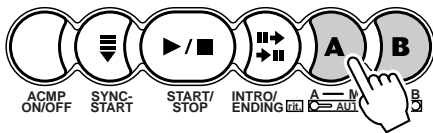
A/B2つのバリエーションがあります。MAIN A/Bボタンを押して切り替えます(演奏中に切り替えると自動的にフィルインが演奏されます)。



フットスイッチの操作で、メインA/Bセクションを切り替えることもできます。(79ページ参照) スタート前(リズム停止中)にMAIN A/Bボタンを押してセクションを予約することもできます。

## フィルインセクション(MAIN A/Bボタン)

フィルインは曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中にMAIN A/Bボタンを押すと、演奏状況に応じて最適なフィルインが自動的に演奏され(自動フィルイン)、伴奏にアクセントを付けることができます。



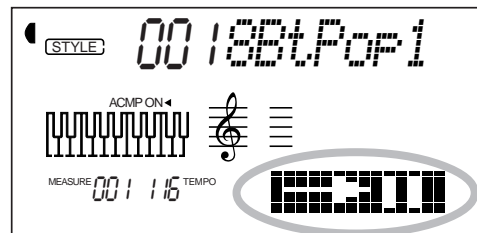
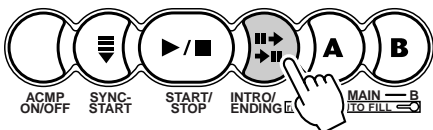
スタイルにスタイルナンバー91~100(スタイルカテゴリー：ピアニスト)が選ばれている場合は、フィルインは演奏されません。

小節内の最終拍以降に、MAIN A/Bボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。

MAIN A/Bボタンを押し続けると、フィルインが繰り返し演奏されます。

## エンディングセクション(INTRO/ENDINGボタン)

曲の最後にこのボタンを押すと、エンディング(曲の終り)にふさわしいフレーズになり、演奏が自動的にストップします。



INTRO/ENDINGボタンを2拍目より後で押すと、次の小節からエンディングが演奏されます。

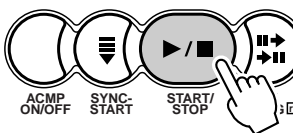
エンディング演奏中にINTRO/ENDINGボタンを押すと、演奏にリタルダントがかかります(だんだん遅くなってストップします)。

フットスイッチの操作で、イントロセクションを選択したりエンディング演奏させることもできます。(79ページ参照)

## 自動伴奏のストップ

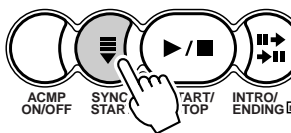
自動伴奏のストップ方法には、以下の3種類があります。

START/STOPボタン



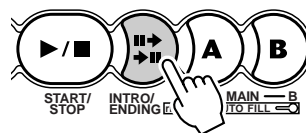
すぐにストップします。

SYNC-STARTボタン



すぐにストップします。ビートディスプレイが点滅して、シンクロススタート待機状態になります。

INTRO/ENDINGボタン



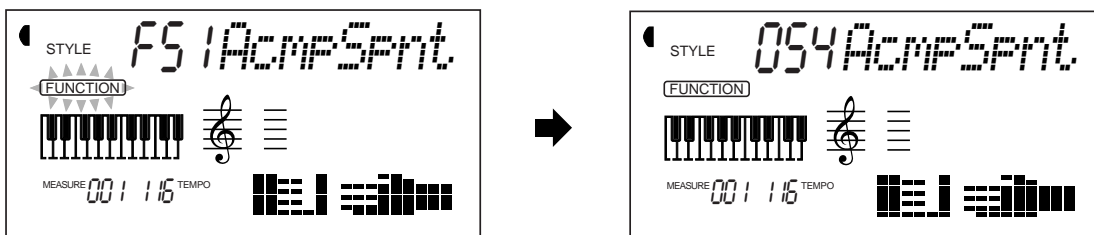
エンディングセクションを演奏してからストップします。

## 自動伴奏のスプリットポイントを変更する

自動伴奏機能を使って演奏する時のスプリットポイント(メロディ鍵域と伴奏鍵域の境界点)を変更します。

ファンクション51の設定で、自動伴奏のスプリットポイントの設定を行うことができます。設定した鍵盤が伴奏鍵域の最高音になります。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



現在設定されている自動伴奏のスプリットポイントをノートナンバーで表示します。ナンバーボタン、[ + ] [ - ] ボタンを押して、スプリットポイントを0~127の範囲で変更することができます。また、直接鍵盤を押してスプリットポイントを設定することもできます。この場合は鍵盤を押しても音は鳴りません。

スプリットポイントを変更したら、SONG/STYLE/VOICEボタンを押してファンクションモードを抜けます。(ファンクションモードを抜けると鍵盤演奏できます。)



工場出荷時は「54」に設定されています。

スプリットポイントの設定は、電源アダプターがコンセントに差し込まれているか、乾電池がセットされている場合、電源を切っても記憶されています。

スプリットポイントのスプリットポイントの設定は、36ページを参照してください。



# コードガイドを活用しましょう

PSR-270のコードガイドは、コードの勉強に役立つ機能です。コードガイドには、コードの構成音を調べることができる「ディクショナリー」と、弾きたいコードを指1本で演奏できる「スマート」、コード進行をあらかじめ録音しておいて簡単に再生できる「イージー」の3種類があります。

## ディクショナリーでコードを調べる

楽譜に書かれたコードを、和音としてどのように押さえるのが(47ページ「フィンガード」参照)を、辞書をひくようにディスプレイで勉強することができます。

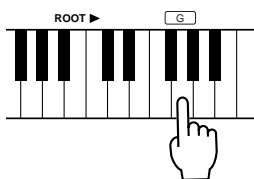
# 1

STYLEモードを選び、CHORD GUIDEボタンを押して、ディスプレイに「Dict.」を表示させます。(自動伴奏は自動的にオンになります。)



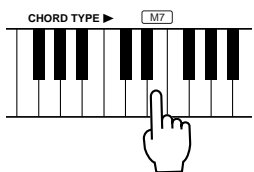
# 2

たとえば「GM7」の押さえ方を調べましょう。鍵盤の上にかかれた「ROOT」から「G」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたルート音はディスプレイに表示されます。

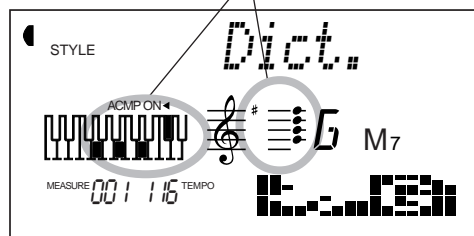


# 3

鍵盤の上にかかれた「CHORD TYPE」から「M7(メジャーセブンス)」の鍵盤を押します(音は鳴りません)。設定されたコード(ルート音+コードタイプ)の押さえ方が、ディスプレイに楽譜表示と鍵盤イラストで表示されます。



楽譜(コード構成音)+鍵盤で押さえる位置



このように押さえ方を知りたいコードを入力すれば、そのコードの構成音や押さえ方が分かります。ディスプレイにしたがって、伴奏鍵域でコードを押さえてみましょう。コードを正しく押さえると、コード名が点滅します。

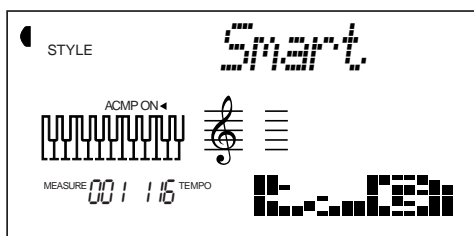
## スマートを使って、指一本でコード演奏

1

「スタイルを選ぶ」(45ページ)を参照して、STYLEモードを選び、演奏したい曲に合ったスタイルを選びます。

2

CHORD GUIDEボタンを押して、ディスプレイに「Smart」を表示させます。  
(自動伴奏は自動的にオンになります。)



3

演奏したい曲の「調」を設定します。

[ + ] [ - ] ボタン、またはナンバーボタン [ 1 ] ~ [ 0 ] で設定します。



「調」は、楽譜に書かれている「#」や「b」の数で設定します。

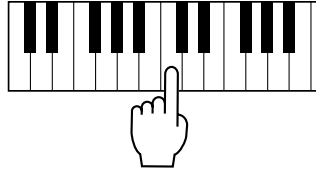


ナンバー	#, bの数	調
01	#/b=0	八長調、またはイ短調(C、またはAm)
02	#=1	ト長調、またはホ短調(G、またはEm)
03	#=2	二長調、またはロ短調(D、またはBm)
04	#=3	イ長調、または嬰へ短調(A、またはF#m)
05	#=4	ホ長調、または嬰八短調(E、またはC#m)
06	#=5	ロ長調、または嬰ト短調(B、またはG#m)
07	#=6	嬰へ長調、または嬰二短調(F#、またはD#m)
08	#=7	嬰八長調、または嬰イ短調(C#、またはA#m)
09	b=7	変八長調、または変イ短調(Cb、またはAbm)
10	b=6	変ト長調、または変ホ短調(Gb、またはEb m)
11	b=5	変二長調、または変ロ短調(Db、またはBbm)
12	b=4	変イ長調、またはへ短調(Ab、またはFm)
13	b=3	変ホ長調、または八短調(Eb、またはCm)
14	b=2	変ロ長調、またはト短調(Bb、またはGm)
15	b=1	へ長調、または二短調(F、またはDm)



# 4

自動伴奏をスタートし( 45ページ参照 )、コードを指1本で押さえます。



例 調を「F(♭=1)」に設定した場合

楽譜のコードネーム	F	Dm	Gm	C
押さえる鍵盤				

ルート(根音)を押さえるだけでコードタイプが自動的に選ばれるので、左手に気をつかわずに、右手でメロディが弾けます。

スマートリスト(押さえる鍵盤と実際に演奏されるコード)

ナンバー	#, ♭の数	押さえる鍵盤											
		C	C# (D♭)	D	E♭ (D#)	E	F	F# (G♭)	G	A♭ (G#)	A	B♭ (A#)	B
01	#/♭=0	C	C#dim	Dm	E♭	Em	F	F#dim	G	A♭	Am	B♭	Bm
02	#=1	C	C#dim	D	E♭	Em	F	F#m	G	A♭dim	Am	B♭	Bm
03	#=2	C	C#m	D	E♭dim	Em	F	F#m	G	A♭dim	A	B♭	Bm
04	#=3	C	C#m	D	E♭dim	E	F	F#m	G	A♭m	A	B♭dim	Bm
05	#=4	C	C#m	D	E♭m	E	Fdim	F#m	G	A♭m	A	B♭dim	B
06	#=5	Cdim	C#m	D	E♭m	E	Fdim	F#	G	A♭m	A	B♭m	B
07	#=6	Cdim	C#	D	E♭m	E	Fm	F#	Gdim	A♭m	A	B♭m	B
08	#=7	Cm	C#	Ddim	E♭m	E	Fm	F#	Gdim	A♭	A	B♭m	B
09	♭=7	Cdim	C#m	D	E♭m	E	Fdim	F#	G	A♭m	A	B♭m	B
10	♭=6	Cdim	C#	D	E♭m	E	Fm	F#	Gdim	A♭m	A	B♭m	B
11	♭=5	Cm	C#	Ddim	E♭m	E	Fm	F#	Gdim	A♭	A	B♭m	B
12	♭=4	Cm	C#	Ddim	E♭	E	Fm	F#	Gm	A♭	Adim	B♭m	B
13	♭=3	Cm	C#	Dm	E♭	Edim	Fm	F#	Gm	A♭	Adim	B♭	B
14	♭=2	Cm	C#	Dm	E♭	Edim	F	F#	Gm	A♭	Am	B♭	Bdim
15	♭=1	C	C#	Dm	E♭	Em	F	F#dim	Gm	A♭	Am	B♭	Bdim

## イージーを活用する

イージーは、8つのバンクにコード進行を録音し、再生する機能です。それぞれのバンクには最大128ステップ(コード切り替え128回)のデータが記録できます。  
イージーの再生は、伴奏鍵域を弾いたタイミングでコードを順番に再生します。

### イージーの再生

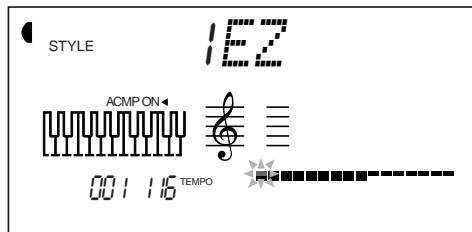
ここでは、バンク1, 2にあらかじめ録音されているコード進行を使って、自動伴奏してみましょう。

バンク1 ..... 『メヌエット』のコード進行  
バンク2 ..... 『エンターテイナー』のコード進行  
楽譜は58ページを参照してください。

- 1 「スタイルを選ぶ( 45ページ)を参照して、STYLEモードを選び、演奏したい曲に合ったスタイルを選びます。また、スタイルに合ったパネル設定を呼び出すには、ワンタッチセッティング( 62ページ参照)が便利です。

メヌエット ..... スタイルNo.1 『8ビートポップ1』  
エンターテイナー ..... スタイルNo.93 『スイング』  
を、お勧めします。

- 2 CHORD GUIDEボタンを押して、ディスプレイに「EZ」を表示させます。  
(自動伴奏は自動的にオンになります。)

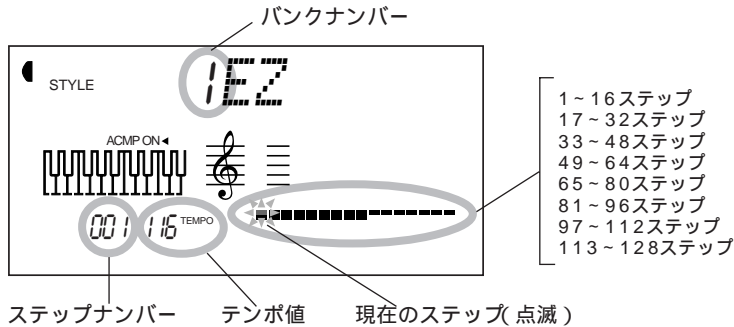


- 3 ナンバーボタン[ 1 ]~[ 9 ] または[ + ] [ - ] ボタンでバンクナンバーを選びます。

1 ~ 8 ..... 選んだバンクだけを演奏します。最後のステップの次は、最初のステップに戻ります。

A-1([ 9 ] を押した時).... 全バンク(バンク1 ~ 8)を連続して演奏します。バンク8の最後のステップの次は、バンク1の最初のステップに戻ります。

ディスプレイ右下には、選択されているバンクの使用情報が表示されます。その左には現在のステップナンバーとテンポ値が表示されます。



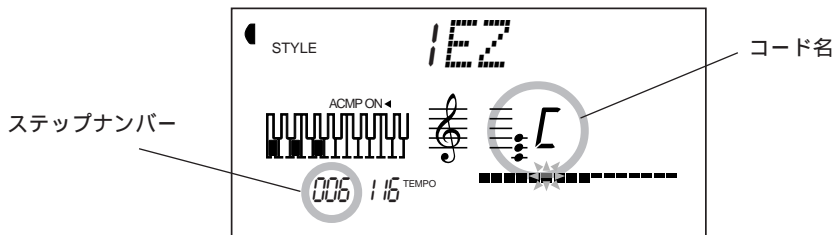
たとえば、バンク1には25ステップのコード進行が録音されていることが分かります。

**4** SYNC-STARTボタンを押して、シンクロスタート待機状態にします。

**5** 伴奏鍵域の鍵盤を押さえて(伴奏鍵域内であればどの鍵盤でも構いません)、自動伴奏をスタートします。



現在のステップナンバーとコード名が表示され、コードに合った自動伴奏が演奏されます。自動伴奏に合わせて右手でメロディ演奏してみましょう。



メモ 伴奏鍵域の設定は52ページを参照してください。

**6** 次のコードに変えたいタイミングで、伴奏鍵域の鍵盤を押すとコードが切り替わります。



フットスイッチの操作で、イージーのステップナンバーを進めることもできます。この場合、自動伴奏のスプリットポイントを低音側に変更すれば、より広い鍵域を演奏に使うことができます。フットスイッチの設定については79ページをご参照ください。

イージーのバンク1, 2には、あらかじめ下の2曲のコード進行が録音されています。  
左手でコードを変えながら、右手でメロディを演奏してみましょう。

イージー バンク1

Style No.1 8Beat Pop 1

メヌエット

♩ = 116

イージー バンク2

Style No.93 Swing

エンターテイナー

♩ = 192  $\text{♩} = \text{♩}^{\text{3}}$

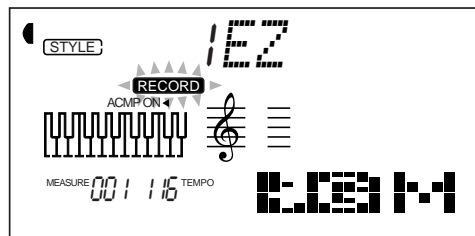
## イージーの録音

コード進行(8バンク×128ステップ)を自分で録音することができます。



イージーのバンク1,2にはあらかじめコード進行が録音されています。イージーの録音は上書き録音のため、それらのバンクに録音すると、あらかじめ記録されていたデータは失われますが、初期化(100ページ参照)の操作でもとに戻すことができます。

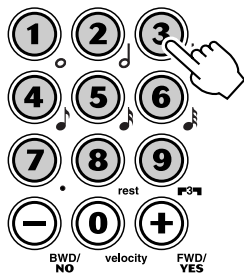
- 1 RECORDボタンを繰り返し押し続けて(ディスプレイの **RECORD** アイコン点滅中に)、ディスプレイに「EZ」を表示させます。



イージー録音モードに入った時は、ディスプレイに「Dict.」が一定時間表示されます。

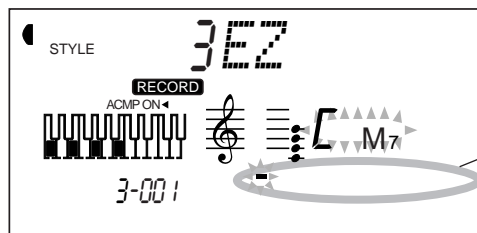
- 2 録音するバンクナンバーを選びます。

バンクナンバーを変更したい場合は、ナンバーボタン[1]~[9]を使って、別のバンクナンバーを選びます。



ナンバーボタン[9]を押して、「A-1」の機能を選ぶと、連続するバンクをFWD[+]ボタン、BWD[-]ボタンで行き来して録音することができます。

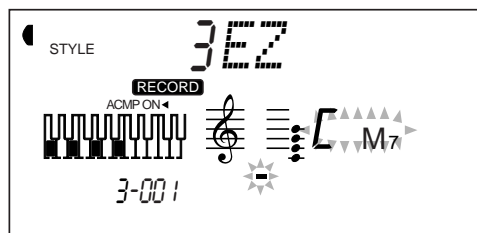
すでにコードが記録されているバンクでは、FWD[ + ]ボタン、BWD[ - ]ボタンを押してステップを移動すると、そのステップに入力されているコードがディスプレイに表示されます。



- 例)
- 1 ~ 16ステップ —
  - 17 ~ 32ステップ —
  - 33 ~ 48ステップ —
  - 49 ~ 64ステップ —
  - 65 ~ 80ステップ —
  - 81 ~ 96ステップ —
  - 97 ~ 112ステップ —
  - 113 ~ 128ステップ —

### 3 コードを入力します。

押さえたコードがディスプレイに点滅表示されます。



コードを確認した後で、FWD[ + ]ボタンを押すと入力したコードが確定し、ステップが移動します。



ステップ表示のスペース(空白)を上手に使いましょう。

ディスプレイのステップ表示で、白い部分は何もデータが記録されていないことを表しています。データが記録されていない部分は、実際の演奏では無視されま  
す(飛ばされます)。

このスペースを上手に利用すると、コード進行を分かりやすく録音できます。

- イントロ(8) —
- メイン(24) —
- サビ(16) —
- 間奏(8) —
- メイン(24) —
- サビ(16) —
- エンディング(4) —

4 必要に応じて1~3を繰り返し、他のバンクを録音しましょう。

5 録音を終了します。(録音モードを抜けます。)

RECORDボタンを押すと、ディスプレイの **RECORD** アイコンが消灯し、録音モードから抜けます(イージー録音の終了)。



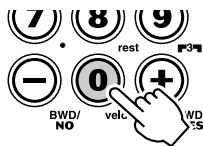
バンク内に記録されているデータを消去するには..(バンククリア)  
指定したステップ以降のデータを、一括してクリア(消去)することができます。

- 1 イージー録音モードに入った後、FWD[ + ]ボタン、BWD[ - ]ボタンでステップを移動し、消去したい範囲の先頭のステップを選択します。



バンク内のすべてのデータをクリアしたい場合は、先頭のステップを選択します。

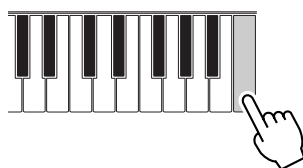
- 2 ナンバーボタン[ 0 ]をしばらく押し続けると、ディスプレイに「YES Clear?」が表示されます。



- 3 YES[ + ]ボタンを押すと、クリアが実行されます。NO[ - ]ボタンを押すとクリアは中止されます。

バンク内に記録されている1ステップ(データ1つ)を消去するには...

- 1 イージー録音モードに入った後、FWD[ + ]ボタン、BWD[ - ]ボタンでステップを移動し、消去したいステップを選択します。
- 2 C6鍵盤を押します。



- 3 YES[ + ]ボタンを押すと、データが消去されます。





# スタイルに合ったボイスを選ぶには (ワンタッチセッティング)

STYLEモードで、ONE TOUCH SETTING( PRESET A/B )ボタンを押すと、スタイルに最適なボイスなどが自動的にパネルに呼び出され、たいへん便利です。

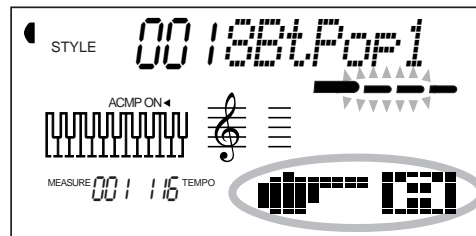
また、自由なパネル設定が16種類記録できます(ユーザーバンク1~4 x ユーザー1~4)。記録したユーザー設定は、いつでも呼び出すことができます。



ワンタッチセッティングで設定を呼び出すと、それまでのパネル設定は失われます。大切な設定データはユーザー1~4( 63ページ参照 )に記録しておきましょう。

## プリセットA/Bを呼び出す

STYLEモードで好みのスタイルを選び、ONE TOUCH SETTING( PRESET A、またはB )ボタンを押すと、プリセットA/Bそれぞれに記憶されているパネル設定が呼び出されます。



### ワンタッチセッティング(プリセットA/B)の設定内容

- ・メインボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・デュアルボイスオン/オフ
- ・デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・スプリットボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・リバーブオン/オフ、およびリバーブタイプ
- ・コーラスオン/オフ、およびコーラスタイプ
- ・DSPオン/オフ、およびDSPタイプ
- ・ハーモニーオン/オフ、およびハーモニータイプ、ハーモニーボリューム
- ・自動伴奏オン/オフ\*
- ・セクション設定(メインA/B)\*
- ・自動伴奏スプリットポイント\*
- ・シンクロスタートオン\*

\* 印の設定項目は、リズムがストップしている時だけ呼び出されます。

## パネル設定を記録する(ユーザー1~4)

ワンタッチセッティング[ユーザー1~4]に記録/呼び出しできる設定内容

- ・メインボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・デュアルボイスオン/オフ
- ・デュアルボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・スプリットボイスオン/オフ
- ・スプリットボイス(ボイスナンバー、ボリューム、オクターブ、パン、リバーブセンドレベル、コーラスセンドレベル、DSPセンドレベル)
- ・スプリットポイント
- ・リバーブオン/オフ、およびリバーブタイプ
- ・コーラスオン/オフ、およびコーラスタイプ
- ・DSPオン/オフ、およびDSPタイプ
- ・ハーモニーオン/オフ、およびハーモニータイプ、ハーモニーボリューム
- ・スタイルナンバー
- ・自動伴奏オン/オフ
- ・セクション設定(メインA/B)
- ・自動伴奏スプリットポイント
- ・オーバーオール(テンポ、トランスポーズ、チューニング、伴奏音量)
- ・フットスイッチ
- ・タッチセンス

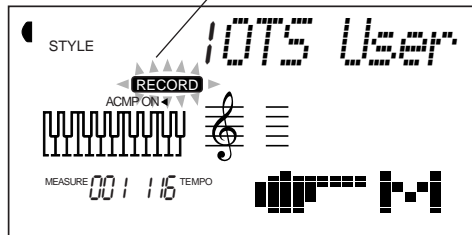
1

ワンタッチセッティングのユーザー設定録音モードに入ります。

RECORDボタンを繰り返し押し続けて(ディスプレイの **RECORD** アイコン点滅中に) ディスプレイに「OTS User」を表示させます。

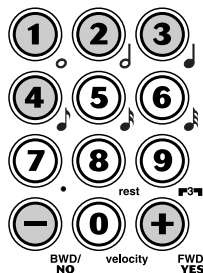


**RECORD** アイコンが点滅した後、点灯になります。

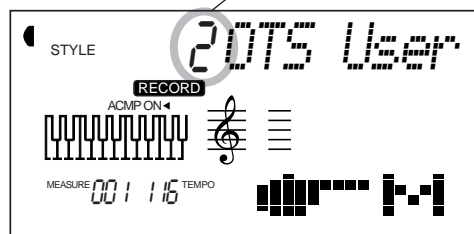


2

ナンバーボタン[1]~[4][+][-]ボタンを押して、記録したいユーザーバンク(1~4)を選択します。

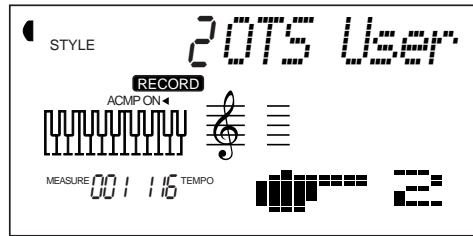
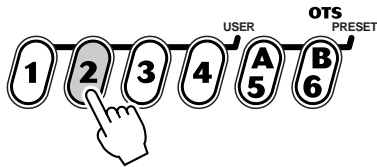


ユーザーバンク表示



3

USER 1 ~ 4 ボタンの中から記録したいボタンを押します。これで現在のパネル設定が記録されました。



すでに設定データが記録されているユーザーボタンを選択すると、設定データが上書きされ、以前のデータは消去されます。

4

RECORD ボタンを押して、録音モードを抜けます。( RECORD アイコン消灯 )

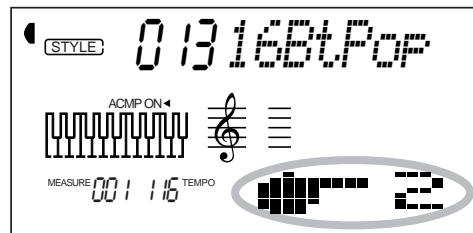
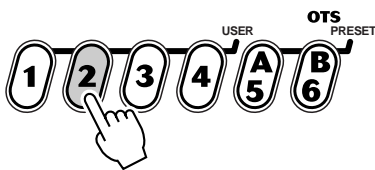
## 記録したパネル設定(ユーザー1~4)を呼び出す

1

STYLE モードにします。

2

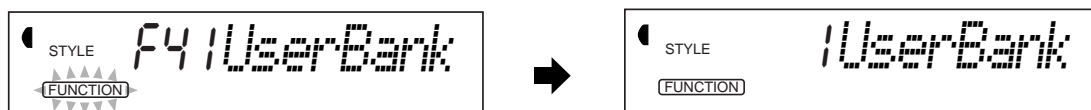
USER 1 ~ 4 ボタンを押すと、パネルに設定内容が呼び出されます。



バンクを変えるには...

ファンクション41の設定で、呼び出したいユーザーバンクを選択します。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



ナンバーボタン[ 1 ]~[ 4 ] [ + ] [ - ] ボタンを押して、呼び出したいユーザーバンク( 1 ~ 4 )を選択します。

ユーザーバンク表示





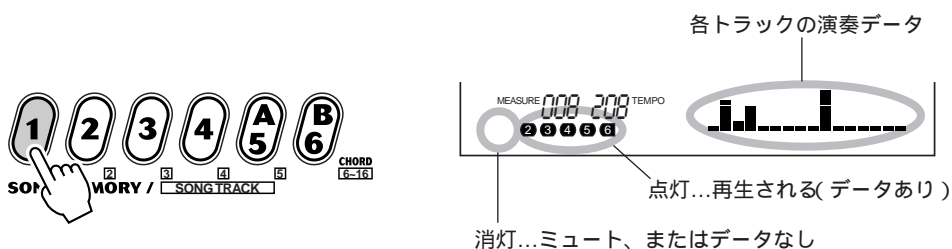
# ソングのトラック構成について覚えましょう

PSR-270は内蔵のデモソング3曲と、自分の演奏を録音したユーザーソング( 66ページ) 3曲を鳴らすことができます。

ソングを鳴らす方法については25ページをご参照ください。

ここでは、ソングのトラック構成について覚えましょう。

SONG MEMORY 1 ~ 6/CHORDボタンを押すと、トラックをオン/オフすることができます。オフにするとそのトラックの演奏はミュート( 消音 )され、ディスプレイのナンバーが消灯します。



ソングトラックの構成は以下のとおりです。

## ユーザーソングの場合( SONG MEMORY )

トラック1 ~ 5 ..... 録音したメロディ演奏のオン/オフができます。

トラック6またはコード ..... コードトラックとして録音した場合は自動伴奏のオン/オフとなり、トラック6として録音した場合はメロディ演奏のオン/オフとなります。

## デモソングの場合( SONG TRACK )

トラック[1] ~ [5] ..... 1 ~ 5トラックの演奏をオン/オフできます。

トラック[6~16] ..... 6 ~ 16トラックの演奏をオン/オフできます。

特定のトラックをオフにして再生し、そのトラックの演奏を自分で弾くこともできます。



# 録音しましょう

PSR-270は、ソング( 67ページ参照 )やイージー( 59ページ参照 )を録音することができます。ソングメモリー機能を使用すれば自分の演奏をユーザーソングとして3曲( ソングナンバー4~6 : User1~3 )録音することができます。イージー(バンク1~8 )には、コード進行を録音することができます。

録音した内容は、プリセットされているソングやイージーと同じように鳴らすことができます。

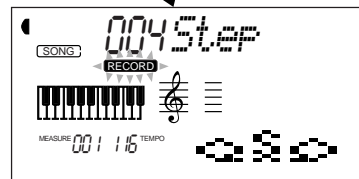
## 録音モードについて

**RECORD** アイコン点滅中にRECORDボタンを押すたびに、ディスプレイが以下のように切り替わり、録音モードを選択できます。

リアルタイム録音モード(ソングメモリー)  
鍵盤演奏をテープレコーダーに録音するようにリアルタイムに録音します。 67ページ



イージー録音モード  
イージーを録音します。 59ページ



ステップ録音モード  
(ソングメモリー)  
演奏を1音ずつステップ単位で録音します。 71ページ



ワンタッチセッティング録音モード  
ワンタッチセッティングのユーザー設定を記録(録音)します。 63ページ

RECORDボタンを押すと、以前に選択した録音モードが最初に表示され、モード切り替えが一周すると、録音モードを抜けます。



録音モード中( **RECORD** 表示中 )に、RECORDボタンを押すと、録音モードを抜けます( **RECORD** が消えます )。ただし、録音中の場合は、録音をストップしてから録音モードを抜けます。



同じソングのあるトラックをステップ録音し、別のトラックをリアルタイム録音することもできます。たとえば、コード演奏が苦手な人は、まずコードトラックをステップ録音し、それを再生しながら、メロディトラックをリアルタイム録音することができます。(リアルタイム録音したトラックをステップ録音でエディット[編集]することはできません。)

## 演奏をそのまま録音する(リアルタイム録音)

ソングメモリーのリアルタイム録音モードでは、鍵盤演奏をテープレコーダーに録音するようにリアルタイムに録音します。

ユーザーソング1~3の1曲ごとに6つのトラックを使って録音できます。

メロディトラック1~5 ..... メロディ演奏を録音します。

メロディトラック6/コード ..... 自動伴奏がオフの場合はメロディ演奏を、オンの場合はコード演奏を録音します。

### 「リアルタイム録音」で録音できるデータ

#### メロディトラック1~6に録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ( 押鍵/離鍵 )
- ・ ベロシティ( 押鍵の強弱 )
- ・ メインボイス( ボイスナンバー\*、ボリューム\*、オクターブ\*、パン\*、リバーブセンドレベル\*、コーラスセンドレベル\*、DSPセンドレベル\* )
- ・ デュアルボイスオン/オフ
- ・ デュアルボイス( ボイスナンバー\*、ボリューム\*、オクターブ\*、パン\*、リバーブセンドレベル\*、コーラスセンドレベル\*、DSPセンドレベル\* )
- ・ リバーブオン/オフ、およびリバーブタイプ\*
- ・ コーラスオン/オフ、およびコーラスタイプ\*
- ・ DSPオン/オフ、およびDSPタイプ\*
- ・ ハーモニーオン/オフ、およびハーモニータイプ\*
- ・ サステインオン/オフ
- ・ テンポ\*/拍子\*( コードトラックが録音されていない場合のみ有効 )

#### コードトラックに録音できるデータ

- ・ コード変更、コード押鍵タイミング
- ・ セクションの変更
- ・ スタイルナンバー\*
- ・ 自動伴奏音量\*
- ・ リバーブタイプ\*
- ・ コーラスタイプ\*
- ・ DSPタイプ\*
- ・ テンポ
- ・ 拍子\*

\* 印のデータは曲の先頭で録音されます。曲の途中の変更は録音されません。

ソングメモリーの容量は「メロディトラックだけを録音した場合(キーオン/キーオフ): 最大約10,000ノート、またコードトラックだけを録音した場合: 最大約5,500コード」です(3曲の合計)。

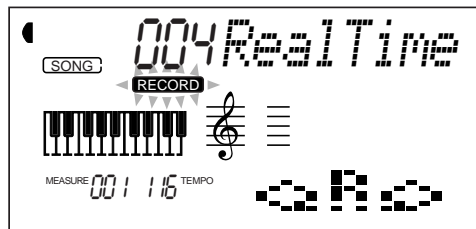


録音中に電源を切った場合や、録音中に電源アダプターがコンセントから外れた場合、電池が切れた場合はソングデータが失われますのでご注意ください。

## 1

ソングメモリーのリアルタイム録音モードに入ります。

RECORDボタンを繰り返し押して(ディスプレイの **RECORD** アイコン点滅中に)、ディスプレイに「RealTime」を表示させます。(自動的にSONGモードになります。)



どのトラックにもまだ録音していない場合は、ビートディスプレイの4つのバーが点滅し、シンクロ録音待機状態(トラック1選択状態)になります。

## 2

録音するユーザーソングナンバーを選びます。

現在選ばれているユーザーソングナンバーを変更したい場合は、ナンバーボタン[4]~[6][+][ - ]ボタンを使って、別のユーザーソングナンバーを選びます。



## 3

録音するトラックを選びます。

メロディトラック1つとコードトラックを同時に録音する場合  
自動伴奏がオンで、コードトラックがまだ録音されていない場合は、メロディトラック1つとコードトラックが、録音トラックとして選ばれます。(例: ディスプレイの **1** と **CHORD** 点滅)



点滅...録音トラックのスタンバイ状態。  
点灯...録音されたデータあり。

SONG MEMORY 1 ~ 5 ボタンを押して、メロディを録音するトラックを1つ選びます。



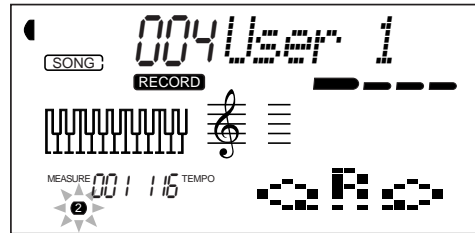
コードトラックに録音できるのは、自動伴奏がオンの時だけです。自動伴奏をオンにすると、録音トラックとしてコードトラックが自動的に選ばれます。

コードトラックだけを録音する場合は、点滅しているメロディトラックのボタンを押して消灯させます。

録音がスタートすると、自動伴奏のオン/オフの切り替えはできません。



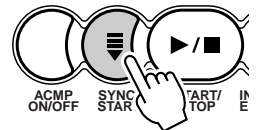
メロディトラックを録音する場合  
 自動伴奏がオフの場合は、メロディトラックだけの録音になります。  
 SONG MEMORY 1～6ボタンを押して、録音トラックを1つ選びます。選んだトラ  
 ックはディスプレイに点滅表示されます。



自動伴奏がオフの場合は、コードトラックをメロディトラック6として録音できます。  
 リアルタイム録音する時は、メトロノームを鳴らすと便利です。( 28ページ参照 )  
 複数のメロディトラックを同時に録音することはできません。  
 録音していないトラックを、録音トラックとして選んだ場合は、自動的にシンクロ録音  
 待機状態になります。

#### リハーサルモードについて

SYNC-STARTボタンを押してシンクロ録音待機状態を解除すれば、  
 録音前の練習(リハーサル)ができます。もう一度SYNC-STARTボタ  
 ンを押すと、シンクロ録音待機状態に戻ります。



## 4 録音をスタートします。

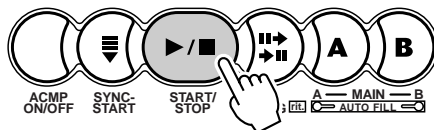
シンクロ録音待機状態で、鍵盤を弾くと録音がスタートします。また、START/STOP  
 ボタンを押しても、録音がスタートします。  
 録音中は、ディスプレイのMEASUREに現在の小節ナンバーが表示されます。



フットスイッチの操作で、リアルタイム録音をスタートさせることもできます。  
 ( 79ページ参照 )

## 5 録音をストップします。

START/STOPボタンを押すと録音がストップします。



コードトラック録音中は、ENDINGボタンを押すと、エンディングセクションを演奏し  
 てから録音をストップします。

録音を終了すると、ディスプレイの小節ナンバーは「1」に戻り、録音済みのトラックの  
 ナンバーは点灯表示に変わります。

## 6

他のトラックを録音します。

手順 ②~⑤を繰り返し、他のトラックを録音しましょう。

SONG MEMORY 1~6/CHORDボタンを押すことにより、録音済みのトラックを再生しながら(トラックナンバー点灯)、他のトラックを録音することもできますし、録音済みのトラックをミュート(消音)して(トラックナンバー消灯)、他のトラックを録音することもできます。

録音をやり直すには...

録音済みのトラックを録音トラックとして選択します(シンクロ録音待機状態解除)。録音をスタートすれば、上書き録音することができます。この場合、そのトラックに録音されていた以前のデータはすべて削除されます。何も録音せずにスタート/ストップすれば、そのトラックのデータを削除できます。

## 7

録音モードを抜けます。

RECORDボタンを押すと、ディスプレイの **RECORD** アイコンが消灯し、録音モードから抜けます。デモソング(ソングナンバー1~3)と同様に、録音したユーザーソングを再生してみましょう。



録音中の場合は、録音をストップしてから録音モードから抜けます。

## 楽譜形式で1音ずつ録音する(ステップ録音)

演奏をステップ単位で録音(入力)します。

ステップ録音では、リアルタイム録音同様ユーザーソング1~3に、それぞれ6トラック録音できますが、録音操作は1トラックずつ行います。

### 「ステップ録音」で録音できるデータ

#### メロディトラック1~6に録音できるデータ

- ・ ノートオン/オフ(押鍵/離鍵)
- ・ ベロシティ(ベロシティカーブ)
- ・ メインボイス(ボイスナンバー\*、ボリューム\*、オクターブ\*、パン\*、リバーブセンドレベル\*、コーラスセンドレベル\*、DSPセンドレベル\*)
- ・ デュアルボイスオン/オフ
- ・ デュアルボイス(ボイスナンバー\*、ボリューム\*、オクターブ\*、パン\*、リバーブセンドレベル\*、コーラスセンドレベル\*、DSPセンドレベル\*)
- ・ リバーブオン/オフ\*、およびリバーブタイプ\*
- ・ コーラスオン/オフ\*、およびコーラスタイプ\*
- ・ DSPオン/オフ\*、およびDSPタイプ\*
- ・ テンポ\*/拍子\*(コードトラックが録音されていない場合のみ有効)

#### コードトラックに録音できるデータ

- ・ コード変更、コード押鍵タイミング
- ・ セクションの変更
- ・ スタイルナンバー\*
- ・ 自動伴奏音量\*
- ・ リバーブタイプ\*
- ・ コーラスタイプ\*
- ・ DSPタイプ\*
- ・ テンポ\*(最初に録音したトラックの値が有効です。)
- ・ 拍子\*

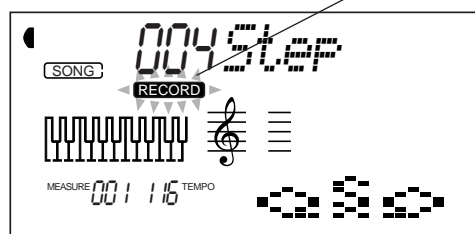
\* 印のデータは曲の先頭で録音されます。曲の途中の変更は録音されません。

# 1

ソングメモリーのステップ録音モードに入ります。

RECORDボタンを繰り返し押し続けて(ディスプレイの **RECORD** アイコン点滅中に)、ディスプレイに「Step」を表示させます。

**RECORD** アイコン点滅



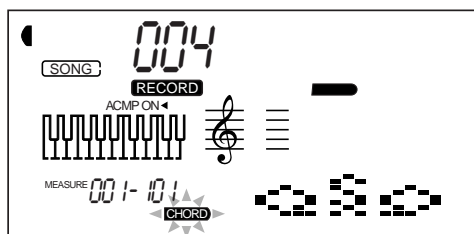
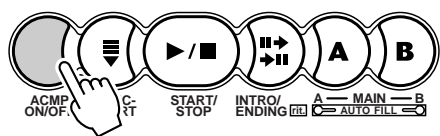
ステップ録音モードに入ると、自動伴奏はオフになります。

## 2 録音するユーザーソングナンバーを選びます。

手順1で選ばれたユーザーソングナンバーを変更したい場合は、ナンバーボタン[ 4 ]~[ 6 ] [ + ] [ - ] ボタンを使って、別のユーザーソングナンバーを選びます。

## 3 録音するトラックを選びます。

コードトラックを録音する場合  
ACMP ON/OFFボタンを押して自動伴奏をオンにします。ディスプレイの **CHORD** が点滅します。

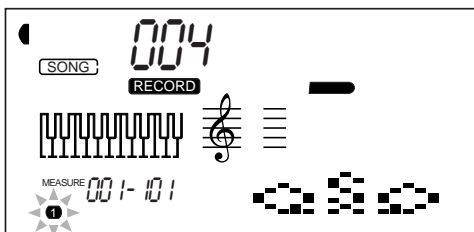
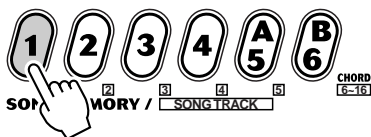


自動伴奏をオンにすると、録音トラックとしてコードトラックが自動的に選ばれます。

録音スタート後に自動伴奏オン/オフを切り替えると、「コードトラックの録音」「トラック6の録音」の切り替えになります。

録音済みのトラックに録音しようとする、ディスプレイに「Delete(消去しますか?)」が表示されます。( 76ページ参照 )

メロディトラック1~6を録音する場合  
SONG MEMORY 1~6ボタンを押して、録音トラックを1つ選びます。選んだトラックナンバーが点滅します。

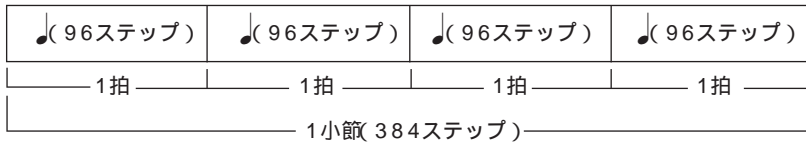


ステップ録音では、メロディトラックとコードトラックは同時に録音できません。

## 4 録音をスタートします。

PSR-270の分解能は1拍が96ステップになります。

4/4の場合



ディスプレイの左下には、録音のステップ位置が表示されます。

例)ステップ位置「1小節目 - 1拍目 - 1ステップ目」の場合

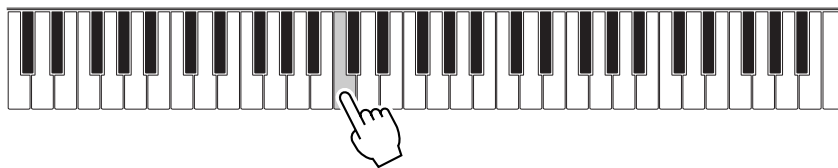


ステップ録音では、ディスプレイのステップ位置表示を目安に、「音階」と「音符の長さ」を組み合わせることで1音1音入力します。

たとえば「ド(C3)を4分音符の長さで入力する」場合は、以下の手順で入力します。

### 音程の入力

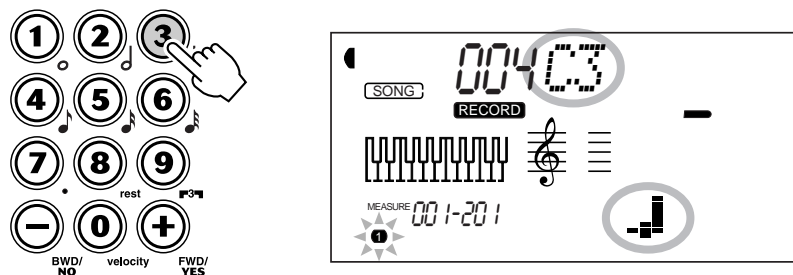
鍵盤を押さえて、音程を指定します。押さえた鍵盤(音名)がディスプレイに表示されます。コードの入力方法は次ページを参照してください。




### 音符の長さの入力

ナンバーボタン[1]~[6]を押さえて、音符の長さを入力すると1音分の入力が完了し、ステップが進みます。

例] 3 を押して4分音符を入力した場合



音符の長さ	ステップ数	音符の長さ	ステップ数
全音符 	384(1小節)	16分音符 	24
2分音符 	192(2拍)	3連16分音符 	16
4分音符 	96(1拍)	32分音符 	12
8分音符 	48	3連32分音符 	8
3連8分音符 	32		

詳細は次ページの「ステップ入力について」を参照してください。

START/STOPボタンを押すと、現在録音しているトラックだけを再生することができます。  
手順 2~4 を繰り返して、他のトラックを入力します。

## ステップ入力について

以下にステップ入力の方法を紹介します。以下の方法で効率的にステップ入力しましょう。

004C3

### メロディトラックの和音の入力

音程を入力する時に、複数の鍵盤を押さえます。ディスプレイには最後に押した鍵盤(音名)だけが表示されますが、和音が録音されます。

004Chord  
004Main B

### コードトラックのコード/セクションの入力

コードを押さえます。ディスプレイには「Chord」とコード名が表示されます。セクションを録音する場合は、セクションボタンを押さえます。ディスプレイにはセクション名が表示されます。コードだけ、セクションだけを録音することもできます。

コードやメインセクションを入力する場合は、音符の長さを入力すると次のステップへ自動的に移動します。イントロ/エンディングセクションを入力する場合は、小節数が決まっているため、自動的に次のステップに移動します。また、エンディングセクションの場合は、自動的にそのトラックの録音を終了します。

コードの入力方法には「マルチフィンガリング(47ページ参照)」と「ディクショナリー(53ページ参照)」の2種類があります。

コードガイドがオン(ディクショナリー/スマート/イージー)の状態では、ステップ録音モードに入った時は、「ディクショナリー」の方法で入力できます。(ディスプレイに「Dict.」を一定時間表示)

コードガイドがオフの状態では、ステップ録音モードに入った時は、マルチフィンガリングで入力できます。(ディスプレイに「Multi」を一定時間表示)

## 5

録音を終了します。(録音モードを抜けます。)

RECORDボタンを押すと、ディスプレイの **RECORD** アイコンが消え、録音モードから抜けます(ステップ録音の終了)。



#### 休符の入力

ナンバーボタン[ 8 ](rest)を押し、続いてナンバーボタン[ 1 ]~[ 6 ]を押して「休符の長さ」を入力します。



同じ休符を続けて入力する場合、2つめ以降の休符はFWDボタンを押すだけで入力できます。



#### 付点音符の入力

音程を入力後、ナンバーボタン[ 7 ](・)を押し、続いてナンバーボタン[ 1 ]~[ 6 ]を押して付点音符の基本になる音符を入力します。この2つの操作で付点音符が入力できます。



ナンバーボタン[ 7 ]を押した後に、もう一度ナンバーボタン[ 7 ]を押すと、付点の入力は解除されます。

付点休符を入力する場合は、ナンバーボタン[ 8 ][ 7 ][ 1 ]~[ 6 ](付点休符の基本になる音符)を押します。



#### 3連符の入力

音程を入力後、ナンバーボタン[ 9 ](≡)を押し、続いてナンバーボタン[ 1 ]~[ 6 ]を押して2つのボタンを組み合わせると3連符の中の1つを入力します。

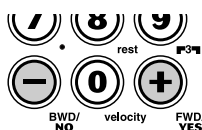


ナンバーボタン[ 9 ]を押した後に、もう一度ナンバーボタン[ 9 ]を押すと、3連符の入力は解除されます。



#### タイの入力

音程を入力後、1音めの長さを入力します。次に、タイをつきたい音符(2音め)の長さを入力します。



#### ステップの移動(FWD/BWDボタン)

BWDボタンを押すと、1つ前のステップに移動して発音します。押し続けると、曲の先頭に移動します。FWDボタンを押すと次のステップに移動して発音します。何も記録されていない場合は、次の拍の先頭に移動します。この場合、休符が自動的に入力されます。



## 音符の置き換え

音程/コードを間違えた場合は、修正することができます。置き換えたい音符が録音されているステップに移動して、音程/コードの修正をします。

音符の長さを入力するとディスプレイに「YES Delete?」が表示されます。YES[ + ]ボタンを押すと、置き換えが実行されます。NO[ - ]ボタンを押すと、置き換えがキャンセルされます。また、音符の長さやセクションを訂正する場合も、音符の置き換えを行ってください。



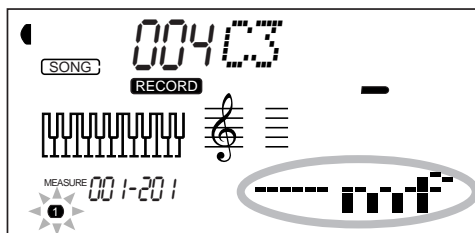
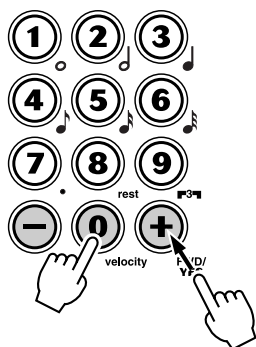
音符の置き換えにより、置き換えたステップ以降のデータはすべて削除されます。  
リアルタイム録音したトラックは、ステップ録音で修正できません。

## ベロシティカーブの設定

16種類のベロシティカーブを使用して、ステップ録音した曲に強弱の抑揚を付けることができます。(メロディトラックだけに設定可能です。)

曲の中で「この部分は弱く」「この部分はだんだん強く」など、好みに合わせてアレンジすることができます。

- 1 ステップ録音モードに入り( 71ページ参照 )、ベロシティカーブを設定したいトラックを録音待機状態にします。
- 2 FWD/BWDボタンで、ベロシティカーブを設定したいステップに移動します。
- 3 ナンバーボタン[ 0 ] (velocity) を押すと、ディスプレイ右下に現在のベロシティカーブがアイコン表示されます。  
ナンバーボタン[ 0 ] を押しながら、[ + ]ボタン、または[ - ]ボタンを押すとベロシティカーブが選択できます。次ページの「ベロシティカーブリスト」を参照して、好みのカーブを選びます。



- 4 ナンバーボタン [ 0 ] (velocity) から指を離すと、ディスプレイに「YES Change?」が表示されます。



- 5 YES [ + ] ボタンを押すと、ベロシティカーブが変更されます。NO [ - ] ボタンを押すと、ベロシティカーブは変更されません。

#### ベロシティカーブリスト

ディスプレイ	タイプ	内容
	m(メゾフォルテ)	ベロシティ値「80」で固定(ベロシティを変更しない場合の初期設定値)
	f(フォルテ)	ベロシティ値「100」で固定
	ff(フォルテシモ)	ベロシティ値「120」で固定
	mp(メゾピアノ)	ベロシティ値「60」で固定
	p(ピアノ)	ベロシティ値「40」で固定
	pp(ピアノシモ)	ベロシティ値「20」で固定
	クレッシェンド1	2小節間でベロシティ値「+40」
	クレッシェンド2	2小節間でベロシティ値「+20」
	クレッシェンド3	2小節間でベロシティ値「+10」
	デクレッシェンド1	2小節間でベロシティ値「-40」
	デクレッシェンド2	2小節間でベロシティ値「-20」
	デクレッシェンド3	2小節間でベロシティ値「-10」
	アクセント1	1拍目のベロシティ値「+30」
	アクセント2	1拍目と3拍目のベロシティ値「+30」(4拍子の場合)
	三角波	ベロシティ値「±30」を2小節間で繰り返す。
	方形波	ベロシティ値「+30」「-30」を1小節ごとに繰り返す。



メモ クレッシェンド1~3、デクレッシェンド1~3を設定すると、カーブの後は最終のベロシティ値を引き継ぎます。これから入力する音にベロシティカーブを設定したい場合は、録音済みの最後の音を [ + ] [ - ] ボタンで選び、ベロシティカーブを選択してください。この場合、最後の音のベロシティカーブは変更されず、続けて新しく入力した音にベロシティカーブが有効になります。

## ソングを削除する(ソングクリア)

ファンクション61～63で、録音したユーザーソング1～3をクリア(削除)することができます。

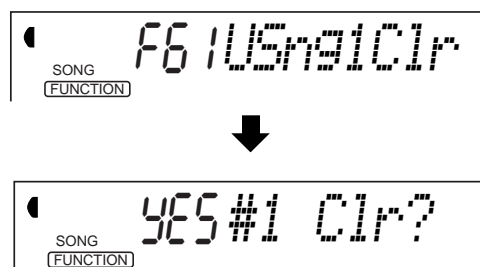
ユーザーソング1をクリア ..... ファンクション61

ユーザーソング2をクリア ..... ファンクション62

ユーザーソング3をクリア ..... ファンクション63

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )

ユーザーソング1をクリアする( ファンクション61を選んだ )場合、「F61 USng1Clr」表示後、「YES #1 Clr?」を表示します。



YES[ + ]ボタンを押すと「YES Sure?」が表示され、ソングクリアの実行を確認します。



もう一度YES[ + ]ボタンを押すとソングクリアが実行されます。NO[ - ]ボタンを押すとソングクリアは実行されません。

クリアが終わったら、SONG/STYLE/VOICEボタンを押すと、ファンクションモードを抜けて、通常の演奏状態に戻ります。



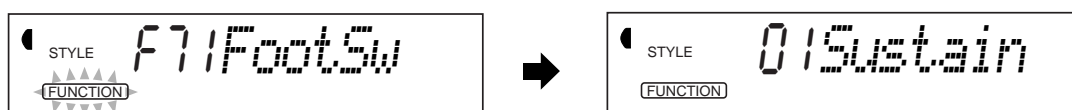
# ユーティリティを設定しましょう

ファンクション71～73はユーティリティ設定です。フットスイッチやタッチセンスなど、PSR-270を便利に活用できる設定です。

## フットスイッチの機能を設定する

ファンクション71の設定で、PSR-270に接続したフットスイッチの機能を設定できます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



「F71」表示後、現在設定されている機能を表示します。下記リストを参考に機能を選び、ナンバーボタン、[ + ] [ - ] ボタンで設定します。

### フットスイッチ機能リスト

01	<i>Sustain</i> (サステイン)	フットスイッチを踏み込んでいる間、鍵盤演奏にサステインがかかります。
02	<i>EZChdInc</i> (イージーのステップ ナンバー増加)	コードガイド機能の「イージー」使用中にフットスイッチを踏むと、ステップナンバーが増加します。
03	<i>StartStp</i> (スタート/ストップ)	パネルのSTART/STOPボタンと同様に機能します。
04	<i>IntroEnd</i> (イントロ/エンディング)	パネルのINTRO/ENDINGボタンと同様に機能します。
05	<i>Main A</i> (メインA)	パネルのMAIN Aボタンと同様に機能します。
06	<i>Main B</i> (メインB)	パネルのMAIN Bボタンと同様に機能します。
07	<i>Harmony</i> (ハーモニー)	ハーモニーをオン/オフします。(ファンクション37と同様の機能です。)
08	<i>Dual</i> (デュアル)	デュアルボイスをオン/オフします。(ファンクション18と同様の機能です。)
09	<i>Split</i> (スプリット)	スプリットボイスをオン/オフします。(ファンクション28と同様の機能です。)
10	<i>Reverb</i> (リバーブ)	リバーブをオン/オフします。(ファンクション31と同様の機能です。)
11	<i>Chorus</i> (コーラス)	コーラスをオン/オフします。(ファンクション33と同様の機能です。)
12	<i>DSP</i> (DSP)	DSPをオン/オフします。(ファンクション35と同様の機能です。)

ファンクション72「ボイスセットのオン/オフ」 33ページ参照

ファンクション73「タッチセンスを調整する」 42ページ参照



# MIDI機器を接続して演奏しましょう

PSR-270はリアパネルにMIDI端子(MIDI IN、MIDI OUT)がついています。MIDI機能の活用により、音楽の可能性を広げることができます。ここではMIDIとは何か、MIDIでできること、PSR-270のMIDI関連の操作方法などについて説明します。

MIDIを使用する時は、STYLEモードにしてください。

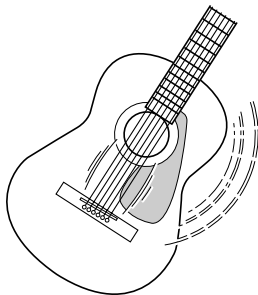
## MIDIって何?

「アコースティック楽器」と「電子楽器(デジタル楽器)」という言葉聞いたことがあるでしょうか? 今、世の中には大別してこの2種類の楽器があります。

アコースティック楽器の代表的なものにはアコースティックピアノやガットギターが挙げられます。ピアノは鍵盤をたたくことにより、内部でハンマーが弦をたたいて鳴らしています。ギターは直接弦を弾いて鳴らしています。

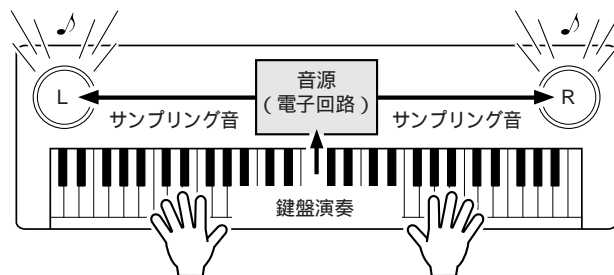
それではデジタル楽器と呼ばれるものは、どのようなしくみで音を鳴らしているのでしょうか?

アコースティック楽器の発音



弦を弾くとボディが共鳴して鳴る

電子楽器(デジタル楽器)の発音



鍵盤からの演奏情報をもとに、音源に記録されているサンプリング音がスピーカーを通して発音

上のイラストのように、電子楽器では演奏情報をもとに、音源部(電子回路)に記憶されているサンプリング音(あらかじめ録音されている音)が発音するのです。それでは、発音のもとになる演奏情報とはいったい何なのでしょう?

たとえば、PSR-270の鍵盤でグランドピアノの音色で「ド」の音を4分音符の長さで強く弾いたとします。共鳴して音を出すアコースティック楽器と異なり、電子楽器は「どのボイスで」「どの鍵盤を」「どのくらいの強さで」「いつ押さえたか」「いつ離れたか」といった演奏情報を作り出します。そして、ひとつひとつの演奏情報は、数値に置き換えて音源部に伝えられます。音源部ではその数値をもとに、記憶されているサンプリング音が鳴るのです。

演奏情報の例

ボイスナンバー(どのボイスで)	1(グランドピアノ)
ノートナンバー(どの鍵盤を)	60(ド:C3)
ノートオン(いつ押さえたか)&ノートオフ(いつ離れたか)	タイミングを数値化(4分音符)
ベロシティ(どのくらいの強さで)	120(強く)

MIDI( ミディ )は、「Musical Instrument Digital Interface」の略で、「電子楽器間のデジタル通信」という意味です。MIDIは電子楽器どうし(またはコンピューターなど)で演奏情報のやりとりを行うために生まれた世界共通の規格です。複数のMIDI楽器( 機器 )をケーブルで接続すれば、機器間でさまざまな演奏情報が送受信でき、より高度な演奏が可能になります。

MIDIで扱うメッセージ( データ )には、大きく分けて「チャンネルメッセージ」と「システムメッセージ」の2種類があります。

#### チャンネルメッセージ

PSR-270は16チャンネル扱える電子楽器です。これは「16種類の楽器を同時に鳴らせる」ということを表します。チャンネルメッセージには、ノートオン/オフ、プログラムチェンジなど、16チャンネルのそれぞれに演奏情報があります。

メッセージ名	PSR-270の操作/パネル設定
ノートオン/オフ	鍵盤の演奏情報( ノートナンバーとペロシティで構成 )
プログラムチェンジ	ボイスの設定 ( コントロールチェンジのバンクセレクトMSB/LSBと合わせて設定 )
コントロールチェンジ	ボイスの設定( ボリューム、パンポットなど )など

#### システムメッセージ

MIDIシステム全体に共通して使用するデータです。システムメッセージには、メーカー固有のデータを送受信するエクスクルーシブメッセージ、MIDI機器をコントロールするリアルタイムメッセージなどがあります。

メッセージ名	PSR-270の操作/パネル設定
エクスクルーシブメッセージ	リバーブ/コーラス/DSPタイプ設定など
リアルタイムメッセージ	クロック スタート/ストップ

MIDIインプリメンテーションチャート( 96ページ参照 )にPSR-270で送信/受信できるメッセージが掲載されています。チャートを見ながらメッセージの内容を理解しましょう。

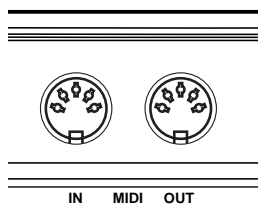
#### MIDI端子について

複数の機器間でMIDIデータ( 演奏情報 )をやりとりするために、それらの機器をMIDIケーブルで接続します。

PSR-270のリアパネルには2種類のMIDI端子がついています。

MIDI IN 他のMIDI機器からのMIDIデータを受信します。

MIDI OUT PSR-270の演奏情報をMIDIデータとして他のMIDI機器へ送信します。



## パーソナルコンピューターと接続する

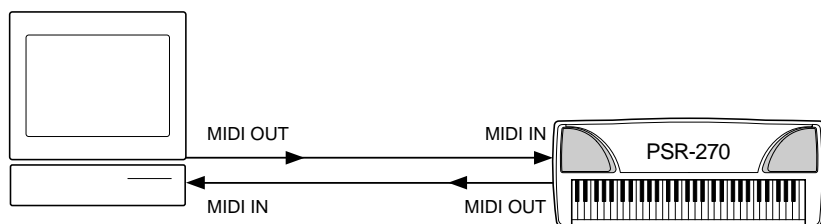
PSR-270のMIDI端子とパソコン(パーソナルコンピューター)を接続すると、パソコン用の音楽ソフトを楽しむことができます。

コンピューター側に取り付けたMIDIインターフェース機器を使用して、コンピューターとPSR-270のMIDI端子を接続します。

接続に使用するケーブルは、専用のMIDIケーブルをご使用ください。

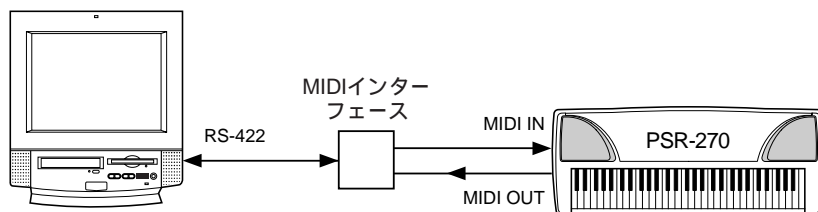
コンピューターとPSR-270のMIDI端子を接続します。

コンピューター  
(シーケンスソフト)



MacintoshシリーズにMIDIインターフェース(別売)を使用する場合は、コンピューターのRS-422端子(モデムまたはプリンター端子)にMIDIインターフェースを下図のように接続します。

コンピューター  
(シーケンスソフト)



\* Macintoshシリーズをお使いの場合、使用するMIDIインターフェースの設定に合わせて、アプリケーションソフトウェア側で、MIDIインターフェースのクロックを設定してください。詳しくは、お使いになるソフトウェアの説明書をよくお読みください。



## 外部機器からMIDIデータを受信する(リモートチャンネルの設定)

リモートチャンネルのナンバーを選択します。設定したチャンネルナンバーで外部からMIDI情報を送信すると、外部MIDIキーボードでPSR-270をリモートコントロールできます。この場合、設定したチャンネルナンバー以外のチャンネルがマルチ音源として使用できます。16チャンネルのマルチ音源として使用する場合は「OFF(オフ)」に設定してください。

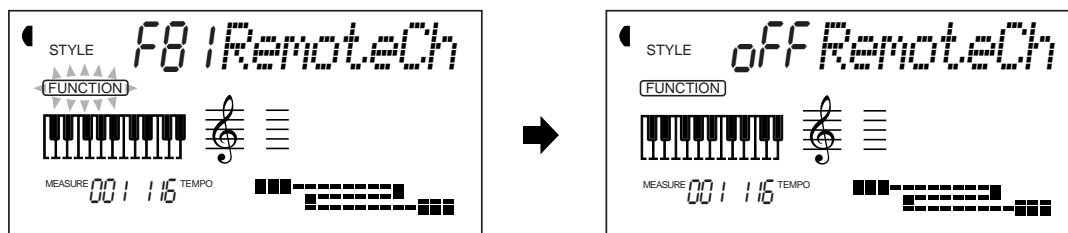
### リモートコントロールできるMIDIデータ

- ・キーオン/オフ
- ・バンクセレクトMSB/LSB\*
- ・プログラムチェンジ\*
- ・モジュレーション
- ・ボリューム
- ・エクスプレッション
- ・サステイン
- ・オールサウンドオフ
- ・オールノートオフ
- ・ピッチベンド

\*印はメインボイスのみ

ファンクション81の設定で、リモートチャンネルを設定できます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



「F81」表示後、現在のリモートチャンネルを表示します。ナンバーボタン、[ + ] [ - ] ボタンでリモートチャンネルを設定します。



工場出荷時は「OFF(オフ)」に設定されています。

## 外部機器へMIDIデータを送信する(キーボードアウト/アカンパニメントアウトの設定)

キーボードアウトは、ボイス(メインボイス、デュアルボイス、スプリットボイス)のパート演奏情報を「送信する/しない」を一括して設定します。

アカンパニメントアウトは、自動伴奏(ベース、コード1/2、パッド、フレーズ1/2、リズム1/2)のパート演奏情報を「送信する/しない」を一括して設定します。

それぞれのパート情報が送信されるチャンネルは固定されています。

### キーボードアウト

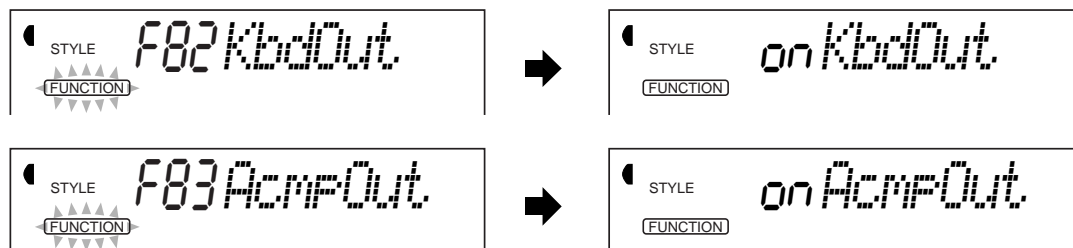
メインボイスパート .....	1チャンネル
スプリットボイスパート .....	2チャンネル
デュアルボイスパート .....	11チャンネル

### アカンパニメントアウト

ベースパート .....	3チャンネル
コード1パート .....	4チャンネル
コード2パート .....	5チャンネル
パッドパート .....	6チャンネル
フレーズ1パート .....	7チャンネル
フレーズ2パート .....	8チャンネル
リズム2パート .....	9チャンネル
リズム1パート .....	10チャンネル

ファンクション82の設定でキーボードアウトを、ファンクション83の設定でアカンパニメントアウトを設定できます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



「F82」、「F83」表示後、現在の送信設定を表示します。[ + ] [ - ] ボタンで「送信する(on)/しない(off)」を設定します。



工場出荷時は、キーボードアウト/アカンパニメントアウト共に「on(オン)」に設定されています。  
ソングモードの時は表示が「---」になり、この設定は行えません。

## ローカルオン/オフを設定する

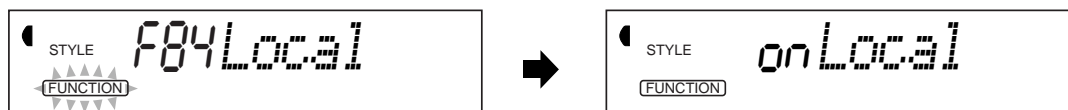
ローカルコントロールのオン/オフを設定します。ローカルコントロールとは、PSR-270の演奏を内部音源で「鳴らす/鳴らさない」という設定です。

ローカルオン( on )..... 本体の演奏は通常通り発音します。また、MIDI INから受信した情報も発音します。

ローカルオフ( off )..... 本体の演奏は発音しません。ただし、MIDI INから受信した情報は発音します。( リモートチャンネルで設定されたチャンネルの情報を除く )

ファンクション84の設定で、ローカルコントロールを設定できます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



「F84」表示後、現在のローカルコントロールの設定を表示します。[ + ] [ - ] ボタンでオン/オフを設定します。



工場出荷時は「on( オン )」に設定されています。

## クロックを設定する

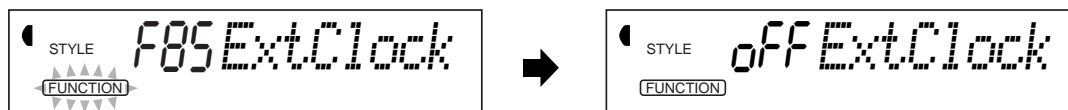
PSR-270を、MIDIケーブルで接続した外部機器のクロックに「同期させる/させない」を設定します。

オフ( off )..... 内部クロックで動作します。

オン( on )..... 外部機器のクロックで動作します。

ファンクション85の設定でクロックを設定できます。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



「F85」表示後、現在のクロック設定を表示します。[ + ] [ - ] ボタンでオン/オフを設定します。



ソングモードにするとクロックは自動的にオフになります。( オンにできません。 )  
工場出荷時は「off( オフ )」に設定されています。

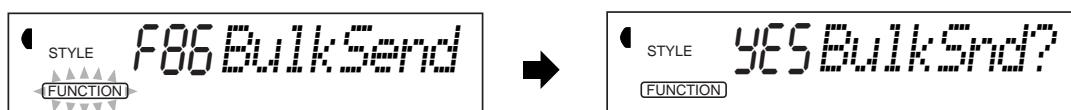
MIDIを使用する時は、STYLEモードにしてください。

## バルクダンプを送信する

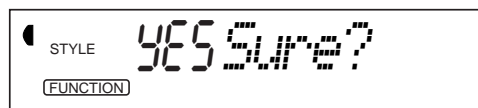
バルクダンプとは、PSR-270のメモリーデータ(ワンタッチセッティング(ユーザー設定)、ユーザーソング、イージー)をMIDI OUTから送信する機能です。バルクダンプ送信を利用すれば、PSR-270のデータをシーケンサーやデータファイラーに記録しておくことができます。

ファンクション86でバルクダンプを送信します。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



「F86 BulkSend」表示後、「YES BulkSnd?」を表示します。YES[ + ]ボタンを押すと「YES Sure?」が表示され、バルクダンプ送信の実行を確認します。



もう一度YES[ + ]ボタンを押すとバルクダンプ送信が実行されます。NO[ - ]ボタンを押すとバルクダンプ送信は実行されません。

バルクダンプの送信中、ディスプレイは「Send:OTS」(ワンタッチセッティングデータ送信中)、「Send:Sng」(ソングデータ送信中)、「Send:Chd」(イージーデータ送信中)を表示します。送信が終了すると、ディスプレイに「End」が表示されます。



バルクダンプ送信を途中で中止する場合は、NO[ - ]ボタンを押してください。ディスプレイに「Cancel」が表示され、送信が中止されます。  
スタイル再生中、ソングモード中、バルクダンプ受信中は、ディスプレイに「--- BulkSnd?」が表示され、バルクダンプ送信は実行できません。

### バルクダンプ受信

もう1台のPSR-270やデータファイラーなどの外部機器からバルクダンプ(エクスクルーシブメッセージ)を受信することができます。受信するとディスプレイに「Rcv:OTS」「Rcv:Sng」「Rcv:Chd」を表示して、ユーザーソング、イージー、ワンタッチセッティングの受信データがPSR-270に記録されます。

受信が終了すると、ディスプレイに「End」を表示します。



バルクダンプ受信時、パネルの操作はできません。  
受信中にエラーが起こると、ディスプレイに「Error」が表示され、受信中だったPSR-270の記録データ(ユーザーソング、イージー、ワンタッチセッティング)が初期化されます。  
スタイル再生中、SONGモード中、イージー録音中、バルクダンプ送信中は、バルクダンプ受信は受けつけません。  
バルクダンプを受信すると、PSR-270のユーザーソング/イージー/ワンタッチセッティングのデータは、受信したデータに変更されます。

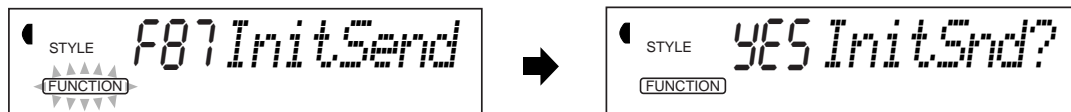
## PSR-270のパネル設定を送信する(イニシャルセンド)

PSR-270のパネル設定を外部機器に送信します。

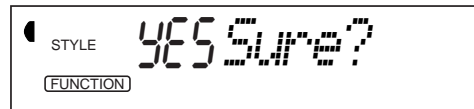
たとえば、PSR-270の演奏を外部シーケンサーに録音する場合は、演奏の前にPSR-270のパネル設定を外部シーケンサーに送信(イニシャルセンド)して、録音します。パネル設定を録音することにより、再生する時に「録音した時のパネル設定」を再現することができます。

ファンクション87でイニシャルセンドを実行します。

ファンクションの選び方( 31ページ参照 )



「F87 InitSend」表示後、「YES InitSnd?」を表示します。YES[ + ]ボタンを押すと「YES Sure?」が表示され、イニシャルセンドの実行を確認します。



もう一度YES[ + ]ボタンを押すとイニシャルセンドが実行されます。NO[ - ]ボタンを押すとイニシャルセンドは実行されません。

データ送信中は、ディスプレイに「Wait (お待ちください)」が表示され、送信が終了すると「End」が表示されます。



直接外部シーケンサーに録音する場合、最初にパネル設定が録音されていないと、演奏が正しく再生されません。

パネル設定データは、トラックごとに設定されている送信チャンネルから送信されます。( 84ページ参照 )

スタイル再生中、SONGモード中、バルクダンプ受信中は、ディスプレイに「--- InitSnd?」が表示され、イニシャルセンドは実行できません。

# ボイスリスト

## 最大同時発音数について

PSR-270の最大同時発音数は32音ですが、デュアルボイスやスプリットボイス、自動伴奏、ソングなどを含めたすべての発音数の合計が32音ということです。したがって、自動伴奏やソングの再生などで発音している分だけ、鍵盤演奏の発音数は減少します。32音以上になると、後着優先で発音します。



リストの「MIDI PRG No.」欄にはMIDIプログラムチェンジナンバー(ボイスナンバー)を掲載します。MIDIを使ってPSR-270のボイスを鳴らす場合は、このプログラムチェンジナンバーを使用してください。

サステインペダル(フットスイッチ)を踏んでいる間に鍵盤から手を離すと、音色によって音が減衰して消えるものと、音が持続して消えないものがあります。

### [ パネルボイスリスト ]

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI PRG No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
ピアノ				
1	0	112	0	Grand Pian(グランドピアノ)
2	0	112	1	Bright Pian(ブライトピアノ)
3	0	112	3	Honky-tonk Pian(ホンキートンクピアノ)
4	0	112	4	Funky Electric Pian(ファンキーエレクトリックピアノ)
5	0	112	5	DX Electric Pian(DXエレクトリックピアノ)
6	0	112	2	MIDI Grand Pian(MIDIグランドピアノ)
7	0	113	2	CP 80
8	0	113	5	Hyper Electric Pian(ハイパーエレクトリックピアノ)
9	0	114	5	Bell Electric Pian(ベルエレクトリックピアノ)
10	0	112	6	Harpischord(ハーブシコード)
11	0	112	7	Clav(クラビ)
12	0	112	8	Celesta(チェレスタ)
ピブラフォン etc.				
13	0	112	11	Vibraphone(ピブラフォン)
14	0	112	12	Marimba(マリンバ)
15	0	112	13	Xylophone(シロフォン)
16	0	112	14	Tubular Bell(チューブラーベル)
17	0	112	47	Timpan(ティンパニ)
18	0	112	114	Steel Drum(スチールドラム)
19	0	112	10	Music Box(ミュージックボックス)
オルガン				
20	0	112	16	Jazz Organ 1(ジャズオルガン1)
21	0	113	16	Jazz Organ 2(ジャズオルガン2)
22	0	112	17	Jazz Organ 3(ジャズオルガン3)
23	0	116	16	Full Organ(フルオルガン)
24	0	114	18	Rock Organ 1(ロックオルガン1)
25	0	112	18	Rock Organ 2(ロックオルガン2)
26	0	118	16	16'+2' Organ(16'+2'オルガン)
27	0	119	16	16'+4' Organ(16'+4'オルガン)
28	0	112	19	Church Organ(チャーチオルガン)
29	0	112	20	Reed Organ(リードオルガン)
30	0	112	21	Musette Accordion(ミュゼットアコーディオン)
31	0	113	21	Traditional Accordion(トラディショナルアコーディオン)
32	0	113	23	Bandoneon(バンドネオン)
ギター				
33	0	112	24	Classical Guita(クラシックギター)
34	0	112	25	Folk Guita(フォークギター)
35	0	113	25	12Strings Guita(12弦ギター)
36	0	112	26	Jazz Guita(ジャズギター)
37	0	113	26	Octave Guita(オクターブギター)
38	0	112	27	Clean Guita(クリーンギター)
39	0	112	28	Muted Guita(ミュートギター)
40	0	112	29	Overdriven Guita(オーバードライブギター)
41	0	112	30	Distortion Guita(ディストーションギター)

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI PRG No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
ベース				
42	0	112	32	Acoustic Bass(アコースティックベース)
43	0	112	33	Finger Bass(フィンガーベース)
44	0	112	34	Pick Bass(ピックベース)
45	0	112	35	Fretless Bass(フレットレスベース)
46	0	112	36	Slap Bass(スラップベース)
47	0	112	38	Synth Bass(シンセベース)
48	0	113	38	Techno Bass(テクノベース)
49	0	113	39	Dance Bass(ダンスベース)
アンサンブル				
50	0	112	48	Strings(ストリングス)
51	0	112	49	Chamber Strings(チェンバーストリングス)
52	0	112	50	Synth Strings(シンセストリングス)
53	0	113	49	Slow Strings(スローストリングス)
54	0	112	44	Tremolo Strings(トレモロストリングス)
55	0	112	45	Pizzicato Strings(ピチカートストリングス)
56	0	112	52	Choir(クワイア)
57	0	113	52	Choir Aahs(クワイアアア)
58	0	112	53	Choir Oohs(クワイアウー)
59	0	112	54	Synth Choir(シンセクワイア)
60	0	112	55	Orchestra Hit(オーケストラヒット)
バイオリン etc.				
61	0	112	40	Violin(バイオリン)
62	0	112	42	Celli(チェロ)
63	0	112	43	Contrabass(コントラバス)
64	0	112	105	Banjo(バンジョー)
65	0	112	46	Harp(ハーブ)
トランペット etc.				
66	0	112	56	Trumpe(トランペット)
67	0	112	59	Muted Trumpe(ミュートトランペット)
68	0	112	57	Trombone(トロンボーン)
69	0	113	57	Trombone Section(トロンボーンセクション)
70	0	112	60	French Horn(フレンチホルン)
71	0	112	58	Tuba(チューバ)
72	0	112	61	Brass Section(ブラスセクション)
73	0	112	62	Synth Brass(シンセブラス)
74	0	113	62	Jump Brass(ジャンプブラス)
75	0	114	62	Techno Brass(テクノブラス)

## [GMボイスリスト]

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI PRG No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
サククス etc.				
76	0	112	64	Soprano Sax( ソプラノサククス )
77	0	112	65	Alto Sax( アルトサククス )
78	0	112	66	Tenor Sax( テナーサククス )
79	0	112	67	Baritone Sax( バリトンサククス )
80	0	112	68	Oboe( オーボエ )
81	0	112	69	English Horn( イングリッシュホルン )
82	0	112	70	Bassoon( バスーン )
83	0	112	71	Clarinet( クラリネット )
84	0	112	22	Harmonica( ハーモニカ )
フルート etc.				
85	0	112	72	Piccolo( ピッコロ )
86	0	112	73	Flute( フルード )
87	0	112	75	Pan Flute( パンフルード )
88	0	112	74	Recorder( リコーダー )
89	0	112	79	Ocarina( オカリナ )
シンセリード				
90	0	112	80	Square Lead( 矩形波リード )
91	0	112	81	Sawtooth Lead( ノコギリ波リード )
92	0	112	85	Voice Lead( ボイスリード )
93	0	112	98	Crystal( クリスタル )
94	0	112	100	Brightness( ブライトネス )
95	0	115	81	Analog Lead( アナログリード )
シンセパッド				
96	0	112	88	Fantasia( ファンタジア )
97	0	113	100	Bell Pad( ベルパッド )
98	0	112	91	Xenon Pad( ゼノンパッド )
99	0	112	94	Angels( エンジェルス )
100	0	113	89	Dark Moor( ダークムーア )
ドラムキット				
101	127	0	0	Standard Kit 1( スタンダードキット1 )
102	127	0	1	Standard Kit 2( スタンダードキット2 )
103	127	0	8	Room Kit( ルームキット )
104	127	0	16	Rock Kit( ロックキット )
105	127	0	24	Electronic Kit( エレクトロニックキット )
106	127	0	25	Analog Kit( アナログキット )
107	127	0	27	Dance Kit( ダンスキット )
108	127	0	32	Jazz Kit( ジャズキット )
109	127	0	40	Brush Kit( ブラッシュキット )
110	127	0	48	Symphony Kit( シンフォニー - キット )

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI PRG No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
ピアノ				
111	0	0	0	Acoustic Grand Piano( グランドピアノ )
112	0	0	1	Bright Acoustic Piano( ブライトピアノ )
113	0	0	2	Electric Grand Piano( エレクトリックグランドピアノ )
114	0	0	3	Honky-tonk Piano( ホンキートンクピアノ )
115	0	0	4	Electric Piano 1( エレクトリックピアノ1 )
116	0	0	5	Electric Piano 2( エレクトリックピアノ2 )
117	0	0	6	Harpsichord( ハープシコード )
118	0	0	7	Clav( クラビ )
ピブラフォン etc.				
119	0	0	8	Celesta( チェレスタ )
120	0	0	9	Glockenspiel( グロックenspiel )
121	0	0	10	Music Box( ミュージックボックス )
122	0	0	11	Vibraphone( ビブラフォン )
123	0	0	12	Marimba( マリンバ )
124	0	0	13	Xylophone( シロフォン )
125	0	0	14	Tubular Bell( チューブラーベル )
126	0	0	15	Dulcimer( ダルシマー )
オルガン				
127	0	0	16	Drawbar Organ( ドローバーオルガン )
128	0	0	17	Percussive Organ( パーカッシブオルガン )
129	0	0	18	Rock Organ( ロックオルガン )
130	0	0	19	Church Organ( チャーチオルガン )
131	0	0	20	Reed Organ( リードオルガン )
132	0	0	21	Accordion( アコーディオン )
133	0	0	22	Harmonica( ハーモニカ )
134	0	0	23	Tango Accordion( タンゴアコーディオン )
ギター				
135	0	0	24	Acoustic Guitar (nylon)( ガットギター )
136	0	0	25	Acoustic Guitar (steel)( フォークギター )
137	0	0	26	Electric Guitar (jazz)( ジャズギター )
138	0	0	27	Electric Guitar (clean)( クリーンギター )
139	0	0	28	Electric Guitar (muted)( ミュートギター )
140	0	0	29	Overdriven Guitar( オーバードライブギター )
141	0	0	30	Distortion Guitar( ディストーションギター )
142	0	0	31	Guitar Harmonics( ギターハーモニクス )
ベース				
143	0	0	32	Acoustic Bass( アコースティックベース )
144	0	0	33	Electric Bass (finger)( フィンガーベース )
145	0	0	34	Electric Bass (pick)( ピックベース )
146	0	0	35	Fretless Bass( フレットレスベース )
147	0	0	36	Slap Bass 1( スラップベース1 )
148	0	0	37	Slap Bass 2( スラップベース2 )
149	0	0	38	Synth Bass 1( シンセベース1 )
150	0	0	39	Synth Bass 2( シンセベース2 )
バイオリン etc.				
151	0	0	40	Violin( バイオリン )
152	0	0	41	Viola( ビオラ )
153	0	0	42	Cell( チェロ )
154	0	0	43	Contrabass( コントラバス )
155	0	0	44	Tremolo Strings( トレモロストリングス )
156	0	0	45	Pizzicato Strings( ピチカートストリングス )
157	0	0	46	Orchestral Harp( ハープ )
158	0	0	47	Timpan( ティンパニ )



# ボイスリスト

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI PRG No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
アンサンブル				
159	0	0	48	Strings Ensemble 1( ストリングスアンサンブル1 )
160	0	0	49	Strings Ensemble 2( ストリングスアンサンブル2 )
161	0	0	50	Synth Strings 1( シンセストリングス1 )
162	0	0	51	Synth Strings 2( シンセストリングス2 )
163	0	0	52	Choir Aahs( クワイア アー )
164	0	0	53	Voice Oohs( ボイス ウー )
165	0	0	54	Synth Voice( シンセボイス )
166	0	0	55	Orchestra Hit( オーケストラヒット )
トランペット etc.				
167	0	0	56	Trumpet( トランペット )
168	0	0	57	Trombone( トロンボーン )
169	0	0	58	Tuba( チューバ )
170	0	0	59	Muted Trumpet( ミュートトランペット )
171	0	0	60	French Horn( フレンチホルン )
172	0	0	61	Brass Section( ブラスセクション )
173	0	0	62	Synth Brass 1( シンセブラス1 )
174	0	0	63	Synth Brass 2( シンセブラス2 )
サクソ etc.				
175	0	0	64	Soprano Sax( ソプラノサクソ )
176	0	0	65	Alto Sax( アルトサクソ )
177	0	0	66	Tenor Sax( テナーサクソ )
178	0	0	67	Baritone Sax( バリトンサクソ )
179	0	0	68	Oboe( オーボエ )
180	0	0	69	English Horn( イングリッシュホルン )
181	0	0	70	Bassoon( バスーン )
182	0	0	71	Clarinet( クラリネット )
フルート etc.				
183	0	0	72	Piccolo( ピッコロ )
184	0	0	73	Flute( フルード )
185	0	0	74	Recorder( リコーダー )
186	0	0	75	Pan Flute( パンフルード )
187	0	0	76	Blown Bottle( ボトル )
188	0	0	77	Shakuhachi( 尺八 )
189	0	0	78	Whistle(ホイッスル)
190	0	0	79	Ocarina( オカリナ )
シンセリード				
191	0	0	80	Lead 1 (square)( 矩形波リード )
192	0	0	81	Lead 2 (sawtooth)( ノコギリ波リード )
193	0	0	82	Lead 3 (calliope)( カリオベリード )
194	0	0	83	Lead 4 (chiff)( チフリード )
195	0	0	84	Lead 5 (charang)( チャランリード )
196	0	0	85	Lead 6 (voice)( ボイスリード )
197	0	0	86	Lead 7 (fifth)( 5度リード )
198	0	0	87	Lead 8 (bass+Lead)( ベース&リード )

ボイス No.	バンクセレクト		MIDI PRG No.	ボイスネーム
	MSB No.	LSB No.		
シンセパッド				
199	0	0	88	Pad 1 (new age)( ニューエイジパッド )
200	0	0	89	Pad 2 (warm)( ウォ - ムパッド )
201	0	0	90	Pad 3 (polysynth)( ポリシンセパッド )
202	0	0	91	Pad 4 (choir)( クワイアパッド )
203	0	0	92	Pad 5 (bowed)( ボウドパッド )
204	0	0	93	Pad 6 (metallic)( メタリックパッド )
205	0	0	94	Pad 7 (halo)( ヘイロパッド )
206	0	0	95	Pad 8 (sweep)( スイープパッド )
シンセエフェクト				
207	0	0	96	FX 1 (rain)( 雨 )
208	0	0	97	FX 2 (soundtrack)( サウンドトラック )
209	0	0	98	FX 3 (crystal)( クリスタル )
210	0	0	99	FX 4 (atmosphere)( アトモスフィア )
211	0	0	100	FX 5 (brightness)( ブライトネス )
212	0	0	101	FX 6 (goblins)( ゴブリン )
213	0	0	102	FX 7 (echoes)( エコー )
214	0	0	103	FX 8 (sci-fi)( サイエンスフィクション )
エスニック				
215	0	0	104	Sitar( シタール )
216	0	0	105	Banj( バンジョー )
217	0	0	106	Shamisen( 三味線 )
218	0	0	107	Koto( 琴 )
219	0	0	108	Kalimba( カリンバ )
220	0	0	109	Bagpipe( バグパイプ )
221	0	0	110	Fiddle( フィドル )
222	0	0	111	Shana( シャナイ )
パーカッション				
223	0	0	112	Tinkle Bell( ティンクルベル )
224	0	0	113	Agogo( アゴゴ )
225	0	0	114	Steel Drums( スチールドラム )
226	0	0	115	Woodblock( ウッドブロック )
227	0	0	116	Taiko Drum( 和太鼓 )
228	0	0	117	Melodic Tom( メロディックタム )
229	0	0	118	Synth Drum( シンセドラム )
230	0	0	119	Reverse Cymbal( リバースシンバル )
サウンドエフェクト				
231	0	0	120	Guitar Fret Noise( フレットノイズ )
232	0	0	121	Breath Noise( ブレスノイズ )
233	0	0	122	Seashore( 海辺 )
234	0	0	123	Bird Tweak( 鳥のさえずり )
235	0	0	124	Telephone Ring( 電話のベル )
236	0	0	125	Helicopter( ヘリコプター )
237	0	0	126	Applause( 拍手 )
238	0	0	127	Gunshot( 銃声 )

# スタイルリスト

スタイル No.	スタイルネーム	スタイル No.	スタイルネーム
8ビート		トラディショナルジャズ	
001	8Beat Pop 1( 8ビートポップ 1 )	051	Swing( スイング )
002	8Beat Pop 2( 8ビートポップ 2 )	052	Big Band Swing( ビッグバンドスイング )
003	8Beat Uptemp( 8ビートアップテンポ )	053	Big Band Ballad( ビッグバンドバラード )
004	8Beat Standard( 8ビートスタンダード )	054	Jazz Quartet( ジャズカルテット )
005	Folkrock( フォークロック )	055	Dixieland( デキシーランド )
006	Pop Rock( ポップロック )	アメリカズ	
007	8Beat Medium( 8ビートミディアム )	056	Cajun( ケイジャン )
008	8Beat Ballad( 8ビートバラード )	057	Band( バンダ )
009	Epic Ballad( エピックバラード )	058	Mariachi( マリアッチ )
010	Piano Ballad( ピアノバラード )	059	Tejano( テジャノ )
16ビート		060	Cumbia( クンビア )
011	16Beat Shuffle 1( 16ビートシャッフル 1 )	カントリー & ウェスタン	
012	16Beat Shuffle 2( 16ビートシャッフル 2 )	061	Bluegrass( ブルーグラス )
013	16Beat Pop( 16ビートポップ )	062	Country 2/4( カントリー-2/4 )
014	Funk 1( ファンク 1 )	063	Country Rock( カントリーロック )
015	16Beat Ballad 1( 16ビートバラード 1 )	064	Country Ballad( カントリーバラード )
016	16Beat Ballad 2( 16ビートバラード 2 )	065	Country Shuffle( カントリーシャッフル )
017	Soul Ballad( ソウルバラード )	066	Country Waltz( カントリーワルツ )
6/8バラード		ボールルームラテン	
018	Slow Rock 1( スローロック 1 )	067	Cha Cha( チャチャチャ )
019	Slow Rock 2( スローロック 2 )	068	Rhumba( ルンバ )
020	6/8 Ballad( 6/8バラード )	069	Pasodoble( パソドブレ )
ダンス		070	Tango Continental( タンゴ )
021	Dance Pop 1( ダンスポップ 1 )	ボールルームスタンダード	
022	Dance Pop 2( ダンスポップ 2 )	071	Foxtrot( フォックストロット )
023	Techno( テクノ )	072	Jive( ジャイブ )
024	Eurobeat( ユーロビート )	マーチ & ワルツ	
025	Euro House( ユーロハウス )	073	March 1( マーチ 1 )
026	Hip Hop( ヒップホップ )	074	March 2( マーチ 2 )
027	Synth Boogie( シンセブギ )	075	6/8 March( 6/8マーチ )
ディスコ		076	Polka( ポルカ )
028	70s Disco( 70Sディスコ )	077	Standard Waltz( スタンダードワルツ )
029	Disco Tropical( ディスコトロピカル )	078	German Waltz( ジャーマンワルツ )
030	Polka Pop( ポルカポップ )	079	Viennese Waltz( ウィンナワルツ )
ロック		080	Musette Waltz( ミュゼットワルツ )
031	8Beat Rock Ballad( 8ビートロックバラード )	ラテン	
032	16Beat Rock Ballad( 16ビートロックバラード )	081	Bossa Nova 1( ボサノバ 1 )
033	Hard Rock( ハードロック )	082	Bossa Nova 2( ボサノバ 2 )
034	Rock Shuffle( ロックシャッフル )	083	Salsa( サルサ )
035	6/8 Heavy Rock( 6/8ヘビーロック )	084	Samba( サンバ )
036	US Rock( USロック )	085	Mambo( マンボ )
ロックンロール		086	Beguine( ビギン )
037	Rock & Roll 1( ロックンロール 1 )	087	Merengue( メレンゲ )
038	Rock & Roll 2( ロックンロール 2 )	088	Bolero Lento( ボレロレント )
039	Boogie( ブギ )	カリビアン	
040	Twist( ツイスト )	089	Reggae 1( レゲエ )
リズム & ブルース		090	Pop Reggae( ポップレゲエ )
041	R&B( リズム & ブルース )	ピアニスト	
042	Funk 2( ファンク 2 )	091	Rock-A-Ballad( ロッカバラード )
043	Soul( ソウル )	092	8Beat( 8ビート )
044	Gospel Shuffle( ゴスペルシャッフル )	093	Swing( スイング )
045	6/8 Gospel( 6/8ゴスペル )	094	Jazz Ballad( ジャズバラード )
046	4/4 Blues( 4/4ブルース )	095	2Beat( 2ビート )
コンテンポラリージャズ		096	Boogie( ブギ )
047	Cool Jazz( クールジャズ )	097	Ragtime( ラグタイム )
048	Jazz Ballad( ジャズバラード )	098	Arpeggio( アルペジオ )
049	Jazz Waltz( ジャズワルツ )	099	Waltz( ワルツ )
050	Fusion( フュージョン )	100	Happy( ハッピー )

# ドラムキットリスト

← は「スタンダードキット1」と同じ内容であることを表します。

各パーカッション音の使用発音数は1です。

PSR-270の鍵盤(Keyboard)のNote#とNoteは、MIDIのNote#とNoteよりも1オクターブ上になります。たとえば、スタンダードキット1の「シーククリックH (MIDI Note# 24/Note C0)」をPSR-270の鍵盤で鳴らす場合は、Note# 36/Note C1を押さえます。

オルタネートナンバー1~4が同じものは、同時に鳴らすことはできません。

「Key off」の欄に 印が付いているボイスは、鍵盤を離すとすぐに鳴り止みます(キーオフされます)。

Voice#		101	102	103	104	105		
Bank MSB#		127	127	127	127	127		
Bank LSB#		0	0	0	0	0		
Program Change#		0	1	8	16	24		
Keyboard	MIDI	Key off	Alternate assign	スタンダードキット1	スタンダードキット2	ルームキット	ロックキット	エレクトロニックキット
25	C# 0	13	C# -1	3	スルド ミュート	←	←	←
26	D 0	14	D -1	3	スルド オープン	←	←	←
27	D# 0	15	D# -1		ハイ キュー	←	←	←
28	E 0	16	E -1		ホイップ	←	←	←
29	F 0	17	F -1	4	スクラッチ H	←	←	←
30	F# 0	18	F# -1	4	スクラッチ L	←	←	←
31	G 0	19	G -1		フィンガー スナップ	←	←	←
32	G# 0	20	G# -1		クリック	←	←	←
33	A 0	21	A -1		メトロノーム クリック	←	←	←
34	A# 0	22	A# -1		メトロノーム ベル	←	←	←
35	B 0	23	B -1		シーク クリックL	←	←	←
36	C 1	24	C 0		シーク クリックH	←	←	←
37	C# 1	25	C# 0		ブラッシュ タップ	←	←	←
38	D 1	26	D 0	O	ブラッシュ スワール	←	←	←
39	D# 1	27	D# 0		ブラッシュ スラップ	←	←	←
40	E 1	28	E 0	O	ブラッシュ スワール アタック付	←	←	リバーシシバル
41	F 1	29	F 0	O	スネア ロール	←	←	←
42	F# 1	30	F# 0		カスターネット	←	←	ハイキュー
43	G 1	31	G 0		スネア H ソフト	スネア H ソフト2	←	スネア エレクトロニック M
44	G# 1	32	G# 0		スティック	←	←	←
45	A 1	33	A 0		バスドラム L	バスドラム L2	←	バスドラム H
46	A# 1	34	A# 0		オープンリム ショット	オープンリム ショット2	←	←
47	B 1	35	B 0		バスドラム M	←	←	バスドラム ロック
48	C 2	36	C 1		バスドラム H	バスドラム H2	←	バスドラム ロック
49	C# 2	37	C# 1		サイドスティック	←	←	←
50	D 2	38	D 1		スネア L	スネア L2	スネア ルーム L	スネア ロック
51	D# 2	39	D# 1		ハンドクラップ	←	←	スネア エレクトロニック M
52	E 2	40	E 1		スネア H ハード	スネア H ハード2	スネア ルーム H	スネア ロック リム
53	F 2	41	F 1		フロアタム L	←	ルーム タム1	スネア エレクトロニック H
54	F# 2	42	F# 1	1	ハイハット クローズ	←	←	エレクトロニック タム1
55	G 2	43	G 1		フロアタム H	←	ルーム タム2	←
56	G# 2	44	G# 1	1	ハイハット ベダル	←	←	エレクトロニック タム2
57	A 2	45	A 1		ロータム	←	ルーム タム3	←
58	A# 2	46	A# 1	1	ハイハット オープン	←	←	エレクトロニック タム3
59	B 2	47	B 1		ミッドタム L	←	ルーム タム4	←
60	C 3	48	C 2		ミッドタム H	←	ルーム タム5	←
61	C# 3	49	C# 2		クラッシュ シンバル1	←	←	エレクトロニック タム4
62	D 3	50	D 2		ハイタム	←	ルーム タム6	←
63	D# 3	51	D# 2		ライド シンバル1	←	←	エレクトロニック タム5
64	E 3	52	E 2		チャイニーズ シンバル	←	←	←
65	F 3	53	F 2		ライド シンバル カップ	←	←	←
66	F# 3	54	F# 2		タンバリン	←	←	←
67	G 3	55	G 2		スブラッシュ シンバル	←	←	←
68	G# 3	56	G# 2		カウベル	←	←	←
69	A 3	57	A 2		クラッシュ シンバル2	←	←	←
70	A# 3	58	A# 2		ビブラスラップ	←	←	←
71	B 3	59	B 2		ライド シンバル2	←	←	←
72	C 4	60	C 3		ボンゴ H	←	←	←
73	C# 4	61	C# 3		ボンゴ L	←	←	←
74	D 4	62	D 3		コンガ H ミュート	←	←	←
75	D# 4	63	D# 3		コンガ H オープン	←	←	←
76	E 4	64	E 3		コンガ L	←	←	←
77	F 4	65	F 3		ティンパレス H	←	←	←
78	F# 4	66	F# 3		ティンパレス L	←	←	←
79	G 4	67	G 3		アゴゴ H	←	←	←
80	G# 4	68	G# 3		アゴゴ L	←	←	←
81	A 4	69	A 3		カバサ	←	←	←
82	A# 4	70	A# 3		マラカス	←	←	←
83	B 4	71	B 3	O	サンバホイッスル H	←	←	←
84	C 5	72	C 4	O	サンバホイッスル L	←	←	←
85	C# 5	73	C# 4		ギロ ショート	←	←	←
86	D 5	74	D 4	O	ギロ ロング	←	←	←
87	D# 5	75	D# 4		クラベス	←	←	←
88	E 5	76	E 4		ウッドブロック H	←	←	←
89	F 5	77	F 4		ウッドブロック L	←	←	←
90	F# 5	78	F# 4		クイ - カ ミュート	←	←	スクラッチ プッシュ
91	G 5	79	G 4		クイ - カ オープン	←	←	スクラッチ プル
92	G# 5	80	G# 4	2	トライアングル ミュート	←	←	←
93	A 5	81	A 4	2	トライアングル オープン	←	←	←
94	A# 5	82	A# 4		シェイカー	←	←	←
95	B 5	83	B 4		ジングルベル	←	←	←
96	C 6	84	C 5		ベルツリー	←	←	←

ドラムキットリスト

Voice#		106		107		108		109		110	
Bank MSB#		127		127		127		127		127	
Bank LSB#		0		0		0		0		0	
Program Change#		25		27		32		40		48	
Keyboard	MIDI	Key off	Alternate assign	アナログキット	ダンスキット	ジャズキット	ブラッシュキット	シンフォニ - キット			
25	C# 0	13	C# -1		3	<---	<---	<---	<---	<---	<---
26	D 0	14	D -1		3	<---	<---	<---	<---	<---	<---
27	D# 0	15	D# -1			<---	<---	<---	<---	<---	<---
28	E 0	16	E -1			<---	<---	<---	<---	<---	<---
29	F 0	17	F -1		4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
30	F# 0	18	F# -1		4	<---	<---	<---	<---	<---	<---
31	G 0	19	G -1			<---	<---	<---	<---	<---	<---
32	G# 0	20	G# -1			<---	<---	<---	<---	<---	<---
33	A 0	21	A -1			<---	<---	<---	<---	<---	<---
34	A# 0	22	A# -1			<---	<---	<---	<---	<---	<---
35	B 0	23	B -1			<---	<---	<---	<---	<---	<---
36	C 1	24	C 0			<---	<---	<---	<---	<---	<---
37	C# 1	25	C# 0			<---	<---	<---	<---	<---	<---
38	D 1	26	D 0	O		<---	<---	<---	<---	<---	<---
39	D# 1	27	D# 0			<---	<---	<---	<---	<---	<---
40	E 1	28	E 0	O		リバースシンバル	リバースシンバル	<---	<---	<---	<---
41	F 1	29	F 0	O		<---	<---	<---	<---	<---	<---
42	F# 1	30	F# 0			ハイキュー	ハイキュー	<---	<---	<---	<---
43	G 1	31	G 0			スネア エレクトロニック H2	スネア アナログ2	<---	ブラッシュ スラップ ロー	<---	<---
44	G# 1	32	G# 0			<---	<---	<---	<---	<---	<---
45	A 1	33	A 0			バスドラム H	バスドラム アナログ2	<---	<---	<---	バスドラム L3
46	A# 1	34	A# 0			<---	スネア アナログ オープンリム	<---	<---	<---	<---
47	B 1	35	B 0			バスドラム アナログ 1L	バスドラム アナログ3	<---	<---	<---	グランカーサ
48	C 2	36	C 1			バスドラム アナログ 1H	バスドラム アナログ4	バスドラム ジャズ	バスドラム ジャズ	バスドラム ジャズ	グランカーサ ミュート
49	C# 2	37	C# 1			アナログサイドスティック	アナログサイドスティック	<---	<---	<---	<---
50	D 2	38	D 1			スネア アナログ 1H	スネア アナログ3	スネア ジャズ L	ブラッシュ スラップ ハイ	マーチング スネア M	<---
51	D# 2	39	D# 1			<---	<---	<---	<---	<---	<---
52	E 2	40	E 1			スネア アナログ 1L	スネア アナログ4	スネア ジャズ H	ブラッシュ タップ	マーチング スネア H	<---
53	F 2	41	F 1			アナログ タム1	アナログ タム1	ジャズ タム1	ブラッシュ タム1	ジャズ タム1	<---
54	F# 2	42	F# 1	1		アナログハイハット クロ - ス1	ダンスハイハット クロ - ス1	<---	<---	<---	<---
55	G 2	43	G 1			アナログ タム2	アナログ タム2	ジャズ タム2	ブラッシュ タム2	ジャズ タム2	<---
56	G# 2	44	G# 1	1		アナログハイハット クロ - ス2	ダンスハイハット クロ - ス2	<---	<---	<---	<---
57	A 2	45	A 1			アナログ タム3	アナログ タム3	ジャズ タム3	ブラッシュ タム3	ジャズ タム3	<---
58	A# 2	46	A# 1	1		アナログハイハット1 オープン	ハイハット オープン2	<---	<---	<---	<---
59	B 2	47	B 1			アナログ タム4	アナログ タム4	ジャズ タム4	ブラッシュ タム4	ジャズ タム4	<---
60	C 3	48	C 2			アナログ タム5	アナログ タム5	ジャズ タム5	ブラッシュ タム5	ジャズ タム5	<---
61	C# 3	49	C# 2			アナログ シンバル	アナログ シンバル	<---	<---	<---	ハンドシンバル L オープン
62	D 3	50	D 2			アナログ タム6	アナログ タム6	ジャズ タム6	ブラッシュ タム6	ジャズ タム6	<---
63	D# 3	51	D# 2			<---	<---	<---	<---	<---	ハンドシンバル L クローズ
64	E 3	52	E 2			<---	<---	<---	<---	<---	<---
65	F 3	53	F 2			<---	<---	<---	<---	<---	<---
66	F# 3	54	F# 2			<---	<---	<---	<---	<---	<---
67	G 3	55	G 2			<---	<---	<---	<---	<---	<---
68	G# 3	56	G# 2			アナログ カウベル	アナログ カウベル	<---	<---	<---	<---
69	A 3	57	A 2			<---	<---	<---	<---	<---	ハンドシンバル H オープン
70	A# 3	58	A# 2			<---	<---	<---	<---	<---	<---
71	B 3	59	B 2			<---	<---	<---	<---	<---	ハンドシンバル H オープン
72	C 4	60	C 3			<---	<---	<---	<---	<---	<---
73	C# 4	61	C# 3			<---	<---	<---	<---	<---	<---
74	D 4	62	D 3			アナログ コンガ H	アナログ コンガ H	<---	<---	<---	<---
75	D# 4	63	D# 3			アナログ コンガ M	アナログ コンガ M	<---	<---	<---	<---
76	E 4	64	E 3			アナログ コンガ L	アナログ コンガ L	<---	<---	<---	<---
77	F 4	65	F 3			<---	<---	<---	<---	<---	<---
78	F# 4	66	F# 3			<---	<---	<---	<---	<---	<---
79	G 4	67	G 3			<---	<---	<---	<---	<---	<---
80	G# 4	68	G# 3			<---	<---	<---	<---	<---	<---
81	A 4	69	A 3			<---	<---	<---	<---	<---	<---
82	A# 4	70	A# 3			アナログ マラカス	アナログ マラカス	<---	<---	<---	<---
83	B 4	71	B 3	O		<---	<---	<---	<---	<---	<---
84	C 5	72	C 4	O		<---	<---	<---	<---	<---	<---
85	C# 5	73	C# 4			<---	<---	<---	<---	<---	<---
86	D 5	74	D 4	O		<---	<---	<---	<---	<---	<---
87	D# 5	75	D# 4			アナログ クラベス	アナログ クラベス	<---	<---	<---	<---
88	E 5	76	E 4			<---	<---	<---	<---	<---	<---
89	F 5	77	F 4			<---	<---	<---	<---	<---	<---
90	F# 5	78	F# 4			スクラッチ ブッシュ	スクラッチ ブッシュ	<---	<---	<---	<---
91	G 5	79	G 4			スクラッチ ブル	スクラッチ ブル	<---	<---	<---	<---
92	G# 5	80	G# 4		2	<---	<---	<---	<---	<---	<---
93	A 5	81	A 4		2	<---	<---	<---	<---	<---	<---
94	A# 5	82	A# 4			<---	<---	<---	<---	<---	<---
95	B 5	83	B 4			<---	<---	<---	<---	<---	<---
96	C 6	84	C 5			<---	<---	<---	<---	<---	<---

# エフェクトタイプリスト

## リバーブタイプリスト

ナンバー	タイプ	解説
1~2	Hall1~2(ホール1~2)	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
3~4	Room1~2(ルーム1~2)	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
5~6	Stage1~2(ステージ1~2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
7~8	Plate1~2(プレート1~2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
9	Off(オフ)	リバーブエフェクトはかかりません。






















## コーラスタイプリスト

ナンバー	タイプ	解説
1~2	Chorus1~2(コーラス1~2)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
3~4	Flanger1~2(フランジャー1~2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
5	Off(オフ)	コーラスエフェクトはかかりません。

## DSPタイプリスト

ナンバー	タイプ	解説
01~02	Hall1~2(ホール1~2)	ホールで弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
03~04	Room1~2(ルーム1~2)	部屋で弾いた時のようなリバーブ(残響)がかかります。
05~06	Stage1~2(ステージ1~2)	ソロ楽器に適したリバーブです。
07~08	Plate1~2(プレート1~2)	鉄板の持つ響きが得られるリバーブです。
09~10	Early Reflection1~2(アーリーリフレクション1~2)	リバーブの初期反射音のみ取り出したエフェクトです。
11	Gate Reverb(ゲートリバーブ)	ゲートリバーブをシミュレートしたものです。
12	Reverse Gate(リバースゲート)	ゲートリバーブの逆再生をシミュレートしたものです。
13~14	Chorus1~2(コーラス1~2)	音が自然に広がるコーラス効果がかかります。
15~16	Flanger1~2(フランジャー1~2)	ジェットサウンドを作り出す効果です。
17	Symphonic(シンフォニック)	音にうねりと広がりを与える効果です。
18	Phase(フェイザー)	位相(フェイズ)を周期的に変化させ、音にうねりを持たせます。
19~20	Rotary Speaker1~2(ロータリースピーカー1~2)	回転スピーカーをシミュレートした効果です。
21~22	Tremolo1~2(トレモロ1~2)	音量を周期的に変化させて音の揺れを作り出す効果です。
23	Guitar Tremolo(ギタートレモロ[トレモロ3])	エレクトリックギターのトレモロをシミュレートしたものです。
24	Auto Pan(オートパン)	音の定位を左右、前後に周期的に移動させるプログラムです。
25	Auto Wah(オートワウ)	ワウフィルターの中心周波数を周期的に変化させます。
26	Delay L, C, R(ディレイL, C, R)	Left, Center, Rightの3本のディレイ音を発生するプログラムです。
27	Delay L, R(ディレイL, R)	Left, Rightの2本のディレイ音を発生するプログラムです。2本のフィードバックディレイを持っています。
28	Echo(エコー)	Left, Rightの2本のディレイと、Left, Right独立のフィードバックディレイを持っています。
29	Cross Delay(クロスディレイ)	2本のディレイのフィードバックディレイをクロスさせたプログラムです。
30	Distortion Hard(ディストーションハード)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ハード)
31	Distortion Soft(ディストーションソフト)	音にエッジの効いた歪みを与えます。(ソフト)
32	EQ Disc(イコライザーディスコ)	オーディオ信号の周波数の上下を強調したディスコ風のエフェクト効果が得られません。
33	EQ Telephone(イコライザーテレフォン)	オーディオ信号の周波数の上下をカットした電話のようなエフェクト効果が得られません。
34	Off(オフ)	DSPエフェクトはかかりません。

## ハーモニータイプリスト

ナンバー	タイプ	解説	
01	Due(デュエット)	メロディに音が重なり、二声になります。	
02	Tri(トリオ)	メロディに、メロディより下の二つの付加音が重なり三声になります。	
03	Block(ブロック)	メロディ音に近い音域の三つのハーモニー音が加わることで、四声のコード音になります。	
04	Country(カントリー)	デュエットのように、メロディに音が重なりますが、この付加音はメロディ音よりも上の音程になります。	
05	Octave(オクターブ)	メロディに1オクターブ下の音が付加されます。	
06	Trill 1/4(トリル1/4)		2つの音を押さえると、それぞれの音が交互に、選ばれたスピードで繰り返し発音します。
07	Trill 1/6(トリル1/6)		
08	Trill 1/8(トリル1/8)		
09	Trill 1/12(トリル1/12)		
10	Trill 1/16(トリル1/16)		
11	Trill 1/24(トリル1/24)		
12	Trill 1/32(トリル1/32)		
13	Tremolo 1/4(トレモロ1/4)		メロディに選ばれたスピードのトレモロ効果がかかります。
14	Tremolo 1/6(トレモロ1/6)		
15	Tremolo 1/8(トレモロ1/8)		
16	Tremolo 1/12(トレモロ1/12)		
17	Tremolo 1/16(トレモロ1/16)		
18	Tremolo 1/24(トレモロ1/24)		
19	Tremolo 1/32(トレモロ1/32)		
20	Echo 1/4(エコー1/4)		メロディに選ばれたスピードのエコー(こだま)効果がかかります。
21	Echo 1/6(エコー1/6)		
22	Echo 1/8(エコー1/8)		
23	Echo 1/12(エコー1/12)		
24	Echo 1/16(エコー1/16)		
25	Echo 1/24(エコー1/24)		
26	Echo 1/32(エコー1/32)		

# MIDIインプリメンテーションチャート

[ポータブルキーボード]  
Model: PSR-270

## MIDI インプリメンテーションチャート

Date: 1998.12. 7  
Version: 1.0

ファンクション	送信	受信	備考	
ベーシック チャンネル	電源ON 設定可能	1 ~ 16チャンネル 1 ~ 16チャンネル	1 ~ 16チャンネル 1 ~ 16チャンネル	1 1
モード	電源ON メッセージ 代用	モード3 X *****	モード3 X X	
ノート ナンバー	音域	0 ~ 127 *****	0 ~ 127 0 ~ 127	
ベロシティー	ノートオン ノートオフ	0 9nH, v=1 ~ 127 0 9nH, v=0	0 9nH, v=1 ~ 127 0 9nH, v=0 or 8nH	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	X X	X X	
ピッチベンダー		X	O	
コントロール	0, 32 1 7, 10 11 6, 38 64 84 91, 93, 94 96, 97 100, 101 120 121	O X O X X O X O X X X X	O O O O O O O O O O O O	バンクセレクト モジュレーション  エクスプレッション データエントリー サステイン ポルタメント コントロール エフェクトデプス データ インクリメント、デクリメント RPN LSB, MSB オールサウンド オフ リセット オール コントローラー
プログラム チェンジ	設定可能範囲	O ***** 0 ~ 127	O 0 ~ 127	
エクスクルーシブ		O 3	O 3	
コモン	ソング ポジション ソング セレクト チューン	X X X	X X X	
リアル	クロック コマンド	O O 5	O O 5	4 5
その他	ローカル ON/OFF オール ノート オフ アクティブ センス リセット	X X O X	X O ( 123 ~ 127 ) O X	

モード1: オムニ オン、ポリ  
モード3: オムニ オフ、ポリ

モード2: オムニ オン、モノ  
モード4: オムニ オフ、モノ

: あり  
x: なし



1 デフォルト(工場出荷時)は、MIDI入力は16チャンネルのマルチティンバー音源として機能し、パネル音色やパネル設定に影響しません。ただし、以下のMIDIメッセージはパネル音色、オートアカンパニメント、およびソングに影響します。

- ・ MIDI マスターチューン
- ・ リバース、コーラス、DSPの各タイプを変更するシステムエクスクルーシブメッセージ

パネル設定(F81)によりリモートチャンネルの設定が可能です。設定されたチャンネルで受信するチャンネルメッセージは、本体の鍵盤をオン/オフした場合と同様に扱われます。このモードに設定したチャンネルでは以下のメッセージを受信しません。これ以外は受信しません。

- ・ ノートオン
- ・ ノートオフ
- ・ コントロールチェンジ
  - バンクセレクト(メインボイスのみ)
  - モジュレーション
  - ボリューム
  - エクスプレッション
  - サステイン
  - オールサウンドオフ
  - オールノートオフ
  - プログラムチェンジ(メインボイスのみ)
  - ピッチベンド

2 これらのコントロールチェンジは、パネル操作によっては送信されないが、アカンパニメントまたはハーモニー演奏中に送信されることがある。

### 3 エクスクルーシブ

< GMシステムオン >

F0H, 7EH, 7FH, 09H, 01H, F7H

- ・ MIDIマスターチューニングを除くすべてのデータの設定値をデフォルトに戻します。

< MIDIマスターボリューム >

F0H, 7FH, 7FH, 04H, 01H, 02H, 03H, F7H

- ・ 全チャンネルの音量を一度に変えるメッセージです。(ユニバーサルシステムエクスクルーシブ)
- ・ mmの値をMIDIマスターボリューム値として用います。(0は無視)

< MIDIマスターチューニング >

F0H, 43H, 1nH, 27H, 30H, 00H, 00H, mm, 02H, cc, F7H

- ・ 全チャンネルの音程を一度に変えるメッセージです。
- ・ mm, 02Hの値をMIDIマスターチューニング値として用います。
- ・ mm, 02Hのデフォルトは08H, 00Hです。また、nおよびccの値は任意です。

< バルクダンプ >

- ・ 録音データ(ユーザーソング、ユーザーワンタッチセッティング、イージー)が対象です。

< 内部クロック/外部クロック >(受信のみ)

F0H, 43H, 73H, 01H, 02H, F7H(内部クロック)

F0H, 43H, 73H, 01H, 03H, F7H(外部クロック)

- ・ アカンパニメントのクロック設定をコントロールします。

< リバースタイプ >

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 00H, 02H, mmH, F7H

- ・ 02H: リバースタイプMSB
- ・ mm: リバースタイプLSB

詳細はエフェクトマップ(98ページ)を参照してください。

< コーラスタイプ >

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 20H, 02H, mmH, F7H

- ・ 02H: コーラスタイプMSB
- ・ mm: コーラスタイプLSB

詳細はエフェクトマップ(98ページ)を参照してください。

< DSPタイプ >

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 02H, 01H, 40H, 02H, mmH, F7H

- ・ 02H: DSPタイプMSB
- ・ mm: DSPタイプLSB

詳細はエフェクトマップ(98ページ)を参照してください。

< ドライレベル >

F0H, 43H, 1nH, 4CH, 08H, 0mH, 11H, 02H, F7H

- ・ 02H: ドライレベル
- ・ 0m: チャンネルナンバー

4 外部クロック、内部クロックの切り替えが可能です。

5 アカンパニメントのスタート時にFAHを、ストップ時にFCHを送信します。クロック設定が外部の場合は、FAH(アカンパニメントのスタート)、FCH(アカンパニメントのストップ)を受信します。

ソングモードでは、MIDIメッセージの送受信はまったく行われません。



エフェクトマップ

- ・ TYPE LSBに、エフェクトタイプを持たない値を受信した場合、LSB=0のタイプとなります。
- ・ ( )内のナンバー/名前はパネルディスプレイ上でのものです。
- ・ 外部機器からのMIDIエクスクループデータをPSR-270に送信すれば、PSR-270のパネル操作では設定できないリバーブ/コーラス/DSPタイプを設定することができます。その場合、各エフェクトタイプの設定画面では「 - 」が表示されます。

REVERB

TYPE MSB	TYPE LSB								
	00	01	02	08	16	17	18	19	20
000	NO EFFECT								
001	(1)HALL1					(2)HALL2			
002	ROOM					(3)ROOM1		(4)ROOM2	
003	STAGE				(5)STAGE1	(6)STAGE2			
004	PLATE				(7)PLATE1	(8)PLATE2			
005...127	NO EFFECT								

CHORUS

TYPE MSB	TYPE LSB								
	00	01	02	08	16	17	18	19	20
000...064	NO EFFECT								
065	CHORUS		(2)CHORUS2						
066	CELESTE					(1)CHORUS1			
067	FLANGER			(3)FLANGER1		(4)FLANGER2			
068...127	NO EFFECT								

DSP

TYPE MSB	TYPE LSB								
	00	01	02	08	16	17	18	19	20
000	NO EFFECT								
001	(1)HALL1					(2)HALL2			
002	ROOM					(3)ROOM1		(4)ROOM2	
003	STAGE				(5)STAGE1	(6)STAGE2			
004	PLATE				(7)PLATE1	(8)PLATE2			
005	DELAY L,C,R				(26)DELAY L,C,R				
006	(27)DELAY L,R								
007	(28)ECHO								
008	(29)CROSS DELAY								
009	(9)EARLY REFLECTION1	(10)EARLY REFLECTION2							
010	(11)GATE REVERB								
011	(12)REVERSE GATE								
012...019	NO EFFECT								
020	KARAOKE								
021...063	NO EFFECT								
064	THRU								
065	CHORUS		(14)CHORUS2						
066	CELESTE					(13)CHORUS1			
067	FLANGER			(15)FLANGER1		(16)FLANGER2			
068	SYMPHONIC				(17)SYMPHONIC				
069	ROTARY SPEAKER				(19)ROTARY SPEAKER1				
070	TREMOLO				(21)TREMOLO1				
071	AUTO PAN				(24)AUTO PAN		(20)ROTARY SPEAKER2	(22)TREMOLO2	(23)GUITAR TREMOLO
072	(18)PHASER								
073	DISTORTION								
074	OVERDRIVE								
075	AMP SIMULATION				(30)DISTORTION HARD	(31)DISTORTION SOFT			
076	3BAND EQ				(32)EQ DISCO	(33)EQ TEL			
077	2BAND EQ								
078	AUTO WAH				(25)AUTO WAH				
079...127	THRU								

# 故障かな?と思ったら

現象	原因	解決方法
STANDBY/ONスイッチを押して、電源を入れたときに、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
<ul style="list-style-type: none"> <li>音量が小さくなった。</li> <li>音質が劣化した。</li> <li>ワンタッチセッティングのユーザー設定が、正しくはたらかない。</li> <li>ソングなどの録音内容が正しく演奏(再生)されない。</li> <li>突然ディスプレイの表示が消え、パネル設定がリセットされた。</li> </ul>	電池が消耗しています。	6本とも新しい電池と交換するか、または、付属の電源アダプターを使用してください。
PSR-270から雑音が出る。	PSR-270の近くで携帯電話を使っている(または呼び出し音が鳴っている)。	PSR-270の近くでは携帯電話の電源を切ってください。PSR-270の近くで携帯電話を使ったり、呼び出し音が鳴ったりすると、雑音が出る場合があります。
鍵盤を押さえても、音が鳴らない。	PHONES/OUTPUT[ ヘッドフォン/外部出力 ]端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	自動伴奏/スプリットボイスのスプリットポイント設定中は、( 36, 52ページ参照 ) 鍵盤を押さえても音が鳴りません。 ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
	メインボイス/デュアルボイス/スプリットボイスのボリュームの設定が下がっています。	32, 34, 36ページを参照して、それぞれのボリュームを確認してください。
	ローカルオン/オフの設定がオフに設定されています。	85ページの「ローカルオン/オフを設定する」の項を参照して、ローカルオンに設定してください。
	コードガイドの「ディクショナリー」がオンになっています。	コードガイドをオフにしてください。( 53ページ参照 )
効果(リバーブ/コーラス/DSP/ハーモニー)がかからない。	各効果(リバーブ/コーラス/DSP/ハーモニー)がオンになっていません。	各効果がオンになっているか確認してください。( 38, 39, 40, 41ページ参照 )
	メインボイス/デュアルボイス/スプリットボイスのセンドレベルが下がっています。	32, 34, 36ページを参照して、それぞれのセンドレベルを確認してください。
	ハーモニーボリュームが下がっています。	41ページを参照して、ハーモニーボリュームを確認してください。
STYLEモードでSTART/STOPボタンを押してもリズム音が鳴らない。	スタイルにスタイルナンバー91~100(スタイルカテゴリー:ピアニスト)が選ばれています。	故障ではありません。スタイルナンバー91~100が選ばれている場合は、ピアノだけの伴奏が鳴ります。
<ul style="list-style-type: none"> <li>同時に押さえた鍵盤の音で鳴らない音があった。</li> <li>鍵盤演奏すると、自動伴奏やソングの演奏音が途切れる。</li> </ul>	PSR-270の最大同時発音数を越えています。	PSR-270の最大同時発音数は32です。自動伴奏やソングなども含めて最大32音の範囲で鳴らすことができます。
自動伴奏がスタートしない。	クロックの設定が、オンに設定されています。	85ページの「クロックを設定する」の項を参照して、クロックをオフに設定してください。
MIDIが思うように機能しない。	SONGモードではMIDIははたらきません。	STYLEボタンを押して、STYLEモードにしてからMIDIの設定を行ってください。
自動伴奏が正しく演奏されない。	伴奏音量の設定が下がっています。	49ページを参照して、伴奏音量の設定を確認してください。
	コード押鍵に対し、自動伴奏のスプリットポイントの設定が不適切です。	52ページの「自動伴奏のスプリットポイントを変更する」の項を参照して、自動伴奏のスプリットポイントを適切な位置に設定してください。
フットスイッチのオン/オフが逆になった。	フットスイッチを踏みながら電源を入れたからです。	電源を切り、フットスイッチを踏まずに、もう一度電源を入れ直してください。
外部シーケンサーなどから、ソング、イージー、ワンタッチセッティングのデータをひとつずつPSR-270へバルクダンプ送信しても、PSR-270でうまく受信できない。	データの送信間隔を調整する必要があります。	ソング、イージー、ワンタッチセッティングのひとつずつのデータを、継続して(2秒未満の間隔)送信するか、完全にひとつひとつのデータの間の間隔をあけて(PSR-270でバルクダンプ受信が終了し、ディスプレイが通常の状態に戻ってから)送信してください。

# 初期化(イニシャライズの方法)

PSR-270のパネル上の設定は、電源を入れ直すとそれぞれの初期設定値に戻りますが、下記の設定データはSTANDBY/ONスイッチをオフにしても、電源アダプターが接続されているか、乾電池がセットされていればバックアップされています。

- ・ユーザーソングのデータ
- ・ワンタッチセッティングバンクナンバー
- ・メトロノーム音量
- ・ワンタッチセッティング設定内容
- ・タッチレスポンスオン/オフ
- ・スマートの「調」
- ・タッチセンス
- ・イージーバンクナンバー
- ・スプリットボイスのスプリットポイント
- ・イージーのデータ
- ・自動伴奏のスプリットポイント
- ・フットスイッチの機能

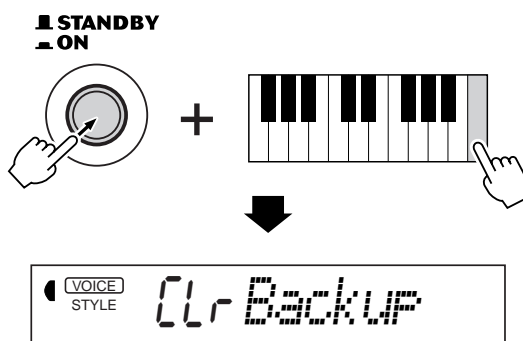
PSR-270のすべての設定を初期設定(工場出荷時の状態)に戻すことを「初期化」と呼びます。初期化は以下の方法で行ってください。



初期化を実行すると、バックアップされていた設定は、初期設定値に戻りますのでご注意ください。

PSR-270が、何らかの原因で操作不能になったり、誤動作した場合は、一旦電源を切り、初期化の操作を行ってください。

- 1 STANDBY/ONスイッチを押して電源を切ります。
- 2 鍵盤の最高音(白鍵)を押しながら、STANDBY/ONスイッチを押して電源を入れると、初期化が実行されます。初期化が完了するとディスプレイに「CLr Backup」が表示されます。



## オプション(別売)商品のご紹介

ヘッドフォン	HPE-150	¥4,000	MIDIケーブル	MIDI-15(15m)	¥3,000
	HPE-3	¥3,000		MIDI-03(3m)	¥1,100
キーボードスタンド	L-2L	¥4,000	ソフトケース	SCC-36	¥8,000
	L-2C	¥6,000			
フットスイッチ	FC4	¥3,000			
	FC5	¥1,500			

商品の金額には、消費税は含まれておりません。

# PSR-270仕様

## 鍵盤

レギュラーサイズ61鍵(C1~C6:タッチレスポンス付)

## ディスプレイ

大型液晶ディスプレイ(バックライト付き)

## セットアップ

電源入/切スイッチ

全体音量コントロール: MIN~MAX

## コントロール

OVERALL , [ + ] [ - ] ボタン、FUNCTIONボタン、  
SONGボタン、STYLEボタン、VOICEボタン、PORTABLE  
GRANDボタン、METRONOMEボタン、ナンバーボタン[ 0 ]  
~[ 9 ] [ + ] [ YES/FWD ] [ - ] [ NO/BWD ] ボタン、TOUCH  
ボタン、DEMOボタン

## デモソング

3曲

## ボイス

パネルボイス100音色+10ドラムキット+GMボイス128音色  
(最大同時発音数32)

ボイスセット機能付

デュアルボイス

スプリットボイス

## 自動伴奏

100スタイル

自動伴奏オン/オフ

自動伴奏コントロール: シンクロスタート、スタート/ストップ、  
イントロ/エンディング、メインA/B(自動フィルイン)

ビート表示

マルチフィンガリング

伴奏音量

## YES(レッスン機能)

コードガイド: ディクショナリー、スマート、イージー

## ワンタッチセッティング

プリセットA/B(各スタイル)

ユーザー(4バンク×4ボタン)

## 全体設定

テンポ: 32~280

トランスポーズ

チューニング

伴奏/ソング音量

メトロノーム音量

## エフェクト

リバーブ: 8種類

コーラス: 4種類

DSP: 33種類

ハーモニー: 26種類

## ソング

プリセット: 3曲

ユーザー: 3曲

## 録音

ソング: リアルタイム録音、ステップ録音、ソングクリア  
録音トラック1, 2, 3, 4, 5, 6/コード

イージー: 8バンク、バンクチェイン

ワンタッチセッティング: ユーザー(4バンク×4ボタン)

## MIDI

- ・リモートチャンネル設定
- ・キーボードアウト/アカンパニメントアウト
- ・ローカルオン/オフ
- ・クロック
- ・バルクダンプ送信設定
- ・イニシャルセンド

## 付属端子

DC IN 10-12V、PHONES/OUTPUT、  
FOOT SWITCH、MIDI IN/OUT

## アンプ実用最大出力

電源アダプターPA-3B使用時	3W + 3W(EIAJ)
乾電池使用時	4W + 4W(EIAJ)

## スピーカー

12cm x 2

## 電源

アダプター: PA-3B

定格電圧 10-12V

定格電流 700mA

電池: 単1乾電池(1.5V)×6

## 電池寿命

マンガン電池で約6時間

(デモ演奏連続使用: 全体音量コントロールの位置=最大の70%)

## 消費電力

電源アダプターPA-3B使用時 20W

## 寸法(幅×奥×高mm)

933×370×129

## 重量(kg)乾電池含まず

5.7

## 付属品

電源アダプターPA-3B、譜面立て、和文シート、  
取扱説明書、保証書

仕様および外観は、改良のため、予告無く変更する場合があります。

# インデックス

<b>D</b>			
DSPオン/オフ	40		
DSPタイプリスト	94		
<b>G</b>			
GMシステムレベル1	21		
GMボイス	30		
<b>M</b>			
MIDI	80		
MIDIインプリメンテーション チャート	96		
MIDI端子	81		
<b>A</b>			
アイコン(絵記号)	24		
アカンパニメントアウト	84		
<b>I</b>			
イージー・再生	56		
イージー・録音	59		
イニシャライズ(初期化)	100		
イニシャルセンド	87		
イントロ(セクション)	50		
イントロシンクロスタート	46		
<b>E</b>			
エフェクトタイプリスト	94		
演奏の準備	6		
エンディング(セクション)	51		
<b>O</b>			
オーバーオール	22		
オプション商品	100		
音符の置き換え(ステップ録音)	76		
音量の調節	22		
<b>K</b>			
外部出力端子	7		
各部の名称	8		
楽譜表示	24		
乾電池	6		
<b>K</b>			
キーボードアウト	84		
<b>ク</b>			
クロック	85		
<b>ケ</b>			
鍵盤表示	24		
<b>コ</b>			
故障かな?と思ったら	99		
コード(和音)	43		
コードガイド	53		
コードタイプ(ディクショナリー)	53		
コードトラック	68, 72		
コード表示	24		
コーラスオン/オフ	39		
コーラスタイプリスト	94		
<b>サ</b>			
最大同時発音数	88		
<b>シ</b>			
システムメッセージ	81		
自動伴奏	43		
自動伴奏・スプリットポイント	52		
自動フィルイン	51		
仕様	101		
小節表示	24		
初期化(イニシャライズ)	100		
シングルフィンガー	47		
シンクロスタート	46		
<b>ス</b>			
スタイル	43		
スタイルリスト	91		
スタート	26, 45		
ステップ(イージー)	56		
ステップ(ステップ録音)	73		
ステップ入力	74		
ステップ録音	71		
ストップ	26, 52		
スプリットオン/オフ	35		
スプリットボイス・ DSPセンドレベル	36		
スプリットボイス・オクターブ	36		
スプリットボイス・ コーラスセンドレベル	36		
スプリットボイス・ スプリットポイント	36		
スプリットボイス・パン	36		
スプリットボイス・ボリューム	36		
スプリットボイス・ リバーブセンドレベル	36		
スプリットボイスの選択	36		
スマート	54		
<b>セ</b>			
セクションの切り替え	50		
<b>ソ</b>			
ソング	65, 66		
ソングクリア(ユーザーソング)	78		
ソングのトラック構成	65		
ソングメモリー	66		
ソング音量の調節	27		
<b>タ</b>			
タイ	75		
タッチセンス	42		
タッチレスボンスオン/オフ	42		
<b>チ</b>			
チャンネルメッセージ	81		
チューニング	37		
調(スマート)	54		
<b>テ</b>			
ディクショナリー	53		
デモソング	25		
デュアルオン/オフ	33		
デュアルボイス・ DSPセンドレベル	34		
デュアルボイス・オクターブ	34		
デュアルボイス・ コーラスセンドレベル	34		
デュアルボイス・パン	34		
デュアルボイス・ボリューム	34		
デュアルボイス・ リバーブセンドレベル	34		
デュアルボイスの選択	34		
電源アダプター	6		
電源の準備	6		
電源を入れる	23		
テンポ	26		
<b>ト</b>			
トラックオン/オフ	65		
ドラムキット	32		
ドラムキットリスト	92		
トランスポーズ	37		
<b>ナ</b>			
ナンバーボタン	23		

**ハ**

パーソナルコンピューター ..... 82  
 パネルボイス ..... 30, 88  
 ハーモニーオン/オフ ..... 41  
 ハーモニータイプリスト ..... 95  
 ハーモニーボリューム ..... 41  
 バルクダンプ受信 ..... 86  
 バルクダンプ送信 ..... 86  
 バンククリア (イージー) ..... 61  
 伴奏音量の調節 ..... 49  
 伴奏鍵域 ..... 43, 52

**ヒ**

ピアニスト (ピアノモード) ..... 28  
 ピアノモード ..... 28  
 ビート表示  
 (ビートディスプレイ) ..... 27  
 拍子 (メトロノーム) ..... 29

**フ**

ファンクション ..... 18  
 フィルイン (セクション) ..... 51  
 フィンガード ..... 47  
 フットスイッチ ..... 79  
 フットスイッチ端子 ..... 7  
 譜面立て ..... 7  
 プリセット A/B  
 (ワンタッチセッティング) ..... 62  
 プログラムチェンジナンバー ..... 88

**ヘ**

ヘッドフォン ..... 7  
 ベロシティカーブ ..... 76

**ホ**

ボイス ..... 30  
 ボイスセット ..... 33  
 ボイスリスト ..... 88  
 保証とアフターサービス ..... 巻末

**マ**

マルチフィンガリング ..... 47

**メ**

メインセクション  
 (MAIN A/B ボタン) ..... 50  
 メインボイス ..... 30  
 メトロノーム ..... 28  
 メトロノーム音量 ..... 29  
 メロディトラック ..... 68, 72

**モ**

モード ..... 23

**ユ**

ユーザー  
 (ワンタッチセッティング) ..... 63

**リ**

リアルタイム録音 ..... 67  
 リタルダンド ..... 51  
 リハーサルモード ..... 69  
 リバースオン/オフ ..... 38  
 リバースタイプリスト ..... 94  
 リモートチャンネル ..... 83

**ル**

ルート音 (ディクショナリー) ..... 53

**ロ**

ローカル ..... 85  
 録音 ..... 66  
 録音モード ..... 66

**ワ**

和文シート ..... 7  
 ワンタッチセッティング ..... 62  
 ワンタッチセッティング記録 ..... 63

# 保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのヤマハ電気音響製品サービス拠点にご連絡ください。

## 保証書

本機には保証書がついています。  
保証書は販売店がお渡ししますので、必ず販売店印・お買い上げ日などの記入をお確かめのうえ、大切に保管してください。

## 保証期間

お買い上げ日から1年間です。

## 保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

## 保証期間経過後の修理

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

下記の部品については、使用時間により劣化しやすいため、消耗に応じて部品の交換が必要となります。消耗部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

## 消耗部品の例

ポリウムコントロール、スイッチ、ランプ、バックライト、リレー類、接続端子、鍵盤機構部品、鍵盤接点、フロッピーディスクドライブなど

## 補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。

## 持込み修理のお願い

まず本書の「故障かな?と思ったら」をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。

それでも異常があるときは、お買い上げの販売店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へ本機をご持参ください。

## 製品の状態は詳しく

修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、故障の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

## ヤマハ電気音響製品サービス拠点(修理受付および修理品お持込み窓口)

北海道サービスセンター	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6108
仙台サービスセンター	〒984-0015	仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL. 022-236-0249
首都圏サービスセンター	〒211-0025	川崎市中原区木月1184	TEL. 044-434-3100
浜松サービスセンター	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-6711
名古屋サービスセンター	〒454-0058	名古屋市中区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL. 052-652-2230
大阪サービスセンター	〒565-0803	吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL. 06-6877-5262
四国サービスステーション	〒760-0029	高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内	TEL. 087-822-3045
広島サービスセンター	〒731-0113	広島市安佐南区西原6-14-14	TEL. 082-874-3787
九州サービスセンター	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435-0048	浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL. 053-465-1158

## ポータブル楽器に関するお問い合わせ窓口

ポータブル楽器インフォメーションセンター 〒430-8650 静岡県浜松市中沢町10-1 TEL. 053-460-1696  
受付日 月曜日～金曜日(祝日およびセンターの休業日を除く) 受付時間 10:00～12:00 / 13:00～17:00

電子楽器事業部 営業部	〒430-8650	静岡県浜松市中沢町10-1 国内営業第二グループ	TEL. 053-460-3275
EM東京事業所 企画課	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-5476
北海道営業所	〒064-8543	札幌市中央区南10条西1-1-50 ヤマハセンター内	TEL. 011-512-6113
仙台営業所	〒980-0804	仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命仙台青葉通ビル	TEL. 022-222-6147
関東営業所	〒108-8568	東京都港区高輪2-17-11	TEL. 03-5488-1688
EM大阪事業所 第二営業課	〒542-0081	大阪市中央区南船場3-12-9 心齋橋ブラザビル東館	TEL. 06-6252-7491
名古屋営業所	〒460-8588	名古屋市中区錦1-18-28	TEL. 052-201-5199
広島営業所	〒730-8628	広島市中区紙屋町1-1-18	TEL. 082-244-3749
九州営業所	〒812-8508	福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL. 092-472-2130

住所および電話番号は変更になる場合があります。

## インターネットホームページのご案内

製品等に関する情報をホームページ上でご案内しております。ご参照ください。

ヤマハ株式会社のホームページ <http://www.yamaha.co.jp/>

# ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division © 1999 Yamaha Corporation

V332730 ???PO???.?-01A0 Printed in China